录式第3 号				————————————————————————————————————	莱評恤表 (平原	は1年度)					
事業コード	1432		課コード	1604	会計程	別 一般会計			予算の種類	□政策 ■経常 □	□なし
1. 事業の概要(PLAN)											
	①事業名	基本事業				実施計画~		〇有 〇無	②部課名	生涯学習部・鳥の博物館	
			がたん			位置づけ	7				
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 C	〇その他(~		④対象地区⑥担当職員数	□我孫子		湖北 □新木 	□布佐 ■全市 0.2 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	你主要					(当 初)		千円 (うち人件費		
	(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)	(変更後)		千円 (うち人件費	千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策	11203	重点プロジェクト への位置づけ	重点 2	基本計画地計画への位置		●有 ○無	部門別計画への 位置づけ	(計画名) 生涯学習推進計画	1
	施策目的・	多くの人が手賀		の価値を認識してもらえるように、		バルや	水辺を通	した体験学習、環境学習			
(2)目的	展開方向	験などを引き組	続き実施します。また、	などの手賀沼にかかわるイベントや 広報や市ウェブサイト、SNS、/	パンフレットなどの活用やパ	ブリシ	5				
		00) に行う自然	然観察会。身近な自然を	、手賀沼と周辺のヨシ原を対象に対 季節ごとに気軽に観察できることを	をコンセプトとして実施。参加	0者に	4 5 © ©		8 9 10	1 1 1 2 1 2	
				トを配布し、生き物の係わり合いに ッフそれぞれの持つキャリアや知識							
(3) 事業内容	内容	うにコーディオ	ネートする 。								
						当該年原		数		単位 人	
(A) 法式口捶 (扣(生) + 7 式用)			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- (押体・オスポース)		活動結果指		+15	+m	実績値	(6)目標値
(4)達成目標(期待する成果) 当該年度	探鳥会、自然観察	会を通じ、環境へ		標(期待する成果)環境学習を学んでもらう。		指標種类 指標種类 間接	平均事業参加	加人数	[標	単位 (5) 現況値 人 31	(0)日標1
令和 2年度	探鳥会、自然観察	会を通じ、環境へ	 への関心、興味を高め自	主的な環境保全活動を展開してもら	 うう。	間接	平均事業参	加人数		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	探鳥会、自然観察	会を通じ、環境へ	 への関心、興味を高め自	主的な環境保全活動を展開してもら	 ວ່ ວ ໍ.	間接	平均事業参	加人数			
令和 3年度 ————————————————————————————————————				テーマを取り入れながら計画する。		间接			<u> </u>	\	
(7)事業実施上の課題と対応	HA INABIBILITIES OF AN IO	O DWO HAKED	ENT WILLSTIE AND U	, (EAX))(10-6X) 5 II EI) 0.		代替案検	討	○有 ●無			
		平成30年度	Ę	3	平成31年度		,	令和 2年度		令和 3年度	
	政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	予算額(千円)	決算額(千円) 政策	内	容金	額(千円) 政策	内 容	金額(千円
	(経常) 市民スタッフ幸	品信妻	65	(経常) 市民スタッフ報償費	48		経常) 「民スタッフ報償費		(経常) 48 市民スタ	ッフ報償費	
	消耗品費	K JE JE	40 30) 消耗品費	38 30	38	はスクラン報度員 当耗品費 その他保険料		38 消耗品費	č	
	手賀沼漁協遊游	魚料	5		5		- の他保険料 - 賀沼漁協遊漁料		5 手賀沼漁		,
実施内容 実施内容 (8)施行事項 ## 田											
世 費 用											
予算(決算)額		슼 計	140	合計	121	109	合	= 1.	121	合 計	1:
国庫支出金	補助率	0	% 0	補助率	0 % 0	0 補	助率	0 %	0 補助率	0 %	
県支出金 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	補助率 充当率		% 0 % 0	充当率	0 % 0 0 % 0	0 充	助率 当率	0 % 0 %	0 補助率 0 充当率	0 % 0 %	
一般財源	□特会 □受	益 口基金 口その		□特会 □受益 □基金 □ そ		109	□特会 □受益 □	基金 □その他		: □受益 □基金 □その他	12
換算人数(人) 正職員人件費			0. 3 2, 640		0. 2 1, 760	0. 2 1, 760			0. 2 1, 760		0. 1, 76
嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			0		0	0			0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件 (11)単位費用	費)	100.007 = 4	2, 780		1, 881	1, 869			1, 881		1, 88
(事業費/活動結果指標)	OK)	126.36千円/	^	78.38千円	/	60. 29					
2. 事業の評価(D0+CHE	<u> </u>		-				÷ 24				
評価項目	日本一汚濁され	ていた手賀沼のオ		前 評 価 市民が環境保全の大切さを認識して	てきた今日、探鳥会、自然観	●①事前確認で <i>0</i>		評 価(評価結果に応じ	、以善条検討(拡充も言	(U))	改善検討
(1)事業が今必要である理由	察会をとおして体			層環境保全について関心と理解を活			D想定どおりでなか	った			〇要
背景は?(事業の必要性							た理由/想定どおり	」でなかった原因> 」らうことは引き続き重要	5でおスレ老ラにわるた。	<i>x</i> h	●不要
	○①早間企業 №	100 市民団体	*等では実施できない	<その他の内容>					<市実施の具体的な内容		
₿ B	(理由) □法令等		ことが定められている	くての心の下音ン		■②市が主導で近	性めなければ実効性: となったことで市民	がなかった		よる計画・実施により、普及活動	動の
要	口その他					促進された			夫効性が待られている。		
性 (2) 市が実施する必要性は あるか?	●②自治体である			<その他の内容>		■⑤サービス水準					〇要
(市実施の必要性)	口市が実	施・提供すること	により実効性が得られる とにより、良質で安定し			□⑦その他	安定供給基盤が確保	21112			●不要
	口市が支		り政策・施策の目標の			<その他の内容>					
	実現が □その他	図られる									
		参加・協働の	**	工夫の具体		参加・協働]・協働の具体的な▷ カが考えられる場合Ⅰ	こはその内容)		協働の程度・内容	
参 加	○①事業計画時(i ●②事業実施時(i			市民スタッフ、友の会と協働で フが主体となって観察会のプロ		市民スタッフによ	る観察会の運営・補	助	○①当初期待した以上 ●②当初期待したとお		
市民の参加や市民との協働	を 〇③管理・運営(3 〇④市民の自主的			ている。					〇③当初の期待以下		〇要
協 工夫しているか? (体制づくり)	〇⑤市民と共同で 〇⑥その他							[-	<期待した以上となった	:理由/期待以下であった原因>	●不要
工 夫	くその他の内容>					-					
	、、い心の内谷ノ										
		配慮の視点	ā	取組む			実施した具体的な「	* *		環境への配慮	
環	■①自然環境を生 □②生き物と共存			博物館周辺の手賀沼遊歩道、水 の環境の特性を活かした観察会			の場で放す、草木の への影響を与えない		●①想定どおり ○②想定どおりでなか	った	
培	て ■③手賀沼を意詞 □④環境負荷低源							-	<想定どおりでなかった	-原因>	〇 要
ペ 「環境に配慮して事業を進め の いるか? 配 慮	□⑤その他	XI - XIII - XI - X							1,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0		● 不要
œ.	<その他の内容>					1					
	TO AND ARE CONTROL	- In the Co.					B. H. VIT	●①目標値達成			
	現況値(a)(人)	目標値(b)(人		目標値の妥当性のチェック -タ・事実に基づき設定している	,	達斯 実績値(f)(人)	成状況 達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成			
(1)目標設定は適切か?	31	24	□②現況値と比べ	ド実現性が乏しい値ではない をが小さい値ではない		大根間(リバ人)	(f/b×100)		由/未達成となった原因		— ○要 ●不要
		-		対象が有る場合、比較対象例におけ	る目標値(と現況値の差)と	31	129. 17	」學な解説とフォロ・ 	一により、多くのリピー	ッーを獲得したこと。	
	対策実施によ	よる事業費削減		実施予定の対策	- 46 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 1	実力	在状况	○①想定事業費未満 ●②概ね想定事業費	PUID T	業費の削減対策について	
効	事業費(c)(千円)	事業費削減額(千円)	■②現有体制での	D対応 □⑥受益		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○③想定事業費超過	」 ●①争削の	想定どおり 想定どおりでなかった	
率 (2)事業費削減の工夫をして いるか?	1, 881	899	□③維持管理費の □④民間委託	り削減策の実施 口⑦その何	也	1, 869	99. 36		<想定どおり	削減できなかった原因>	O要
性	事業費削	削減率(%)	<削減の内容>			〈超過理由等〉					●不要
	32	2. 34									
		目標値対事業費	(a)	計算方法	±	%		●①目標値以上		た理由/目標値以下であった原因	B >
(3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?			単位 費用単位	●①単年度の指標:目標値×費用	単位/事業費	達原 実績値(h)	対目標値(%)	●①日標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			〇要
仅しつ争未貸は週止か?	1. 28		人 10万円	○②複数年度の指標:(目標値-5			(h/e) × 100	○○日保恒以下			●不要
(目標対費用)		1				1. 66	129. 69				
3. 事後評価	☆ ○絵小	〇結今 〇"	大小 ○ ○ ○ ○	つ車業壬は目前! つきのかづ	玄業宗アか ば\						
3. 事後評価 ●現状どおり推進 ○拡	- 1,1,1	i	評価コメント		事業完了など)			改善策及 <i>U</i>	展開方向		
3. 事後評価	- 1,1,1	i	評価コメント		事業完了など)			改善策及0	展開方向		

哥	4ーに業		1433		課コード	1604		会計種別	一般会計			予算の種	類	□政策	■経常	□なし
1.	事業の	概要(PLAN)														
			①事業名	基本事業 個別事業 あびこ	自然観察隊				実施計画への		つ有 ●無	(2)i	部課名	生涯学習部	部・鳥の博物館	
			③事業主体		の他()	④対象地区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(1) 導	事業概要		⑤事業期間			~			⑥担当職員数	(当初)	1	2 人	(換算人数		0.16 人)	
			⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円			当該(開始)年		1,		(うち人件費		千円)	
			⑧施策の位置づけ	施策 カード	11203	重点プロジェクト への位置づけ	重点 2		基本計画地区 計画への位置:		○有 ●無	剖	門別計画への 位置づけ	(計画名)	生涯学習推進計	画
(2) E	的		施策目的・			 その価値を認識してもらえるように、 会などの手賀沼にかかわるイベントヤ			5	水辺、台地、	林など身近な自然環	境を通した体	験学習、環境学	学習を実施し、	環境学習活動を	担う人材を育成
			展開方向	験などを引き続き 我孫子らしい自然	実施します。また の残る場所を観察	広報や市ウェブサイト、SNS、/ 対象に選び、もっとも自然観察にふる	パンフレットなどのだ さわしい時期に行う ^な	用やパブリシ 6回程度の観	見	4 5	6 7		9 10		12 1	2 3月
(3) 哥	事業内容		内 容			≢田の自然観察」、「晩秋の手賀川」 ∴鳥博市民スタッフのアイディアも∄			当該年度 執行計画 当該年度	平均参加者数	◎	© ©		単位	想定值	
(4) 道	を を を は は に は に は に り に り に り に り に り に り に り	朝待する成果)			達成	目標(期待する成果)			活動結果指		指	標		単位	実績値	(6)目標値
븰	4該年度		我孫子に特徴的な	自然環境に興味をも	ってもらう。				間接	平均事業参加	0人数			٨	18	24
ŕ	和 2年度	:				物のかかわり合いのへの理解を深めて	てもらう。 		間接	平均事業参加 平均事業参加				٨		25
4	和 3年度		我孫士の自然環境・	一の興味と理解を済	(め) ることにより、	さらに愛着が育まれるようになる。 			間接	半均争来参加	山人剱					26
(7) 事	業実施上	の課題と対応							代替案検討	1	○有 ●無					
			政:	平成30年度	金額(千円	_;	平成31年度	(千円) 決算額	短(チロ) 政		令和 2年度	金額(千円)	政策	令: 	和 3年度	金額(千円)
(8)加	ā行事項	実施内容 費 用	策: (経常) 市民スタッフ報 消耗品費 その他保険料			策 (経常) 16 市民スタッフ報償費 40 消耗品費 10 その他保険料	7 97.00	18 38 10	策 (紹 16 市) 38 消			18 38 10	策 (経常) (市民スター 消耗品保!	ッフ報償費	-	18 38 10
(9) 月	才源内訳	予算(決算)額 国庫支出金 県支出金 起債 一般財源	補助率 補助率 充当率	会計 0 % 0 % 0 %		0 補助率 0 充当率 66	0 % 0 % 0 % 0 %	66 0 0 0 0	64 0 補助 0 補助 0 充当	力率 当率	0 % 0 % 0 %	66 0 0 0	補助率 補助率 充当率	合 計	0 % 0 % 0 %	66 0 0 0 0 66
		その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受拍	益 口基金 口その他	0.		その他	0 0.16 1.408	0 E 0. 16 1. 408	□特会 □受益 □基	金 □その他	0. 16 1. 408	□特会	口受益 口基金	金□その他	0. 16 1, 408
(10)	人件費等	正職員人件費 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			1, 8	0 0		0 0	0 0			0				0
(11)	単位費用	算)額+正職員人件費)		83.22千円/人	1, 9	61.42千円	/ /	1, 474	1, 472 81, 78			1, 474				1, 474
		活動結果指標)評価 (DO+CHECK)))	00.22 1177 7		VI. 12 1	· · ·		01.70							
	評	価項目			事	前評価				事後	平 価(評価結果に応	じ、改善案検	討(拡充も含む	む))		改善検討
		今必要である理由・ ・? (事業の必要性)	い割には鳥相も豊 で遊ぶことが少な 、我孫子を代表す	である。しかし、こ くなった小中学生に る自然環境をフィー	うした我孫子の自 とっては、生き物 -ルドとした観察会	他、斜面林、農耕地、水辺など多様が 然の豊かさを体験を通じて実感してし とふれる機会が少なくなっている。『 は、我孫子の自然に対する愛着を育み 実施することで、より効果が期待でで	いる市民は少ない。特 岡発戸の谷津田や利村 み、将来の社会を担	特に屋外 別川など う市民に <粒 市月	想定どおりとした	想定どおりでなかっ -理由/想定どおり 多様な環境について		境保全への関心	いや理解を深め)てもらうこと	:は引き続き重要・	○要 ●不要 であ
必要性		:施する必要性は	(理由) □法令等 □提供主作 □その他	NPO、市民団体等で市が実施すること体が市しかない。	が定められている	<その他の内容>			①民間企業、N ②市が主導で進 ③市が先導役と 促進された	PO、市民団体等で めなければ実効性が なったことで市民へ 策・施策の目標の写	・普及が一層				由> ことで、計画の実	○ 要
	あるか (市実)	・? 徳の必要性)	(理由) ■市が主 □市が実 サービ □市が支	導で進めることによ 施・提供することに スが保証される 援することにより政 図られる	り実効性が得られより、良質で安定	5				定供給基盤が確保で	された					●不要
			O①事業計画時に	参加・協働の内容		工夫の具体市民スタッフ、友の会、との協		卸安心 十二	参加・協働な	・協働の具体的な内 が考えられる場合に る観察会の運営・補	はその内容)	O(1) 11 ± 17 ± 17 ± 17 ± 17 ± 17 ± 17 ± 17	参加・抗	協働の程度・▷	 内容	
参加	士 尼杰杰·	n 사로모 나 소설 연극	●②事業計画時に●②事業実施時に○③管理・運営に	こ市民の参画有り		市氏スタック、友の会、との協 のプログラム作成や下見もボラ 実施する。			ムハメツノによる	ッ 55 宋 五 以 理 呂 ・ 補	Lear Lear		男待したとおり	J		
協働	市民の参加 工夫してい (体制づく		〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	内な活動と連携して	いる									理由/期待以	下であった原因>	O要 ●不要
の工夫			○⑥その他 <その他の内容>													
			□(1) to bu +== 1+ ···	配慮の視点		取組む		ナミュゥ		実施した具体的な内		▲		境への配慮		
環境	rm / ◆ · -	51 - -	□①自然環境を生 □②生き物と共有 ■③手賀沼を意識	字している		手賀沼周辺の代表的な自然環境 その特性を理解してもらえるよ			☆環項に悪影響を	を与えないように観	奈云を 夷施した。	●①想定る 〇②想定る	ごおり ごおりでなかっ	>t=		
\sim	環境に配原 いるか?	載して事業を進めて	■③子貝石を思嗣□④環境負荷低減□⑤その他 <その他の内容>	載に貢献している								<想定どお	りでなかったり	原因>		〇 要 ● 不要
\vdash			現況値(a)(人)	目標値(b)(人)		目標値の妥当性のチェック	ク		達成	状況	○①目標値達成 ●②目標値未達成	<u> </u>				
	(1)目標設	定は適切か?	10	04	■②現況値とは	ータ・事実に基づき設定している ベ実現性が乏しい値ではない		実	関積値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)	●②目標値未達成した		となった原因こ	>		—— O要 ● 不 ==
			18	24		差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけである	る目標値(と現況値の	差)と	18	75	12月の観察会が天人数の多い7月と3	候不良のため	参加者のキャン	ンセルが多かっ		参加
				↓ よる事業費削減 ■ 事業費削減額(d)	□①国・県助成	実施予定の対策	I等民間資本の活用		1	i状況 対事業費(%)	○①想定事業費ラ ●②概ね想定事業	業費以内	事第	業費の削減対策 限定どおり	策について	
効	(2) 重坐费	削減のTキたして	事業費(c)(千円)	争未負削減額(d) (千円) 440	■②現有体制で □③維持管理費		者負担	実統	績値(g)(千円) 1,472	対争未賃(%) (g/c)×100 99.86	○③想定事業費起		〇②事前の想	想定どおりでな		
率性	(2)事業費 いるか	削減の工夫をして・?		440	□④民間委託 <削減の内容>			<走	1,472	99. 86			<想定どおり)	削減できなか	った原因>	〇要 ●不要
-			22	2. 99	1											
				目標値対事業費(e)		計算方法	去		達成	状況	○①目標値以上		直以上となった	と理由/目標(直以下であった原	因>
	投じる	を実現する為に 事業費は適正か?		単位			単位/事業費	事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	○②目標値と同利●③目標値以下				なかったため。	○要
	(目標文	対費用)	1. 63	٨.	10万円				1. 22	74. 85						218
	事後評		0/1	0/#*		O=#-71100	= 44.4									
╚	現状どおり			〇結合 〇休止 評価	iコメント		事業完了など)				改善策及	及び展開方向				
				+++>1-+11	今後も引き続き推	准していく					·	· 				

(1)事業概要 (2) 事業機要 (3)事業判問 (2) 事業費 (人件資金む) 総事業費 (人件資金む) 総事業費 (人件資金む) 総事業費 (人件資金む) 施策 コード 第 (人件資金む) 施策 コード 第 (人件資金む) 原原 は できれてきれてきれてきれている。 この自然は市民に安と (の) 人件で (事業の必要性) おおか? (の) 本の必要性 (理由) 事業が今必要である理由 育寮は? (事業の必要性は あおか? (の人工に関本を) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の	金額(千円) 改 内 容 名 名 内 容 名 内 容 名 名 和 和 和 和 和 和 和 和	10	会、	(小け) (大子) (大子) (大子) (大子) (大子) (大子) (大子) (大子	○有 ●無 -ドフェスティバル シ。 4月 5月 ミ:② ② ③ iii : : : : : ※ An 2年度 容	□湖北 4 人 2, 681 千円 2, 687 千円 を開催し、環 6月 7 (金額(千円) 12 12 2 2 2 2 2 1 1 1 1	②部課名 □ 新木 (換 5 5 人 件 画 つ の で	生涯学習部・	・鳥の博物館 ■全市 0.28 人) , 464 千円) , 464 千円) とともに、自然 1 1月 12~ ② 1 1月 団体 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 96 0 96 0 96	→ 3月 ③ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ 上旬の2日 「
(1) 事業概要	□ 11203	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	位置 の	はけ	□天王台 () () () () () () () () () (□湖北 4 人 2,681 千円 2,687 千円 6月 7 (金額(千円) 12 12 13 14 15 16 17 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	□新木 (換 ち 大 人 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	□	■全市 0.28 人) .464 千円) .464 千円) .464 千円) とともに、自然 1 1月 12~ ◎ 1 1月 団体 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 % 0 %	→ 3月 ③ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ 上旬の2日 「
(1) 事業概要 (1) 事業無要 (2) 事業機関 (3) 事業内容 (3) 事業内容 (4) 違成目標(開待する成果) (3) 事業内容 (4) 違成目標(開待する成果) (3) 事業内容 (4) 違成目標(開待する成果) (3) 事業内容 (4) 違成目標(開待する成果) (5) 事業所方向 (5) 事業所方向 (5) 事業所方向 (6) 施策目的 (7) 事業素能上の課題と対応 (7) 事業素能上の課題と対応 (8) 施行事項 (8) 施行事項 (9) 財源内訳 (9) 財源内訳 (9) 財源内訳 (10) 人件費等 (展別の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の	□ 11203	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	位置 の	はけ	□天王台 () () () () () () () () () (□湖北 4 人 2,681 千円 2,687 千円 6月 7 (金額(千円) 12 12 13 14 15 16 17 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	□新木 (換 ち 大 人 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	□	■全市 0.28 人) .464 千円) .464 千円) .464 千円) とともに、自然 1 1月 12~ ◎ 1 1月 団体 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 % 0 %	→ 3月 ③ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ 上旬の2日 「
(1) 事業概要 (2) 事業主体 (5) 事業期間 (5) 事業期間 (7) 事業費 (人件費合む) (8) 施策目的・ 展開方向・ 展開方向・ 展開方向・ 展開方向・ 展開方向・ 展開方向・ 展開方向・ 展加方ので産を行う。また (2) 目的 (3) 事業内容 (4) 達成目標(開待する成果) (3) 事業内容 (4) 達成日標(開行を持つてもを の2日間、表現できるの2日間、表現できる。の2日間、表現できる。の2日間、表現で産を行う。また (4) 達成日標(開行を持つてもを の2日間、表現で産を行う。また (4) 達成日標(開行を持つてもを の2日間、表現できる。の2年的値のを持つてもを の2日間、表現に関係を持つてもを の2日間、表現に関係を持つである。 (4) 連載上の課題と対応 (5) 事業実施上の課題と対応 (6) 事業実施上の課題と対応 (6) 事業をとの課題と対応 (6) 事業をとの課題と対応 (6) 事業をとの課題と対応 (6) 事業をとの課題と対応 (6) 事業をとの課題と対応 (6) 事業が自身の表現の主意を表している。 (6) 事業が自身の表現の表現では、対象に対している。この目的には対象に対している。この目的には対象に対している。この目的には対象に対している。この目的には対象に対している。この目的には対象に対している。この目的には対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	□ 11203	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	位置 の	はけ	□天王台 () () () () () () () () () (□湖北 4 人 2,681 千円 2,687 千円 6月 7 (金額(千円) 12 12 13 14 15 16 17 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	□新木 (換 ち 大 人 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	□	■全市 0.28 人) .464 千円) .464 千円) .464 千円) とともに、自然 1 1月 12~ ◎ 1 1月 団体 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 % 0 %	→ 3月 ③ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ 上旬の2日 「
(3) 事業概要 (11203 重点プロジェク	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	(⑥担当職員人) 当該 (開始) 基本計画への位置	数 (↑	4 人 2, 681 千円 2, 687 千円 を開催し、環 6月 7 (金額(千円) 12 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(換算人人件費 (うちち計画) (0. 2.・2.・2.・3. (計画名) 機会を提供すると 関係	0.28 人) .464 千円) .464 千円) とともに、自然 1 1月 12~ ⑥ 1 1月. 団体 表積値 (5)現況値 189	→ 3月 ③ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ 上旬の2日 「
(1)事業概要	11203 単点プロジェクへの位置づけ 1203 単点プロジェクへの位置づけ 1203 120 12	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	当該 (開始) 基本計画のの位置 1	(当年度 (当 初) (で で が) (で が) (で で が) (で で が) (で で が) (で で が) (で で が) (で で が) (で) (で) (で) (で) (で が) (で) (○有 ●無 - ドフェスティバル - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2,681 千円 2,687 千円 2,687 千円 を開催し、環 6月 7 ⑥ (6)	(うち人件件費 (うち人件件費 (うち人件件費 部門別計でするのではできます。 (する) (では、) (2. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 464 千円) . 464 千円) とともに、自然) 1 1月 1 2~ ⑥ 1 1月. 団体 規定値 実績値 (5)現況値 189	→ 3月 ③ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ 上旬の2日 「
(人件責合む) (# 前 評 価 11203	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	基本計画のの	(「	○有 ●無 - ドフェスティバル - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2,687 千円 を開催し、環 6月 7 ⑥ 本額(千円) 12 12 2 2 2 11 13	(うち人件費 部門別計づすえる。 環境保護を考える。 「	2.・ (計画名) 機会を提供すると (計画名) 1 ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ④ 単位 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	2 ともに、自然 1 1月 12~ ② 1 1月 団体 実績値 (5)現況値 189 3年度	→ 3月 ③ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ 上旬の2日 「
19 19 19 19 19 19 19 19	129	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	計画への位置	置づけ ジア ア マ ラ マ マ マ マ マ マ マ マ マ ア マ ア マ ア マ ア	ドフェスティバル 6 4月 5月 8: ◎ ◎ ③ 前 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	金額(千円) 12 22 0.2 2,44	位置で考える。 月 8月 9 ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	機会を提供すると 日本 1 ② ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ④ (計) ② ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	11月 12~ ③ 11月. 団体 想定値 実績値 (5)現況値 189 3年度	→ 3月 ② ② ③ ③ ● ○ 上旬の2日 「
19 19 19 19 19 19 19 19	129	223 128 225 128 225 166 223 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 225 166 223 225 22	計画への位置	置づけ ジア ア マ ラ マ マ マ マ マ マ マ マ マ ア マ ア マ ア マ ア	ドフェスティバル 6 4月 5月 8: ◎ ◎ ③ 前 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	金額(千円) 12 22 0.2 2,44	位置で考える。 月 8月 9 ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	機会を提供すると 日本 1 ② ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ④ (計) ② ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ② ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	11月 12~ ③ 11月. 団体 想定值 実績値 (5)現況値 189 3年度	→ 3月 ② ② ③ ③ ● ○ 上旬の2日 「
(3) 事業内容	(報注)、手質沼花火大会などの手賀沼にかかわるイベン(株)を実施します。また、広報や市ウエブサイト、S N S をテーマに、研究所、学校・企業、行政などが組織する。	メントや手賀沼周辺の自然観察会、患い、パンフレットなどの活用やパストを実施するにある。	会会、	的 度画 度指 類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4月 5月 (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**)	金額(千円) 12 22 0.2 2,44	月 8月 9	● 月 1 ○ 月 ○ ○ ○ ● 単位 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	11月 12~ ③ 11月. 団体 想定值 実績値 (5)現況値 189 3年度	→ 3月 ② ② ③ ③ ● ○ 上旬の2日 「
現在 現 現 現 現 日本 日本 日本 日本 日	接来子市内のおもに手質別周辺の会場を中心に、	T る実行委員会が実施するイベントの加で行う。鳥の博物館は、実行委員しするための学術部門のイベントの鳥としてもらう。 正してもらう。 正してもらう。 正世もらう。 正世もらう。 正世はらずるような体制を検討する。 平成31年度 平成31年度 日本の他		度画 ・・	計: ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ● (金額(千円) 12 2 0.2 2,44 13 	 ○ ○	◎◎◎●単位団体団体団体団体内令和森和森和森和森和森和森和森和森和森和森和森和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春<td>© © © 1 1月. 団体 想定値 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 % 0 % 0 %</td><td>金額(千円)</td>	© © © 1 1月. 団体 想定値 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 % 0 % 0 %	金額(千円)
の2日間、3、1 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	孫子市内のおもに手質沼周辺の会場を中心に、市民参加でが進める「人と島の共存するまちづくり」をアピールすった、事務局としての分担業務を担当する。 達成目標(期待する成果) ららい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。 ららい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。 ららい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。 ららい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。 ららい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。 ららい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足しった。 第結時職員報酬 (経常) 129 (経常) 16 1 (経常) 16 1 (銀活職員是用分談費 (経常) 16 1 (銀活職員) 2 (加で行う。鳥の博物館は、実行委員としての業務を置してもらう。 としてもらう。 としてもらう。 としてもらう。 としてもらう。 としてもらう。 のがかかり、実行委員としての業務を置けるような体制を検討する。 中成31年度 容	委員とし ・の鳥学講	度画 ・・	計: ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ● (金額(千円) 12 2 0.2 2,44 13 	 ○ ○	◎◎◎●単位団体団体団体団体内令和森和森和森和森和森和森和森和森和森和森和森和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春和春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春春<td>© © © 1 1月. 団体 想定値 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 % 0 % 0 %</td><td>金額(千円)</td>	© © © 1 1月. 団体 想定値 実績値 (5)現況値 189 3年度 0 % 0 % 0 %	金額(千円)
3) 事業内容 内 容 座を行う。また 日本	連成目標 (期待する成果) 10	正してもらう。 正してもらう。 正してもらう。 こがかかり、実行委員としての業務を を置けるような体制を検討する。 平成31年度 容 予算額(千円) を	執行計画	画 使指類 ・・	構: :: 	金額(千円)	② X	単位 単位 単位 団体 団団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 団 国 国 国 国 国 国	想定値 実績値 (5) 現況値 189 3年度 4 189 6 189 7 189 	金額(千円
(4) 達成目標 (期待する成果) 当該年度	はい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足した。	正してもらう。 - がかかり、実行委員としての業務をを置けるような体制を検討する。 - 平成31年度 容 予算額(千円) を	活動結果	度指標 参加団体数 参加団体数 参加団体数 参加 回回 体数 参加 回回 体数 参加 回回 体数 参加 回回 体数 参加 四回 使排	十 ○有 ●無 ○和 2年度 容 容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	金額(千円)	東 (経常) (経常) (場所) (単位 単位 団体	想定値 実績値 (5) 現況値 189 3年度 4 189 6 189 7 189 	金額(千円
当該年度	はい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足した。	正してもらう。 - がかかり、実行委員としての業務をを置けるような体制を検討する。 - 平成31年度 容 予算額(千円) を	活動結果	度指類 参加団体数 参加団体数 参加団体数 参加 団体数 参加 団体数 参加 団体数 参加 四団体数 参加 四団体数 参加 四団体数 参加 四団体数 参加 四団体数 参加 四団体数 解張託託託民職員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員員	↑ ●無 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	金額(千円)	東 (経常) (経常) (場所) (単位 単位 団体	Type	金額(千円
当該年度	はい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足した。	正してもらう。 - がかかり、実行委員としての業務をを置けるような体制を検討する。 - 平成31年度 容 予算額(千円) を	指標種類 間接	類 参加 団体教 参加 団体教 参加 団体教 参加 団体教 参加 団体教 参加 団体 体教 参加 団体体教 参加 団体体教 参加 団体体教 参加 団体体教 参加 国际 一大 保護 一大 保護 一大 保護 一大 保護 一大 大 一大 保護 一大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	↑ ●無 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	金額(千円)	東 (経常) (経常) (場所) (田団 体 団体 団体 団体 体 団体 体 団体 体 団体 体 団体 体 内 容 報社雇費の賃 費 音計	(5) 現況値 189 3年度 0 % 0 %	金額(千円
当該年度	はい、多くの人に参加してもらう。また、事業に満足した。	正してもらう。 - がかかり、実行委員としての業務をを置けるような体制を検討する。 - 平成31年度 容 予算額(千円) を	間接 間接 間接 間接 間接 に (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大替案検 (大学を) (大学を	参加 国体数 参加 国际体数 参加 国际体数 参加 国际体数 参加 国际体数 多质 医乳腺素 医乳腺素 医乳腺素 医乳腺素 医乳腺素 医乳腺素 医乳腺素 医乳腺素	↑ ●無 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	金額(千円)	東 (経常) (経常) (場所) (田団 体 団体 団体 団体 体 団体 体 団体 体 団体 体 団体 体 内 容 報社雇費の賃 費 音計	3年度 0 % 0 %	金額(千円
令和 3年度	(を)	正してもらう。 - がかかり、実行委員としての業務を置けるような体制を検討する。 - 平成31年度 容 予算額(千円) 2 25 2 5 16 42 5 10 % 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	間接 間接 間接 間接 間接 の	参加団体数 の名標の関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関	**	2° 2° 0.2 2,44	東 (経常) (経常) (場所) (の	3年度 0 % 0 %	金額(千円
令和 3年度 フェスティバルに関心を持ってもさい。 島の博物館の活動と意義をアピール に果たせていない。他部署との協力 平成30年度 改	一	でかかかり、実行委員としての業務を を置けるような体制を検討する。 平成31年度 容 予算額(千円) 2 28 25 16 42 5 10 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 153 42 2,687 9千円/団体 K田など、多様な自然環境から構成にいるが、宅地の進展により大幅にしているが、宅地の進展により大幅にしての支援が必要である。そのため、イードフェスティバルを開催し、環	職務を十分 代替案検	参加 P P の を	**	2° 2° 0.2 2,44	東 (経常) (経常) (場所) (令和 3 内 容 報酬 和 和 和 和 和 和 和 和 和	0 % 0 %	金額(千円
場合 場合 場合 場合 場合 場合 場合 場合	一	でかかかり、実行委員としての業務を を置けるような体制を検討する。 平成31年度 容 予算額(千円) 2 28 25 16 42 5 10 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 153 42 2,687 9千円/団体 K田など、多様な自然環境から構成にいるが、宅地の進展により大幅にしているが、宅地の進展により大幅にしての支援が必要である。そのため、イードフェスティバルを開催し、環	業務を十分 代替案検	全計 (全部 中央	**	2° 2° 0.2 2,44	東 (経常) (経常) (場所) (令和 3 内容 報酬 科拉会保険 特 程	0 % 0 %	金額(千円
「果たせていない。他部署との協力 で東成30年度 次 内 容 一	度	を置けるような体制を検討する。	代替案検 (代替案検 (大円) (政策 (大円) (政策 (大円) (政策 (大円) (政策 (大円) (令 内 (経常) 解析 (**	2° 2° 0.2 2,44	東 (経常) (経常) (場所) (内 容 報酬 社会保険 経歴用保険 費用フ報 資金	0 % 0 %	
次 内 容 一	金額(千円) 改 内 容 名 名 内 容 名 内 容 名 名 和 和 和 和 和 和 和 和	容	28	内(経常) (嘱託職職員報酬 (嘱託託職職員員雇雇用) (電話職職員員雇雇用) (電話職職員員雇用) (電話職職員員) (電話職職員員) (電話) (電	十 0 % 0 % 0 % 0 %	2° 2° 0.2 2,44	東 (経常) (経常) (場所) (内 容 報酬 社会保険 経歴用保険 費用フ報 資金	0 % 0 %	
政策 内 容 日本	金額(千円) 改 内 容 名 名 内 容 名 内 容 名 名 和 和 和 和 和 和 和 和	容	28	内(経常) (嘱託職職員報酬 (嘱託託職職員員雇雇用) (電話職職員員雇雇用) (電話職職員員雇用) (電話職職員員) (電話職職員員) (電話) (電	十 0 % 0 % 0 % 0 %	2° 2° 0.2 2,44	東 (経常) (経常) (場所) (内 容 報酬 社会保険 経歴用保険 費用フ報 資金	0 % 0 %	
要施内容 要施内容 要施内容 要施内容 要施力容 要施力容 要施力容 要施力容 要施力容 要施力容 要施力容 要施力	129 (経常) (経常) (編託職員報酬 (編託職員社会保険料 編託職員是雇用保険 編託職員是用保険 (編託職員是用升代債 市民 市民 元 元 元 元 元 元 元 元 元	128 25 25 25 16 42 42 5 5 16 42 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 42 23 68 7 153 42 2 2 2 68 7 9 7 7 7 7 7 7 7 7	28	(軽常) 報酬 (嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱嘱	十 0 % 0 % 0 % s金 □その他	2° 2° 0.2 2,44	28 嘱託 職員員員 5 嘱託 職職 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	報酬 社会保険料 雇用保険 費フ報 賃 金 合 計	0 %	
要施内容 関連	16	25 2 5 16 16 42 5 5 16 16 42 5 5 16 16 42 5 5 16 16 42 5 5 16 16 42 5 5 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	25 19 「「「「「「「「「「「「「」」」」」」 2 2 2 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	嘱嘱託品報報 一個 本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語	0 % 0 % 0 %	2° 2° 0.2 2,44	19 嘱託融資 2 嘱託融資 5 16 市臨民民職 6 市臨 7 17 10 補助率率 17 0 中 17 0 中 17 0 日	社会保険料雇用保険質力を受ける。	0 %	
実施内容 費用 本事項	1	S 16 42 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 42 5 5 16 16 16 16 16 16	5 16 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	嘱託職ス部職所 本語 日本	0 % 0 % 0 %	2° 0.2 2,44	5 嘱託職員 16 市民 2 市民	費用弁償 ップ報償費 賃金 合計	0 %	
実施内容 費用 事業(決算)額 一	1	16 42 5 5	16	市民ス成分の資産を受益 ロシール をおいます では、	0 % 0 % 0 %	2° 0.2 2,44	16 市民スタ 42 臨時職員 5 浦邦品 17 0 補助率 0 充当率 17 0 口特会 28 64 53	ッフ報償費 賃金 合計	0 %	
実施内容	203 一番助率	223	23 215 0 0 1 補値 0 0 1 補値 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	消耗品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 % 0 % 0 %	2° 2° 0.2° 2,44	17 0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 64 53	合 함	0 %	
野瀬	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (国体 回体 単元の未り、 1月根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまたぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> 1日本のでは実施できないまたといより、良質で安定したまたのより政策・施策の目標の くその他の内容> 2日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
国庫支出金 補助率 0 現支出金 補助率 0 見表出金 7.5当率 0 記憶 7.5当差 1 記憶 7.5当差 1 記憶 7.5 記	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (国体 回体 単元の未り、 1月根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまたぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> 1日本のでは実施できないまたといより、良質で安定したまたのより政策・施策の目標の くその他の内容> 2日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
国庫支出金 補助率 0 現支出金 補助率 0 見表出金 7.5当率 0 記憶 7.5当率 0 記憶 7.5当率 0 記憶 7.5当率 0 回特会 □基金 □本 2.5 四級 1.5 回過 1.5 可過 1.5 回過 1.5 可過 1.5 回過 1.5 可過 1.5 可過 1.5 回過 1.5 可過 1.5 回過 1.5 可過 1.5 回過 1.5 可過 1.5 可述 1.5 可過 1.5 可述 1.5 可述 1.5 可述 1.5 可述 1.5 可述 1.5	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (国体 回体 単元の未り、 1月根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまたぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> 1日本のでは実施できないまたといより、良質で安定したまたのより政策・施策の目標の くその他の内容> 2日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
国庫支出金 補助率 0 現支出金 補助率 0 見表出金 行当率 0 配慮の視点	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (国体 回体 単元の未り、 1月根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまたぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> 1日本のでは実施できないまたといより、良質で安定したまたのより政策・施策の目標の くその他の内容> 2日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
国庫支出金 補助率 0 現支出金 補助率 0 定性	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (国体 回体 単元の未り、 1月根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまたぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> 1日本のでは実施できないまたといより、良質で安定したまたのより政策・施策の目標の くその他の内容> 2日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
国庫支出金 補助率 0 現支出金 補助率 0 定性	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (国体 回体 単元の未り、 1月根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまたぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> 1日本のでは実施できないまたといより、良質で安定したまたのより政策・施策の目標の くその他の内容> 2日本の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
国庫支出金 補助率 0	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (本地域の水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまいまできを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> とにより実効性が得られることにより、良質で安定したが定められているとり政策・施策の目標の くその他の内容> かけ政策・施策の目標の エ夫の見りしている リリしている 事質沼周辺を舞台にイベント	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
国庫支出金 補助率 0 現支出金 補助率 0 定性	0 % 0 補助率 0 % 0 補助率 0 % 0 充当率 203 203 の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.994 151 42 3,107 16.59千 団体 16.59千 事前 評価 (本地域の水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でもぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまいまできを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 くその他の内容> とにより実効性が得られることにより、良質で安定したが定められているとり政策・施策の目標の くその他の内容> かけ政策・施策の目標の エ夫の見りしている リリしている 事質沼周辺を舞台にイベント	0 % 0 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0 0 0 % 0	0 0 1 補補 0 0 0	補助率 補助率 売当率 □特会 □受益 □基 □特会 □受益 □基 ■ 後 評 の想定どおりでなかっ した理由/想定どおりでなかっ した理由/対応あり、会前 のの参加が活動にもずでなった。 近後なったことででは、 近後なったことでは、 近後なったことでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0 % 0 % 0 %	0. 2 2, 46 15	0 補助率 0 補助率 0 充当率 17 0 □特会 28 64 53		0 %	
記憶 元当率 0	0 % 0 売当率 203 203 ○の他 0 □特会 □受益 □基金 0.33 2.904 151 42 3.107 ○団体 16.59千 事前評価 「利根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田 でらぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となってい では生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 体等では実施できない はことが定められている い きであることはより、良質で安定した にいり政策・施策の目標の スキの他の内容> ことにより、良質で安定した にり政策・施策の目標の スキの他の内容> ことにより、良質で安定した にいる スキの他の内容> ことにより、良質で安定した にいる まず アンティアが事業に	0 % 0 223 金 □その他 0 0 .28	0 0 0 1 元 23 215 0 0 0 0 28 0.28 0.28 0.28 64 2.464 53 153 42 42 42 87 2.679 14.17 14.17 14.17 15.15 15.3 42 42 42 87 2.679 14.17 14.17 15.15 15.3 42 42 42 42 87 2.679 14.17 16.15 16	・	0%	0. 2 2, 40 15	0 充当率 17 0 □特会 28 64 53	□受益 □基金 □		
一般財源 その他の財源 その他の財源 その他の財源 をの他の財源 をの他の財源 接算人数(人) 理職員人件費 嘱託職員報酬額 医時職員賃金額 「事業費(予算(決算)額+正職員人件費) (11) 単位費用 (事業費) 活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK) 評価項目 おるが今必要である理由・背景は?(事業の必要性) でも、「人と鳥とが共存するご整かな境保全の意識を多くの人へ市民団をかかな境保全の意識を多くの人で、一般とかが、一般とかが、一般である。自主的な理学が、でもが、共存するに整化 (理由) □法令等でもがま存ることにより、実現があるか? (市実施の必要性) 「市大主海でもある市が推進すべきに理由) ■市が主海に市民の参を画有りり ②(事業単・連当的な活動と連携しているか? (体制づくり) 「1ましているか? (体制づくり) 「1ましているか? (体制づくり) 「1 事業計画時に市民の参画有りり ②(事業単・連当的な活動と連携し 〇(3) 市民のと共存している。 第4 の の 内容 シール は は は は は は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	15	金 口その他 0.28	0 0 0 0 28 64 2.464 53 153 42 42 42 87 2.679 14.17	事後評の想定どおりでなかっの想定どおりでなかっつ想定とおりでなかっした理由/想定どおりでもかって活動にも可います。 1 トロール アン・ロール アン・ロール アン・ルール アル・ルール アン・ルール アン・ルー		0. 2 2, 46 15	0 □特会 28 64 53	□受益 □基金 [0 %	
正職員人件費 照託職員報酬額 1	2.904 151 42 3.107 回体 16.59千 事前評価 「利根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でらぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となってい意保全活動展開しており、今後、このような活動に対していな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 は等では実施できない。ことが定められている ことはより、良質で安定した。 により、良質で安定した。 にり政策・施策の目標の の内容 エ夫の身りりしている 「具体を関係を表現した」を表現している。 「本の他の内容>」 「本の他の内	2.464 153 42 2.687 9千円/団体 K田など、多様な自然環境から構成 にいるが、宅地の進展により大幅に しての支援が必要である。そのため ベードフェスティバルを開催し、環 の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	64 2.464 53 153 42 42 87 2.679 14.17 構成 ●①事前確認での ○②事前確認での ○②事前確認での ○②事前確認での ○②事前確認での ○③申前確認での ○②事前確認での ○②事前確認での ○②事前確認での ○○②事が生きない。 □○②市が先導役と 「促進で支援がよった。」 □③市が先導役と 「促進で支援がよった。」 □③中ービスの他 <その他の内容> 実施した参加 参加・協働 多くのボランティ	の想定どおりの想定どおりの想定どおりでなかっした理由/想定どおりでなかっ 多数の参加があり、会加者をつなぐ活動にもj NPO、市民団体等で進めなければ実効性がとなったことで市民へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平 価(評価結果に	2, 46 15	64 53		口その他	;
機合麻膜面積 陸時職員賃金額 下業費(予算(決算)額+正職員人件費) (11) 単位費用 (事業費/活動結果指標) 22.19千円/団 (事業費/活動結果指標) 22.19千円/団 (事業費/活動結果指標) 22.19千円/団 (事業費/活動結果指標) 22.19千円/団 (事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	# 16.59千	42 2,687 9千円/団体 2,687 9千円/団体 8 株田など、多様な自然環境から構成にいるが、宅地の進展により大幅にしての支援が必要である。そのためベードフェスティバルを開催し、環 の具体的な内容 業に参画している。	42 42 42 87 2,679 14.17 14.	の想定どおりの想定どおりの想定どおりでなかっした理由/想定どおりでなかっ 多数の参加があり、会加者をつなぐ活動にもj NPO、市民団体等で進めなければ実効性がとなったことで市民へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平 価(評価結果に	4				0. 2, 4
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (D0+CHECK) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)	事 前 評 価	9千円/団体 K田など、多様な自然環境から構成 にいるが、宅地の進展により大幅に しての支援が必要である。そのため ベードフェスティバルを開催し、環 の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	# (の想定どおりの想定どおりの想定どおりでなかっした理由/想定どおりでなかっ 多数の参加があり、会加者をつなぐ活動にもj NPO、市民団体等で進めなければ実効性がとなったことで市民へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平 価(評価結果に		42			
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価 (DO+CHECK) 評価項目 お孫子市は手質沼や利根川、古利されている。この自然は市民に安定 失われてきている。 現在多くの市民が自主的な環境保 に 代全の意識を多くの人々に啓発し 〇①民間企業、NPO、市民団体 (理由) □法令等で市が実施すること サービスが保証される。 口帯が実施・提供すること サービスが保証される。 口帯が実施・提供すること サービスが保証される。 口帯が支援することにより 実現が図られる 口帯が支援することにより まましているか? (体制づくり) ***********************************	事前評価 「利根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でらぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となってい意保全活動展開しており、今後、このような活動に対していな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーとしていきたい。	K田など、多様な自然環境から構成 にいるが、宅地の進展により大幅に しての支援が必要である。そのため イードフェスティバルを開催し、環 の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	構成	の想定どおりの想定どおりの想定どおりでなかっした理由/想定どおりでなかっ 多数の参加があり、会加者をつなぐ活動にもj NPO、市民団体等で進めなければ実効性がとなったことで市民へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平 価(評価結果に	2, 68	81			2, (
評価項目 (1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) (体制づくり) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (□ 利根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でらぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまた生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 は事では実施できない。 さことが定められている。 こにより実効性が得られることにより、良質で安定した。 にり政策・施策の目標の □ 内容 □ 工夫の身りりしている □ 大の間での内容 □ 大の他の内容 □ 工夫の身りりしている □ 大の間での内容 □ 大の他の内容 □ 下の他の内容 □ 大の他の内容 □ 大の他の内	でいるが、宅地の進展により大幅にしての支援が必要である。そのため イードフェスティバルを開催し、環 の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	幅に ○②事前確認での	の想定どおりの想定どおりの想定どおりでなかっした理由/想定どおりでなかっ 多数の参加があり、会加者をつなぐ活動にもj NPO、市民団体等で進めなければ実効性がとなったことで市民へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平 価(評価結果に					
(1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (3)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (4)市が実施・提供主体が市しかない。 日提供主体が市しかない。 日提供主体が市したない。 日提供主体が市したる。 日提供主体が市したない。 日間・市が実施・提供することは、 中では、対象のでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 利根沼などの水辺や台地上の農地、斜面林、低地の水田でらぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となっていまた生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパーをしていきたい。 は事では実施できない。 さことが定められている。 こにより実効性が得られることにより、良質で安定した。 にり政策・施策の目標の □ 内容 □ 工夫の身りりしている □ 大の間での内容 □ 大の他の内容 □ 工夫の身りりしている □ 大の間での内容 □ 大の他の内容 □ 下の他の内容 □ 大の他の内容 □ 大の他の内	でいるが、宅地の進展により大幅にしての支援が必要である。そのため イードフェスティバルを開催し、環 の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	幅に ○②事前確認での	の想定どおりの想定どおりの想定どおりでなかっした理由/想定どおりでなかっ 多数の参加があり、会加者をつなぐ活動にもj NPO、市民団体等で進めなければ実効性がとなったことで市民へ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平 価 (評価結果に					
(1)事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 「(体制づくり) 「環境に配慮して事業を進めているか? (なか?) 「(1)事業が今必要性が共存する豊かな境保全の意識を多くの人々に啓発しているか? (体制づくり) 「(2)事業実施時に市民の参加画有りの(3)管理・運営におより実現が図を通常しているか? (体制づくり) 「(4)事業との他 「(5)事業実施時に市民の参加画有りの(3)管理・運営に市民の参加画有りの(3)管理・運営におしているのを通携しているの(6)をの他 「(5)をの他 「(6)をの他 「(7)の表に、は、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、	でらぎを与えるとともに生物の貴重な生息空間となってい 像保全活動展開しており、今後、このような活動に対していな生活を目指していくことを目的とする」ジャパンパー をしていきたい。 体等では実施できない らことが定められている きである ことにより、良質で安定した。 とり政策・施策の目標の の内容 エ夫の見り りしている	でいるが、宅地の進展により大幅にしての支援が必要である。そのため イードフェスティバルを開催し、環 の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	幅に ○②事前確認での	の想定どおりでなかっ した理由/想定どおり・ 多数の参加があり、会加者をつなぐ活動にも NPO、市民団体等で 進めなければ実効性が となったことで市民へ ・ 政策・施策の目標の実 準が確保された		応じ、改善案	案検討(拡充も含	む))		改善核
背景は?(事業の必要性) 現在多くの市民が自主的な環境保にも、「人と鳥とが共存する豊かな境保全の意識を多くの人々に啓生してもいます。 「日本の本のなりない。」 「日本の本のないでは、「日本の本のないでは、「日本の本のないでは、「日本の本のないでは、「日本の本のないでは、「日本の本のないでは、「日本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の	************************************	の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	□ 環 BFには全国から和施し、市民・参加 □①、日間企業、 N □②市が主導で役 を	多数の参加があり、会 加者をつなぐ活動にも NPO、市民団体等で 進めなければ実効性が と と い 変策・施策の目標の実 準が確保された	た					
境保全の意識を多くの人々に啓発し ○①民間企業、NPO、市民団体 (理由) □法令等で市が実施することに □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべき (理由) ■市が主導で進めることに □市が実施・提供するれる □市が実施・提供するよとにより □和・協働の「 ○②事業実施時に市民の参画有り ○③事業・実施時に市民の参画有り ○④事業・実施時に市民の参画有り ○④を事業・変遣でに市民の参連携し ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ○⑥その他 ○⑥その他 ○⑥その他 ○⑥その他 ○⑥子の他 ○⑥丹の他 ○⑥子の他 ○⑥丹の他 ○⑥	をしていきたい。 体等では実施できない らことが定められている さことはり実効性が得られる とにより実効性が得られる とはより、良質で安定した らい の内容 エ夫の りり している 「「「「「」」」 「「」 「「」」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」	の具体的な内容 業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	施し、市民・参加 □①民間企業、で通 □②市が先導役と ■③市が先導役と ■のでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、	四者をつなぐ活動にも NPO、市民団体等で 達めなければ実効性が となったことで市民へ に が策・施策の目標の実 準が確保された						○要 ●不
型 (理由) □法令等で市が実施するこ □提供主体が市しかない □その他 ②自治体である市が推進すべき (理由) ■市が主導で進めることに □市が実施・提供すること サービスが保証される □市が実施・提供することに サービスが保証される □市が実施・提供することに サービスが保証される □市が実施・提供することに サービスが保証される □市が実施・提供することに サービスが保証される □和が支援することにより 実現が図られる □名の他 参加・協働の ②事業実施時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ●②の・事業を実施 ○⑥・市民の共同で事業を実施 ○⑥・その他 <その他の内容> 配慮の視点 □③生き物と共存している □③手賀沼を意識している □③生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □③・ラの他	さことが定められている	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	□②市が主導で後と □③市が先導役と □④市の支援が取る。 □⑤サービスの3 □⑦チの他 <その他の内容> 実施した参加 参加・協働 多くのボランティ	進めなければ実効性が となったことで市民へ 政策・施策の目標の実 準が確保された						実
要性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ・	*** ** ** ** ** ** ** ** ** *	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	■③市が先導役と 促進された。 □④市の支援が表 □⑤サービス水等 □⑥サービスの等 □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加・協働 多くのポランティ	となったことで市民へ : : : : : : : : : : : * : * : * :				・必要性の理由>		とが
性 (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ・ (市実施の必要性) ・ (理由) ■市が主導で進めることにいるが実施・提供することサービスが保証される口市が実施・提供することで表現が図られる口でで表現が図られる口でで表現が図られる口でで表現が図られる口でで表現が図られる口でで表現が図られる口でである。 ・ (体制づくり) ・ (本制づくり) ・ (本制がり) ・ (本制がり) ・ (本制がり) ・	ににより実効性が得られる。とにより、良質で安定した。 にはり、良質で安定した。 にはり、良質で安定した。 にはり、良質で安定した。 にはなった。 の内容 エ夫の身 りしている タくのボランティアが事業に している 事質沼周辺を舞台にイベント	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	□④市の支援が正 □⑤サービス水準 □⑥サービス水準 □⑥サービス マー マー マー マー マー での他の内容> 実施した参加 参加・協働 多くのボランティ	が政策・施策の目標の実 準が確保された			また、市民参加者	と参加者の架け橋		
(理由) ■市が主導で進めることに □市が実施・提供すること □市が実施・提供すること 中一ビスが保証される □市が支援することにより 実現が図られる □その他 参加・協働の 「全の他 参加・協働の「 ②事業計画時に市民の参画有り ②③管理・運営に市民の参画有り ②③管理・運営に市民の参画有り ②⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容> 配慮の視点 ■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □②手質沼を意識している □③手質沼を意識している □③手質沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □③手質沼を意識している	ににより実効性が得られる。とにより、良質で安定した。 にはり、良質で安定した。 にはり、良質で安定した。 にはり、良質で安定した。 にはなった。 の内容 エ夫の身 りしている タくのボランティアが事業に している 事質沼周辺を舞台にイベント	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	□⑥サービスの3 □⑦その他 <その他の内容> 実施した参加 参加・協働 多くのポランティ		ミ現に貢献した	22.00	= ·Ø 0			0.77
参加・ 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (いるか? いるか? (いるか?) 「環境に配慮して事業を進めているか? (いるか?) 「関境に配慮して事業を進めている。	5 り り り する	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	マイベント会場は、		きれた					○要
実現が図られる □その他 参加・協働の「 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の内容 工夫の身り りしている 多くのボランティアが事業に りしている 場点 取利 手質沼周辺を舞台にイベント	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	参加・協働 多くのボランティ	>						
● 参加・協働の記載	り り り している 記点 取組 手賀沼周辺を舞台にイベン	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	参加・協働 多くのボランティ							
参加・ 市民の参加や市民との協働を 工夫しているか? (体制づくり) 「電境に配慮して事業を進めているか? 「環境に配慮して事業を進めているか? 「は、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こので	り り り している 記点 取組 手賀沼周辺を舞台にイベン	業に参画している。 取組む内容 ントを開催している。	参加・協働 多くのボランティ	加・協働の具体的な内	1突(V什会後					
参加 ・	り り している	取組む内容 ントを開催している。	イベント会場は、	働が考えられる場合に		0.00		協働の程度・内容 	<u></u>	
・協働のエ夫しているか? (体制づくり) (体制づくり) (体制では、	している 点 取組 手賀沼周辺を舞台にイベン	ントを開催している。		イアか参加している。		●②当	初期待した以上 初期待したとおり	.J		
工夫	手賀沼周辺を舞台にイベン	ントを開催している。				O333	初の期待以下			〇要
工夫	手賀沼周辺を舞台にイベン	ントを開催している。				<期待し	した以上となった	:理由/期待以下で	であった原因>	●不
配慮の視点 環境 環境に配慮して事業を進めて いるか? □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他	手賀沼周辺を舞台にイベン	ントを開催している。								
環境 環境に配慮して事業を進めているの②手質沼を意識しているの②保境負荷低減に貢献しているの②ほのであった。 いるか?	手賀沼周辺を舞台にイベン	ントを開催している。								
環境 環境に配慮して事業を進めて いるか? には には には には には には には には には には				実施した具体的な内	* *		環	環境への配慮		
環境に配慮して事業を進めている のののののののののは、	ৱ	: .		、手賀沼のほとりにあ ^り らうことが出来る。	り、参加者に我孫子		定どおり 定どおりでなかっ	o <i>t</i> -		
の配慮 USaか? USaか? USaか? USaか? USaか? USaか? USao Can	৩	: ₋		5 7 = 2 11 Z 11 S 3			どおりでなかった			─ ○要
<その他の内容>		・ェック				∖恋庄と	このりでなかりに	 		●不
		・ェック	 							
		-ェック								
現況値(a)(団体) 目標値(b)(団体				i 成状況	●①目標値達成 ○②目標値未過					
(1)目標設定は適切か?	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない		実績値(f)(団体)	達成率(%) (f/b×100)			権成となった原因)	>		O要
189 162	□③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例によ	における目標値(と現況値の差)と	ا ا	116. 67	JBFの認知度			•		●不
対策実施による事業費削減	同等の水準である 実施予定の対策				O①想定事業費	養未満	車士	業費の削減対策に	こついて	_
事業費(c)(千円) 事業費削減額(頃(d) □①国・県助成制度活用 □⑤ P	5 P F I 等民間資本の活用	実績値(g)(千円)	対事業費(%)	●②概ね想定事 ●③想定事業費	業費以内	●①事前の2	想定どおり		
(十円)		⑥受益者負担 ⑦その他		(g/c) × 100	→ ○○応止争未算	C K. C. A. C.	○②事前の数	想定どおりでなか	いった	
	口④民間委託 <削減の内容>		2,679 <超過理由等>	99. 7			<想定どおり	削減できなかった	た原因>	〇要 ●不
事業費削減率(%)	אנוו		、 ^{尺四} 性田寺/							
13. 52			I							
目標値対事業費(貴(e) 計算						1	た理由/目標値以	以下であった原!	因>
(3) 日標値を実現する為に	単位 費用単位 ●①単年度の指標:目標値×費	+算方法	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	対目標値(%)	●①目標値以上					〇要
		×費用単位/事業費	宇結値 (h)		●①目標値以上 ○②目標値とに ○③目標値以下	程度 JB	■ 目標値以上となった 3Fの認知度が高る	まった為		
(目標対費用) 6.03	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		費 実績値(h)	(h/e) × 100	○②目標値と同	程度 JB		まった為		●不
	=	×費用単位/事業費	宇結値 (h)		○②目標値と同	程度 JB		まった為		
3. 事後評価	団体 10万円	×費用単位/事業費	費 実績値(h)	(h/e) × 100	○②目標値と同	程度 JB		まった為		

^張 式第3号						事務事 ————	来評価表	(平成3	牛皮)								
事業コード	:	1435			課コード	1604		会計種別	一般会計				予算 <i>0</i>)種類 □]政策	■経常 □	□なし
1. 事業の)概要 (PLAN)																
		①事業名	基本事業						実施計画へ	への	● 友	〇無			上 涯学翌郊	・鳥の博物館	
				室内啓発イ					位置づけ	t							
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他	. (~)	④対象地区 ⑥担当職員数	数			1湖北 2 人	□新木 (換算人数	□布佐	●全市 0.1 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費						01221117111		(当 初)		66 千円	(うち人件費		880 千円)	
		(人件費含む)	総争耒貨			0 千円			当該(開始)	平度 ((変更後)	3, 86	62 千円	(うち人件費		880 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		11203	重点プロジェクト への位置づけ	重点	2	基本計画地計画への位置		●有	〇無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	主涯学習推進計画	i
		施策目的・	多くの人が手						þ	†		「民スタッフの指導		工作や実験を行い			た、鳥類の
(2)目的		展開方向	験などを引き	き続き実施	します。また、ハ	などの手賀沼にかかわるイベント 広報や市ウェブサイト、SNS、	パンフレットなどの	活用やパブリ	シ	K) 3		が出会う機会を設け					
						できるように、その導入として自 、鳥笛、鳥グライダーなど楽しい				J		フイベント:年2回 Þの土日、鳥に関す					
						ィアも最大限に活用する。そのほ 究員)による話題提供の後、参加			活 当該年度 執行計画		F期間の講座・室	内イベント、テー	マトーク:	毎月、鳥博セミカ	├一:年1回、		
(3)事業内容		内 容															
									当該年度	芟	全イベント参加者	皆数/年			単位	想定值人	1, 40
(4) 法武日捶 (1	 期待する成果)				凌武日 #	票(期待する成果)			活動結果指				+m		単位	実績値 (5)現況値	1,58
当該年度	対 17 9 心 (人木)	工作体験や講座を	通じて、身近な	な自然へ興					直接		事業参加人数	TH	175		人	1.588	1, 4(
令和 2年度	 F	工作体験や講座を	通じて、身近な	な自然へ興	!味を持ち、さら!	にそのしくみを理解できるような	に情報を提供する。		直接	Tiple Control of the	事業参加人数						1, 50
令和 3年度	-	工作体験や講座を	通じて、身近な	な自然へ興	!味を持ち、理解	し、その情報を広く伝えたくなる	ような情報提供をす	-る。	直接	3	事業参加人数						1, 60
114H 0-138	-	参加人数の増加と	ともに、実施ス	スペースの	確保が難しい。	他施設との連携も検討する。			巨女								
(7)事業実施上	この課題と対応								代替案検	討	〇有	●無					
		:	平成30年	度		:	平成31年度				令和	2年度			令和	3年度	
		束:	内 容		金額(千円)	政 内 容	予算額	領(千円) 決算	額(千円) 政策		内 容	a	盆額(千円)	策 :	内 容		金額(千円)
		(経常) 嘱託職員報酬			2, 180			2, 180	2, 180	(経常) 属託職員			2, 18				2, 18
		嘱託職員社会保 嘱託職員雇用保			276 24	嘱託職員雇用保険料		425 33	27	属託職員	社会保険料 雇用保険料		33 2	6 嘱託職員雇	用保険料		33: 20
		嘱託職員費用弁 講師報償費	貸		86 60			85 72		属託職員? 講師報償?	費用弁償 費			9 嘱託職員費2 講師報償費			8 7
	実施内容	市民スタッフ報 消耗品	侵費		41 150	市民スタッフ報償費 消耗品		39 148		市民スタ 肖耗品	ッフ報償費		3 14	9 市民スタッ 8 消耗品	フ報償費		3 14
(8)施行事項	費用								"	.,,,,,,,,							
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,																
	予算(決算)額		計		2, 817			2, 982	2, 854		合 計		2, 88		合 計		2, 886
	国庫支出金 県支出金	補助率補助率		0 %	0	補助率	0 %	0	0 補.	助率 助率		0 %		0 補助率 0 補助率		0 %	(
(9) 財源内訳	起債 一般財源	充当率		0 %	2, 817		0 %	2, 982	0 充 2,854	当率		0 %	2, 88	0 充当率 6		0 %	2, 886
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 □基金 □そ	その他	0.1	□特会 □受益 □基金 □	その他	0.1	0.1	□特会	□受益 □基金	口その他	0.		□受益 □基金	□その他	0. 1
(10) 人件費等	正職員人件費 嘱託職員報酬額				880 2, 566			880 2, 603	880 2, 603				2, 60				880 2, 603
事業費(予算(決	臨時職員賃金額 算)額+正職員人件費)				0 3, 697			0 3, 862	0 3, 734				3, 76	6			3, 766
(11)単位費用 (事業費/	′活動結果指標)		3.8千円/	′人		2.76千円	7/人		2. 35								
2. 事業の)評価 (DO+CHECK)															
1 4	価項目				事前	前評 価					事後評値	西(評価結果に応し	じ、改善案	検討(拡充も含む))		改善検討
						深めるために鳥の博物館をより効 い体験が欠かせないため。また、			①事前確認での②事前確認での		おりでなかった						
	「今必要である理由・ は?(事業の必要性)		しさに気づいて	てもらう機	会を作り出すた	め。さらに、市民と研究者がコミ		機会をつ	想定どおりとし	た理由ノ	/想定どおりでな	かった原因>					O要 ●不要
172615			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	o	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							くの市民に鳥を通	じて科学に	こ親しんでもらうホ	幾会を提供でき	きたため。	
必		○①民間企業、N (理由) □法令等				<その他の内容>					市民団体等では多れば実効性がなが	実施できなかった		の具体的な内容・ 館が主体となるこ			訓を
要			本が市しかない		.09 5.10 00 0						ことで市民へ普及			とができたため。		117270120	, .
性 (2)市が実	『施する必要性は	●②自治体である		きでなる		<その他の内容>					策の目標の実現に	こ貢献した					O要
あるか (市実)	\? 施の必要性)	(理由) ■市が主	尊で進めること	とにより実	対性が得られる 、良質で安定し						基盤が確保された	Ė					●不要
		サービ	スが保証される	3		<i>J</i> =			その他の内容>	•							
		実現が「	_表 することによ 図られる	より以東・	施策の目標の												
		<u>□その他</u>	参加・協働の	の内容		工夫の具体	本的な内容				の具体的な内容			参加・協	働の程度・内	容	
*		〇①事業計画時に				市民スタッフとの協働で事業	を実施する。		くの市民に参加	いただき		- の内容) 営に当たっては市		初期待した以上			
参加・古民の参	加や市民との協働を	●②事業実施時に ○③管理・運営に	市民の参画有	Ŋ				民	スタッフ等との	協働を行	うった。			刃期待したとおり 刃の期待以下			
協して美しては	いるか?	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で		している									<期待し	た以上となった理	由/期待以下	であった原因>	○要 ●不要
の (14利) (エ 夫		〇⑥その他															
		<その他の内容>						7									
			配慮の視	見点		取組む	い内容			実施した	た具体的な内容			環境	危への配慮		
		□①自然環境を生 □②生き物と共存	かしている			自然の素材やリサイクル材料が作を実施する。		で簡単なエエ				用した。	●①想知 ○②相:				
環 境 環境に配点	慮して事業を進めて	□③手賀沼を意識	している	7		TFで美胞する。											
ス の いるか? 配 慮		■④環境負荷低減 □⑤その他	に貝臥してい	'ক									<想定と	おりでなかった原	.囚 >		○ 要
慮		<その他の内容>															
		現況値(a)(人)	目標値(b)(]①客観的なデー	目標値の妥当性のチェッ-タ・事実に基づき設定している	ク			成状況 達		●①目標値達成 ○②目標値未達成					
(1)目標設	と定は適切か?	1, 588	1, 400		■②現況値と比べ	・事実に盛りさ設定している ≤実現性が乏しい値ではない ≦が小さい値ではない		3	実績値(f)(人)		f/b × 100)	<目標を達成した理					— ○要 ●不要
		1, 000	1, 400			象が有る場合、比較対象例におり	ナる目標値(と現況値	iの差)と	1, 588		113. 43	基力的なイベントの)企画によ	り多くの参加者が	あったため。		→ 一学
		対策実施によ	 る事業費削減		川寺の小準で	きある 実施予定の対策			実施	 施状況		○①想定事業費未 ●②無わ想宝事業		事業	費の削減対策	について	
効		事業費(c)(千円)	事業費削減額 (千円)		□①国・県助成制 ■②現有体制での	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F I 等民間資本の活序 益者負担	実	沒績値(g)(千円)			●②概ね想定事業 ○③想定事業費超 ○		●①事前の想 ○②事前の想		かった	
率 (2)事業費	資削減の工夫をして	3, 862	△165		■②3.6 F M Cの □③維持管理費の □④民間委託				3, 734		96. 69			<想定どおり削			O要
1174	, 5	事業費削	減率(%)		削減の内容>				超過理由等>	和田笙/-		滅し <i>た</i>		1 - 10 × C 00 7 F!	< C .011.)	. sarry- paid /	●不要
			l. 46					XJ:	ネロな物品の丹	では、	~6ッコヘトを削	111% U I = 0					
				## / \			->+			A-11		●①目標値以上	/0-	標値以上となった	押由 ノロ揺は	以下でなった 原巴	15
				台(e)		計算方	1法		達用	成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程』		際値以上となった 的なイベントの企			
(3)目標値	直を実現する為に 「東業典は済まれる		目標値対事業		費用単位	●①単年度の指標:目標値×費用	用単位/事業費		中华片八	対目		<u> </u>	14			の参加日かの フに	
(3)目標値 投じる	直を実現する為に 事業費は適正か? 対費用)	36. 25		単位	хл-ш	●①単年度の指標:目標値×費用 ○②複数年度の指標:(目標値-		/事業費	実績値(h)	(h	日標値(%) n/e)×100	〇③目標値以下	め。			の参加性がのうに	●不要
(3)目標値 投じる (目標:)事業費は適正か? 対費用)							/事業費	実績値(h) 42.53	(h	日標旭(%)	○③目標値以下	め。			ルックル 名 が め	●不要
(3)目標値 投じる (目標)	事業費は適正か? 対費用) 平価	36. 25		単位 人	10万円	○②複数年度の指標:(目標値-	現況値)×費用単位 <i>。</i>	/事業費		(h	日標値(%) n/e)×100	○③目標値以下	め 。			ひが加名かの ノた	●不要
性 (3)目標値 投じる (目標: 3.事後部 ●現状どお	事業費は適正か? 対費用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36. 25	D結合 C	単位 人 人)休止 評価コメ	10万円 〇廃止 ント	○②複数年度の指標:(目標値- ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	現況値)×費用単位。 (事業完了など)	/事業費		(h	日標値(%) n/e)×100	○③目標値以下 改善策及で		1		カショルセル・の ノニ	●不要
(3)目標値 投じる (目標: 3.事後記 ●現状どお	事業費は適正か? 対費用) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36. 25	D結合 C	単位 人 人)休止 評価コメ	10万円 〇廃止 ント	○②複数年度の指標:(目標値-	現況値)×費用単位。 (事業完了など)	/事業費		(h	日標値(%) n/e)×100			1		カをからか。	●不要

康式第3号						争 務争業	評価表(平)	火(1) 牛皮)							
事業コート	*	1437		課コード		1604	会計	種別 一般会	計			予算0	の種類	〕政策	■経常 □	□なし
1. 事業の	O概要(PLAN)															
		①事業名	基本事業						画への	0	有 〇無		②部課名	生涯学習部・	良の博物館	
				受展の充実 スペパナ /					づけ							
		③事業主体 ⑤事業期間	●市(つその他(平成16	年度 ~) ④対象地 ⑥担当職		□我孫子	□天王台	□湖北 2 人	□新木 (換算人数	□布佐	●全市	
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費		. ,,,,,,				始)年度	(当 初)	4,	413 千円	(うち人件費		760 千円)	
		(人件費含む)	松争来貨			0 千円		自該(所]妇) 年度	(変更後)	4,	463 千円	(うち人件費	1,	760 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード	511	103	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし		画地区別)位置づけ	•	有 〇無		部門別計画への 位置づけ	(計画名) 社	会教育推進計画	i
		施策目的・	学習する場の対			 P図書館、鳥の博物館、白樺文学館な		の拠点		鳥の科学と地域	或の自然に対する関		理解を深め、地域	 への愛着を育	こことができるよ	こうな生涯学
(2)目的		展開方向	きるようにしま	ます。また、湖北	地区図書	学校施設など既存施設の有効活用を 対の整備については、湖北台地区に	立地し、老朽化への対応	が急が	目的		場として、多くに市					
						もと位置付け、鳥を観察する科学的な ゝ・安全にくらすための知恵を探るこ					者が既存の標本展示 一層推進する。デジ					
			いる。多様な鳥ようしている。		やすく分	かりやすく展示し、来館者のさまざ	*まな探究心に幅広く対応		年度 計画	の収蔵システム	ムの見直しを図り、	継続した収	X集保存を可能にす	る体制作りを注	進める。	
(3)事業内容		内 容														
									年度	来館者数				単位	想定值人	37, 00
(A) 法式口槽 (i	物体ナスポ用)				法代口插	(加生士工作用)		1,217	果指標 		+5	標		単位	実績値	32,58
当該年度	期待する成果)	常設展の内容を少	しずつ更新し、鬼			(期待する成果)			種類 接	来館者数	指	「快		上 上	(5) 現況値 32, 580	37,00
令和 2年度	F	常設展の内容を少	しずつ更新し、鬼	魅力のある展示構	成にする),			//^ 接	来館者数				\ \ \ \ \ \	92, 000	39, 00
		常設展の内容を少	しずつ更新し、鬼	魅力のある展示構	成にする) a			」]接	来館者数						40, 00
令和 3年度 	ξ 					常設展示の内容や展示手法が最新の	ものから遅れつつある。]按					٨		40, 00
(7)事業実施上	この課題と対応					アップデートを図るとともに、リニュ			案検討	0	有 ●無					
			平成30年度			平成	231年度			令和	和 2年度			令和	3年度	
		政策	内 容	金額((千円)	政 内容	予算額(千円)	決算額(千円) 政	女	内 容	\$	金額(千円)) 政策	内 容		金額(千円)
		(経常) 嘱託職員報酬			1, 100	(経常) 嘱託職員報酬	1, 100	1, 100	(経常) 嘱託職			1, 10	(経常) 00 嘱託職員報	3.5M		1, 10
		嘱託職員社会保 嘱託職員雇用保			139	嘱託職員社会保険料 嘱託職員雇用保険料	215 17	160	嘱託職	員社会保険料 員雇用保険料		16	67 嘱託職員社 13 嘱託職員雇	会保険料		16
		嘱託職員費用弁	r償		43	嘱託職員費用弁償	43 195	42 147	嘱託職	員費用弁償		4	45 嘱託職員費	用弁償		4 19
		市民スタッフ報 消耗品	双負貸		150	市民スタッフ報償費消耗品	148	148	消耗品			14	95 市民スタッ 48 消耗品			14
(8) 施行事項	実施内容	印刷製本費 修繕料			448 100	印刷製本費 修繕料	319 137	264 137	印刷製 修繕料			13	19 印刷製本費 37 修繕料			31 13
(0) (10) 17-5	費用	その他保険料 標本借上料			42 400	その他保険料 標本借上料	42 400	42 400	その他は標本借よ				42 : その他保険 00 : 標本借上料			4 40
		手数料			75	手数料 備品購入費(フクロウカメラ)	75 12	76 14	手数料			7	75 手数料			7
	予算(決算)額		計		2. 709	<u>;</u> 合 計	2, 703	2, 544		合 計		2. 64	41	合 計		2. 64
	国庫支出金	補助率	0	%	0	補助率 0 iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	% 0	0	補助率		0 %		0 補助率 0 補助率		0 %	(
(9) 財源内訳	起債	充当率		%	0	<u> </u>	% 0	0	充当率		0 %		0 充当率		0 %	(
	一般財源その他の財源	□特会 □受益	益 □基金 □その	D他	2, 709	□特会 □受益 □基金 □その		2, 544	□特会	会 口受益 口基金	金 □その他		0 □特会 [□受益 □基金	口その他	2, 641
(10) 人件費等	換算人数(人) 正職員人件費				0. 2 1, 760		0. 2 1, 760	0. 2 1, 760				0. 1, 76	60			0. 2 1, 760
	鴻託職員報酬額 臨時職員賃金額				1, 294 0		1, 314	1, 314 0					0			1, 314 0
(11)単位費用			0.12千円/ノ		4, 469		4, 463	4, 304 0, 13				4, 40	01			4, 401
	^{、活動結果指標)})評価 (DO+CHECK	<u> </u> }	0. 12 1 1 1 7	~		0. 12 117 7.	`	0. 10								
	平価項目	, 			車 前			<u> </u>		車 後 証	価 (評価結果に応	1° 改盖家	を除計 (拡充も今ま	·))		改善検討
-					により、	展示内容や展示手法が古くなり、一				どおり		-0. 4.6.4	()(4)(1)(1)(4)(1)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)	., ,		Q B 1X11
(1)事業か	「今必要である理由・					\るリニューアルは、長期的な計画の)設置など、あらゆる工夫により実現		●②事前確認	での想定。	!どおりでなかっナ	<i>t</i> =					●要
背景は	は?(事業の必要性)	これを実現できなり	ければ博物館とし	しての信頼性が問	われる。					由/想定どおりで 示交流、地域性を	『なかった原因> 『重視した企画展の』	開催、施設(の安全性の向上を	図ることに努め	た。	〇不要
		〇①民間企業、N	IPO、市民団体	等では実施できた	ない	<その他の内容>		□①民間企業	NPO.	、市民団体等でに	は実施できなかった	: <市実施	面の具体的な内容・	必要性の理由	>	+-
必		(理由) □法令等 ⁻ □提供主(で市が実施するこ 体が市しかない	ことが定められて	いる					ければ実効性がたたことで市民へ			バスタッフをコーテ 食者と博物館をつな			<u></u> 直じ
要性 (2) 市が実		口その他						促進され	た	施策の目標の実現						
あるか		●②自治体である (理由) □市が主義			られる	<その他の内容>		□⑤サービス	水準が確							〇要 ●不要
(市実)	施の必要性)	■市が実施		とにより、良質で				□⑦その他 <その他の内容		一本曲が 作体で	10/2					
		口市が支持	援することにより	り政策・施策の目	標の			< C の E の p 引	B/							
		夫児が □その他	図られる 					this is	40 to 1+ 12		7 (7)1-5/4					
		○① 市业 □	参加・協働の	**		工夫の具体的な		参加・	協働が考え	働の具体的な内容 えられる場合には - 親しなませる =	はその内容)	000		働の程度・内容	3	
参加		○①事業計画時に ●②事業実施時に	市民の参画有り			来館者が展示に興味を持ち、理解に展示交流員として、館内ガイド						た ●②当	初期待した以上 初期待したとおり			
市民の参	加や市民との協働を	○③管理・運営に○④市民の自主的	かな活動と連携し			う。 		۰					初の期待以下			O要
働 (体制づく		○⑤市民と共同で ○⑥その他	『事業を実施									<期待し	ノた以上となった ^理	■由/期待以下	であった原因>	●不要
포 夫		<その他の内容>						_								
		□①自然環境を生	配慮の視点	ā		取組む内容 取組む内容 息を通じて手賀沼をはじめとする	<u> </u>	解 我孫子の白然!		した具体的な内容 単解を深めること	字 :ができるように、[展 ▲①相。	環り 定どおり	竟への配慮		
環		□□□自然環境を生 □②生き物と共存 ■③手賀沼を意識	すしている			局を通して手真沿をはしめとする。 、愛着を育むことができるような			育普及活動	動を通じて、鳥類	こかできるように、原 質など手賀沼周辺い		定とおり 定どおりでなかっ;	<i>t</i> =		
境 環境に配がるか?	慮して事業を進めて	□④環境負荷低減		ı				ふっる土物に	ズッ 心 消剤	双乙延伏した。		<想定と	ごおりでなかった原	(因)		○ 要
ス の いるか? 配 慮		□⑤その他						_								● 不要
		<その他の内容>														
		現況値(a)(人)	目標値(b)(人	.)		目標値の妥当性のチェック			達成状況	ł	○①目標値達成	<u> </u>				
(1) 日煙到	设定は適切か?					タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない		実績値(f)(J		達成率(%) (f/b×100)	●②目標値未達成		-B. 1			— O要
(1)口标的	7JU :	32, 580	37, 000	□③現況値	直との差が	実現性が之しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけるE	∃標値(と租場値の美)に	32, 580		88. 05	く目標を達成した PR不足、展示手		成となった原因> 「ない。			●不要
		111111111111	7 		の水準でも	ある	- ホル (これルルの左) と	32, 300			〇①想定事業費利			******		
			る事業費削減 事業費削減額	(d) □①国·県	見助成制用	実施予定の対策 変活用 □⑤PFI等		東建樹 / -> / -	実施状況	対事業費(%)	●②概ね想定事業	業費以内	事業 ●①事前の想	費の削減対策に 定どおり	こついて	
効 (2) 東業豊	R 単小型 の 一 土 土 ・	事業費(c)(千円)	(千円)	■②現有体	本制での対	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		実績値(g)(千		(g/c) × 100	○③想定事業費 -	<u> 14 月月</u>		定どおりでなか	いった	
いるか	閏削減の工夫をして ^?	4,463	6	□④民間委	季託			4,304 <超過理由等	>	96. 44	<u> </u>		<想定どおり削	減できなかっ	た原因>	— ○要 ●不要
性		争兼質削	1/9、平(70)	ריו עיייניו ר				、延延在田寺。	-							→ ·1.3
		0.	13													
	を実現する為に		目標値対事業費	(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程		標値以上となった	理由/目標値以	J下であった原因	
(3)日標	= こ大切りの局に			単位 費用単位		▶①単年度の指標:目標値×費用単位 ○②複数年度の指標:(目標値ー現況		実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	●②目標値と同程 ○③目標値以下	±/X				〇要 ●不要
投じる	事業費は適正か? 対费田)	000 04		1					1		I					1
投じる	る事業費は適正か? 対費用)	829. 04	<u> </u>	人 10万円				756. 97		91. 31						
投じる	対費用)	829. 04		人 10万円				756. 97		91. 31						
投じる(目標:	対費用) 平価		○ ○ お合 ○ り	木止 〇廃止		事業手法見直し 〇その他(事業	美完了など)	756. 97		91. 31		1.105305	4,			
投じる (目標: 3. 事後記 ●現状どお	対費用) 平価 り推進 〇拡充	〇縮小(〇結合 〇位	木止 〇廃止平価コメント	0	事業手法見直し 〇その他(事業	美完了など)	756. 97		91. 31	改善策及	とび展開方向	句			

	•				争	莱評恤表(平)	以31年度)					
事業コード	*	1438		課コード	1604	会計	種別 一般会計			予算の種類	□政策 ■経常	□なし
1. 事業の	D概要(PLAN)											
		①事業名	基本事業				実施計画への	,	有 ●無	②部課名	生涯学習部・鳥の博物館	÷
		①争業名	個別事業 企画展	の実施			位置づけ	0	有 ● 無	②部謀名	生涯学省部・鳥の博物館	I .
		③事業主体	●市 Oそ	の他() ④対象地区	□我孫子		胡北□新木	□布佐 ■全市	
(1)事業概要		⑤事業期間 ⑦事業費			~		⑥担当職員数	(当 初)		! 人 (換算人数 千円 (うち人件費	0.2 人)	
		(人件費含む)	総事業費		0 千円		当該(開始)年原	(変更後)		千円 (うち人件費	1,760 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	51103	重点プロジェクト	重点なし	基本計画地区別		有●無	部門別計画への	(計画名) 社会教育推進	計画
		◎肥果の圧置 517	コード		への位置づけ つ図書館、鳥の博物館、白樺文学館		計画への位置づ	ידו		位置づけ	理解を深め、愛着を感じる	
(2)目的		施策目的 · 展開方向	施設の整備を計画	的に進めるとともに、	学校施設など既存施設の有効活用	用を推進し、身近な場所で学	習がで 事業目的	企画展を実施す		例に グいて 英味を持ち、	連解を体め、変相を感じる。	- 2 2 6 2 3 4 7
			自然環境の保全に	関心を持ち、理解を深	書館の整備については、湖北台地I 深めることができるように、鳥やI	自然環境に関する季節性や記	題性に	年間を通しては	3回の企画展を開催す	る。会期はそれぞれ4ヶ	月程度。	
					長を実施する。合わせて博物館ボ [:] δに、コーディネートする。	ランティアや博物館友の会会	当該年度					
(3)事業内容		内 容					執行計画					
								来館者数			想定	2値 37,00
							当該年度 活動結果指標	Į			単位 人 実	
(4)達成目標(期待する成果)				票(期待する成果)		指標種類		指	標	単位 (5)現況(值 (6)目標値
当該年度		を提供する。			生のある企画展を実施し、鳥や様		旦按	来館者数			人 32,	37, 00
令和 2年度	ŧ	│子どもから大人ま [・] │を提供する。	で幅広い年齢層の市	「民に、話題性、速報性	生のある企画展を実施し、鳥や様	々な生物を通して環境を考 <i>え</i>	る機会直接	来館者数			\	39, 00
令和 3年度	ŧ	子どもから大人ま 会を提供する。	で幅広い年齢層の市	民に、話題性、速報!	生のある企画展を実施し、鳥や様々	々な生物をとおして環境を表	える機直接	来館者数			٨.	40, 00
(7) 東業宝施 H	上の課題と対応	2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -					代替案検討		有 ●無			
(7) 争不久地工			T-00-5-		T	T-No. 5-4	100 × 100				A 5- 05-	
		政	平成30年度	A 45 (T III)		平成31年度 予算額(千円)	法签签(不 四) 两		和 2年度		令和 3年度	A\$ (T.III)
		策	内 容	金額(千円)	政 策 内容	ア昇級(十円)	決算額(千円) 政策	内 容	至	額(千円) 政策 策	内 容	金額(千円)
		嘱託職員報酬 嘱託職員社会保	上除料	1, 400 177	嘱託職員報酬 嘱託職員社会保険料	1, 400 273		E職員報酬 E職員社会保険料		1,400 嘱託職員 213 嘱託職員:		1, 40 21
		嘱託職員雇用保 嘱託職員費用弁	以	16 55	嘱託職員雇用保険料 嘱託職員費用弁償	21 55	18 嘱託	E職員雇用保険料 E職員費用弁償		16 嘱託職員 57 嘱託職員	雇用保険料	1 5
		市民スタッフ報		99	市民スタッフ報償費	84	71 市民	スタッフ報償費		84 市民スタ	東州开資 ッフ報償費	8
	実施内容	消耗品 企画展委託料		350 100	消耗品 企画展委託料	340 100		展委託料		340 消耗品 100 企画展委		34 10
(8)施行事項	費用	印刷製本費		177	印刷製本費	197	180 印刷	製本費		197 印刷製本		19
	予算(決算)額 国庫支出金	4助率	t 計 0 %	2, 374	合計 補助率	2, 470 0 % 0	2,363 補助型	合 計	0 %	2,407	合 計 0 %	2, 40
	県支出金起債	補助率	0 % 0 %	0	補助率	0 % 0 0 % 0	0 補助型 0 充当型	<u>*</u>	0 %	0 補助率 0 充当率	0 % 0 %	
(9)財源内訳	一般財源			2, 374		2, 470	2, 363			2, 407		2, 40
	その他の財源 換算人数(人)	口符芸 口気針	益 □基金 □その他	0.3	□特会 □受益 □基金 □	0. 2	0. 2	特会 口受益 口基金	を 口ての他	0. 2	□受益 □基金 □その他	0.
(10) 人件費等	鳴託職員報酬額			2, 640 1, 648		1, 760 1, 672	1, 760 1, 672			1, 760 1, 672		1, 76 1, 67
	□ 臨時職員賃金額 算)額+正職員人件費)			5, 014		0 4, 230	0 4, 123			0 4, 167		4, 16
(11)単位費用 (事業費/	/活動結果指標)		0.14千円/人		0.11千円	/人	0. 13					
2. 事業の	D評価(DO+CHECK)										
	平価項目				「評価				価(評価結果に応じ	、改善案検討(拡充も含	t))	改善検討
		と鳥とのかかわり.	」という三つのテー		ೖ提供する必要がある。「鳥の科+ ┣画展を実施することで、展示に				te			
	バ今必要である理由・ は?(事業の必要性)	んでもらえるよう	よ博物館を目指す。				<想定どおりとしたヨ		なかった原因>			○要 ●不要
							我孫子の地域性を重社	児した企画展や今ま 	での観察活動をまとぬ	た企画展を開催し、来館	官者に見てもらうことが出来	:t=.
必			IPO、市民団体等で で市が実施すること		<その他の内容>		□①民間企業、NP ■②市が主導で進め			<市実施の具体的な内容 職員(学芸員)が中心と	・必要性の理由> なることで、市民スタッフ	や友の会
要		□提供主作 □その他	体が市しかない				□③市が先導役とな 促進された	:ったことで市民へ	普及が一層	会員の協力を得て、企画	展を実施することができた。	,
	実施する必要性は	■②自治体である	市が推進すべきでも	ある	<その他の内容>		□ □④市の支援が政策 □⑤サービス水準が		現に貢献した			〇要
あるか	か? 施の必要性)			り実効性が得られる より、良質で安定した	=		□⑥サービスの安定 □⑦その他	!供給基盤が確保され	n <i>t</i> =			●不要
		サービ	スが保証される 援することにより政				<その他の内容>					
			図られる									
			参加・協働の内容	3	工夫の具体	的な内容		協働の具体的な内容 考えられる場合には		参加・†	協働の程度・内容	
参		○①事業計画時に ●②事業実施時に			鳥の博物館友の会との共催の企 よる企画展の展示案内や展示交		この直展の準備段階から			〇①当初期待した以上		
参加 加 ・ 市民の参加	加や市民との協働を					.m.c.大心りつ。	温く 実施した			●②当知期待! たしか!	·J	
協工夫しては	いるか?	○③管理・運営に		١.٨			得て実施した。			●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下	J	<u> </u>
ŤΙ	(9)	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	な活動と連携してい	いる			侍て実施した。			〇③当初の期待以下	理由/期待以下であった原	○要 ■不要
美	(ሀ)	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で 〇⑥その他	な活動と連携してい	.va			停て美施した。 一			〇③当初の期待以下		
夫	(9)	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で	な活動と連携してい	,\ &		_	(特で美施した。 -			〇③当初の期待以下		
夫 夫	(y)	〇④市民の自主的 〇⑤市民と共同で 〇⑥その他	な活動と連携してい	.v&	取組む	内容		施した具体的な内容	-	○③当初の期待以下 <期待した以上となった		
	(N)	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容>	のな活動と連携してい 事業を実施 配慮の視点 ごかしている	.v&	取組む手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ		実にれまで実施してきた	施した具体的な内容に	-	③当初の期待以下<期待した以上となった環●①想定どおり	理由/期待以下であった原	
瑷	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生存 ■③手賀沼を意識	かな活動と連携してい事業を実施 配慮の視点 にかしている している している	.vる	1 1		実	施した具体的な内容に	₹ とに、我孫子の生き	○③当初の期待以下 <期待した以上となった 環 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかっ	理由/期待以下であった原 境への配慮 カ	● 不要
瑷	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生き物と共存	かな活動と連携してい事業を実施 配慮の視点 にかしている している している	.va	1 1		実にれまで実施してきた	施した具体的な内容に	₹ とに、我孫子の生き	③当初の期待以下<期待した以上となった環●①想定どおり	理由/期待以下であった原 境への配慮 カ	
瑷	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を共 □②生き賀羽を意識 □④環境負荷低減	かな活動と連携してい事業を実施 配慮の視点 にかしている している している	.vる	1 1		実にれまで実施してきた	施した具体的な内容に	₹ とに、我孫子の生き	○③当初の期待以下 <期待した以上となった 環 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかっ	理由/期待以下であった原 境への配慮 カ	■ 不要○ 要
	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を共有 ■③年間で ■③年間で <その他の内容> ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	のな活動と連携してい事業を実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	, v &	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ	7とした企画展を実施する。	実 これまで実施してきたものを紹介することが	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	字 とに、我孫子の生き _	○③当初の期待以下 <期待した以上となった 環 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかっ	理由/期待以下であった原 境への配慮 カ	■ 不要○ 要
環境に配けるか?	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生き賀沼を意識と共意識 □④環境負価に減 □⑤その他	かな活動と連携してい事業を実施 配慮の視点 にかしている している している	□①客観的なデー	手質沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している	7とした企画展を実施する。	実これまで実施してきまものを紹介することが	施した具体的な内名 た自然観察記録をも が出来た。	₹ とに、我孫子の生き	○③当初の期待以下 <期待した以上となった 環 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかっ	理由/期待以下であった原 境への配慮 カ	● 不要 ○ 要 ● 不要
環境、環境に配っているか?	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を共有 ■③年間で ■③年間で <その他の内容> ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	のな活動と連携してい事業を実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□①客観的なデー ■②現況値と比べ	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック	7とした企画展を実施する。	実 これまで実施してきたものを紹介することが	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	予 とに、我孫子の生き ○①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理	●①③当初の期待以下 <期待した以上となった 現 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった	理由/期待以下であった原図場への配慮のたた原図と	■ 不要○ 要
環境へのの配慮	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生き物活を意識 □④環境自体域 □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(人)	な活動と連携してい 事業を実施 配慮の視点 たかしている としている としている とに貢献している	□①客観的なデー ■②現況値と比べ □③現況値との差	手質沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない がかさながし、比較対象例におけ 象が有る場合、比較対象例におけ	7とした企画展を実施する。	実これまで実施してきまものを紹介することが	施した具体的な内名 た自然観察記録をも が出来た。	予 とに、我孫子の生き ○①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理	●①想定どおりでなかった 《想定どおりでなかった	理由/期待以下であった原図場への配慮のたた原図と	● 不要
環境へのの配慮	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生き習沼身で ■③手質沼身で □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580	のな活動と連携してい 事業を実施 配慮の視点 こかしている としている としている としている としている とこかしている このでは、 このでも このでも このでも このでも このでも このでも このでも このでも	□①客観的なデー ■②現況値と比べ □③現況値と比め □④適当な比較対 同等の水準で	手質沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策	7とした企画展を実施する。 ク ・ る目標値(と現況値の差)と	実 これまで実施してきた ものを紹介することが 達成が 実績値(f)(人)	施した具体的な内名 た自然観察記録をも が出来た。	予 とに、我孫子の生き ○①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理	●①想定どおりでなかった 本達成となった原因 本達成となった原因 本が、臨時休館としたこと 本が、日本のでは	理由/期待以下であった原 環境への配慮 った 原因> とから来館者が減った。 業費の削減対策について	● 不要
環境への配慮 (1)目標設	慮して事業を進めて	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生き習沼身で ■③手質沼身で □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580	のな活動と連携してい 事業を実施 配慮の視点 こかしている としている としている としている としている ましている がに貢献している	□①客観的なデーペ ■②現況値と比差 □③現況を比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF	7とした企画展を実施する。 ク る目標値(と現況値の差)と 『等民間資本の活用 者負担	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 達成が 実績値 (f) (人)	施した具体的な内名 た自然観察記録をも が出来た。	③①1目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理 感染症の拡大防止に ○①想定事業費未減	●①3当初の期待以下 <期待した以上となった ●①想定どおり ②②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった は次となった原因 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	理由/期待以下であった原 環境への配慮 った 原因> とから来館者が減った。 業費の削減対策について	● 不要
環境への配慮 環境に配? (1)目標記 効 (2)事業費	慮して事業を進めて 登定は適切か?	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を共 ■③生き領域と共 ■③発育の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ	記憶の視点 では のでは できます できます できます できます できます できます できます できます	□①客観的なデー ■②現況値といぶ □③現況値と比較 一個適当な水準で □①国・県助成制 ■②現存体理費の □④4戻間委託	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF	7とした企画展を実施する。 ク る目標値(と現況値の差)と 『等民間資本の活用 者負担	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値(f)(人) 32,580 実績値(g)(千円) 4,123	施した具体的な内名 た自然観察記録をも が出来た。	③①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理 感染症の拡大防止に ○①想定事業費未清 ●②概ね想定事業者	●①③当初の期待以下 <期待した以上となった □①想定どおり ○②想定どおりでなかった を想定とおりでなかった は上、臨時休館としたこ 以内 □○②事前の 1	理由/期待以下であった原 境への配慮 った 原因>	● 不要
環境への配慮 環境に配! いるか? (1)目標説 効 率 (2)事業者か	慮して事業を進めて 登定は適切か?	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生き物名を領に □③手質消免他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4,230	のな活動と連携してい事業を実施 配慮の視点 かしている。している。している。としているとに貢献している。としている。として前している。とにでは、1000	□①客観的なデー ■②現況値とレベ □③現選な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での ③3維持管理費の	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF	7とした企画展を実施する。 ク る目標値(と現況値の差)と 『等民間資本の活用 者負担	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値(f)(人) 32,580 実績値(g)(千円)	施した具体的な内名 た自然観察記録をも が出来た。	③①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理 感染症の拡大防止に ○①想定事業費未清 ●②概ね想定事業者	●①③当初の期待以下 <期待した以上となった □①想定どおり ○②想定どおりでなかった を想定とおりでなかった は上、臨時休館としたこ 以内 □○②事前の 1	理由/期待以下であった原図域への配慮のた 原因>	● 不要
環境への配慮 環境に配引いるか? (1)目標設 効 (2)事業者が	慮して事業を進めて 登定は適切か?	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生質現代を表 ■③2生質場での他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4,230 事業費削	記述活動と連携してい 事業を実施 配慮の視点 こかしている としている としている としている に貢献している に「貢献している に「貢献している に「貢献している に「貢献している	□①客観的なデー ■②現況値といぶ □③現況値と比較 一個適当な水準で □①国・県助成制 ■②現存体理費の □④4戻間委託	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF	7とした企画展を実施する。 ク る目標値(と現況値の差)と 『等民間資本の活用 者負担	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値(f)(人) 32,580 実績値(g)(千円) 4,123	施した具体的な内名 た自然観察記録をも が出来た。	③①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理 感染症の拡大防止に ○①想定事業費未清 ●②概ね想定事業者	●①③当初の期待以下 <期待した以上となった □①想定どおり ○②想定どおりでなかった を想定とおりでなかった は上、臨時休館としたこ 以内 □○②事前の 1	理由/期待以下であった原図域への配慮のた 原因>	● 不要
環境への配慮 環境に配! (1)目標説 効 率 (2)事業者の	慮して事業を進めて 登定は適切か?	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生育環境と共高に □④環境と共高に □④環境を共の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4,230 事業費削	記慮の視点 配慮の視点 がしている をしている に貢献している にでする	□①客観的なデー ■②現況値といぶ □③現況値と比較 一個適当な水準で □①国・県助成制 ■②現存体理費の □④4戻間委託	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益 削減策の実施 □⑦その	7とした企画展を実施する。 ク - る目標値(と現況値の差)と - I 等民間資本の活用 者負担 他	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値(f)(人) 32,580 実施が 実績値(g)(千円) 4,123 〈超過理由等〉	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	③①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理 感染症の拡大防止に ○①想定事業費未清 ●②概ね想定事業者	●①③当初の期待以下 <期待した以上となった ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった 本が、臨時体館としたこと は以内 ●①事前の ○②事前の へ<想定どおり	理由/期待以下であった原図域への配慮のた 原因>	● 不 要
環境への配慮 (1)目標設 効率性 (3)目標値	慮して事業を進めて 登定は適切か?	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生育環境と共高に □④環境と共高に □④環境を共の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4,230 事業費削	記慮の視点 配慮の視点 かしている している に貢献している にで動している にで動している にでい にでいる にでいる にでいる にでいる にでいる にでいる にでい にでいる にでい にでい にでい にでい にでい にでい にでい にでい	□①客観的なデー ■②現況に値と比べき □③現況に値との較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②3維持管要記 ○①4民間委託 <削減の内容>	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P 基本 対応 □⑥ マ その 計算方:	ク - る目標値(と現況値の差)と - I等民間資本の活用 者負担 他 - 法 - 単位/事業費	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値(f)(人) 32,580 実績値(g)(千円) 4,123	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	③ 根定事業費超過 ③ 想定事業費超過	●① ③当初の期待以下 <期待した以上となった ●① 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <加速 本記を表する ●② 事前のが ○② 字前のが <おり <おり <おり <おり <おり 	理由/期待以下であった原 境への配慮 った 原因> > とから来館者が減った。 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
(1) 目標 数 (2) 事い る (3) 目機 に (3) 目標 に	慮して事業を進めて 設定は適切か? 費削減の工夫をして で?	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生育環境と共高に □④環境と共高に □④環境を共の他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4,230 事業費削	配慮の視点 配慮の視点 かしている としている とし	□①客観的なデー ■②現況に値と比べき □③現況に値との較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②3維持管要記 ○①4民間委託 <削減の内容>	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 日標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤PF 対応 □⑥受益 削減策の実施 □⑦その	ク - る目標値(と現況値の差)と - I等民間資本の活用 者負担 他 - 法 - 単位/事業費	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値(f)(人) 32,580 実施が 実績値(g)(千円) 4,123 <超過理由等>	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	P とに、我孫子の生き ○①目標値達成 ●②目標を達成した正に ○①想定事業費素を選過 ●③観定事業超過 ○③想定事業超過 ○③想によります。 ●○②概ねを事業を表別 ○○①目標値以上 ●②目標値と同程度	●① ③当初の期待以下 <期待した以上となった ●① 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <加速 本記を表する ●② 事前のが ○② 字前のが <おり <おり <おり <おり <おり 	理由/期待以下であった原 境への配慮 った 原因> > とから来館者が減った。 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因>	■
環境への配慮 環境への配慮 (1)目標 禁る (2)事い (2)事い (4)保護 (3)保護 (5)保護 (5)保護 (5)保護 (5)保護 (6)保護	慮して事業を進めて 砂定は適切か? 砂定は適切か? 砂でである。 を実現する為に の事業費は適正か? 対費用)	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を共 □②生育環境と共意間 □④環境と共意間 □④環境をの他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4,230 事業費削	記慮の視点	□①客観的なエー ■②現況値とといえ □③現当な比較 同等の水準で □①国現有体理費の □③親持管要託 <削減の内容>	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 目標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P 基本 対応 □⑥ マ その 計算方:	ク - る目標値(と現況値の差)と - I等民間資本の活用 者負担 他 - 法 - 単位/事業費	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値 (f) (人) 32, 580 実統が 実績値 (g) (千円) 4, 123 <超過理由等> 達成が 実績値 (h)	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	P とに、我孫子の生き ○①目標値達成 ●②目標を達成した正に ○①想定事業費素を選過 ●③観定事業超過 ○③想定事業超過 ○③想によります。 ●○②概ねを事業を表別 ○○①目標値以上 ●②目標値と同程度	●① ③当初の期待以下 <期待した以上となった ●① 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <加速 本記を表する ●② 事前のが ○② 字前のが <おり <おり <おり <おり <おり 	理由/期待以下であった原 境への配慮 った 原因> > とから来館者が減った。 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
環境への配慮 環境への配慮 (1)目標 禁る (2)事い (2)事い (4)保護 (3)保護 (5)保護 (5)保護 (5)保護 (5)保護 (6)保護	慮して事業を進めて とな適切か? を定は適切か? を実現する為に を実業費は適正か? 対費用)	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容> □①自然環境を生 □②生き賀負荷 □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32,580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4,230 事業費削 15	記慮の視点	□①客観的なデー ■②現況値とといえ □③現況当のは □○回等の水準で □①国・県助成制の □③現特特理報 □③名民間委託 <削減の内容>	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 「具標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実が小さい値ではない がからい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応 □⑤ PF 対応 □⑥ 受益 削減策の実施 □⑦その 計算方 ●①単年度の指標:目標値 ▼費用 ○②複数年度の指標:(目標値 − 長	ク - る目標値(と現況値の差)と - I等民間資本の活用 者負担 他 - 法 - 単位/事業費	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値 (f) (人) 32, 580 実統が 実績値 (g) (千円) 4, 123 <超過理由等> 達成が 実績値 (h)	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	P とに、我孫子の生き ○①目標値達成 ●②目標を達成した正に ○①想定事業費素を選過 ●③観定事業超過 ○③想定事業超過 ○③想によります。 ●○②概ねを事業を表別 ○○①目標値以上 ●②目標値と同程度	●① ③当初の期待以下 <期待した以上となった ●① 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <想定どおりでなかった <加速 本記を表する ●② 事前のが ○② 字前のが <おり <おり <おり <おり <おり 	理由/期待以下であった原 境への配慮 った 原因> > とから来館者が減った。 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
環境への配慮 (1)目標 標路 (2)事い (3)目標 (2)事状 (3) 事 状 (4) を お (3) を (4) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (6) を (7)	慮して事業を進めて とな適切か? を定は適切か? を実現する為に を実業費は適正か? 対費用)	○④市民の自主的 ○⑤・その他 <その他の内容> □①自然環境を共 □②生育環境と共意 □④理境と共 □③生育環境と共意 □④環境をの他 <その他の内容> 現況値(a)(人) 32.580 対策実施によ 事業費(c)(千円) 4.230 事業費削 15	配慮の視点 配慮の視点 配慮の視点 では、	□①客観的なデーペラス では、	手賀沼周辺の鳥や自然をテーマ 「具標値の妥当性のチェック・事実に基づき設定している 実が小さい値ではない がからい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 対応 □⑤ PF 対応 □⑥ 受益 削減策の実施 □⑦その 計算方 ●①単年度の指標:目標値 ▼費用 ○②複数年度の指標:(目標値 − 長	7とした企画展を実施する。 2 2 2 3 3 3 4 4 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	実 これまで実施してきま ものを紹介することが 実績値 (f) (人) 32, 580 実統が 実績値 (g) (千円) 4, 123 <超過理由等> 達成が 実績値 (h)	施した具体的な内容 た自然観察記録をも が出来た。	P とに、我孫子の生き ○①目標値達成 ●②目標を達成した正に ○①想定事業費素を選過 ●③観定事業超過 ○③想定事業超過 ○③想によります。 ●○②概ねを事業を表別 ○○①目標値以上 ●②目標値と同程度	●①③当初の期待以下 <期待した以上となった ●①想定どおりでなかった ②②想定どおりでなかった 相/未達成となった原因: ・	理由/期待以下であった原 境への配慮 った 原因> > とから来館者が減った。 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要

事業コー	- k	1439		課コード	1604	会計種別	一般会計			予算の程	重類 □	政策 ■	経常	□なし
1. 事業	Eの概要(PLAN)													
11 44	(= 10		基本事業				実施計画へ	~ø	0.5.05		to am to	11 NT MY 77 +0		
		①事業名		ージアムショップの充	実		位置づけ	け	〇有 〇無	Ĭ	部課名	生涯学習部・鳥		
		③事業主体 ⑤事業期間	●市 Oそ	その他(☆16年度 ~)	④対象地区 ⑥担当職員数		子 □天王台	1 人	□新木 (換算人数	□布佐	■全市 0.2 人)	
(1)事業概要	要	⑦事業費	60 = to allo = th		,			(当 初)	7,	,379 千円	(うち人件費		(60 千円)	
		(人件費含む)	総事業費		7,941 千円		当該(開始)	(変更後)	7,	,385 千円	(うち人件費	1, 7	760 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	11203	重点プロジェクト への位置づけ	重点 2	基本計画地計画への位置		○有 ●無	音	部門別計画への 位置づけ	(計画名) 生涯	E学習推進計 画	
		施策目的・			との価値を認識してもらえるように、ジャパン/		や	来館者に来	館記念として学習教材		iのミュージアムク		ていただくこ。	とで博物館のメ
(2)目的		展開方向	験などを引き続き	き実施します。また、	会などの手賀沼にかかわるイベントや手賀沼周辺 広報や市ウェブサイト、SNS、パンフレット	トなどの活用やパブリ	シ		持ち帰ってもらい、博	∮物館のPRと	∵リピーターの確保 	呆に繋げる。 		
			の意見や要望を反	反映し、安全で楽しく	「できるように、鳥の博物館らしい魅力あるグッ 「遊べる教育的なものや来館記念としての付加値		な	通年随時						
			ものをより安価に	こ提供する。			当該年原 執行計画							
(3)事業内容	<u> </u>	内 容												
							当該年月	茂	ムショップ売上高			単位	担定値 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3, 960 3, 405
(4)達成目村	票(期待する成果)				3標(期待する成果)		指標種类		指	標		単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年原	度	安全で楽しく鳥の	博物館ならではの教	 教育的グッズを販売し	、より多くの来館者に満足してもらう。		直接	売上高				円	3, 405	3, 960
令和 24	丰度	安全で楽しく鳥の	博物館ならではの教) 教育的グッズを販売し	.、より多くの来館者に満足してもらう。		直接	売上高				円		4, 010
令和 34	丰度	安全で楽しく鳥の	博物館ならではの教) 教育的グッズを販売し	.、より多くの来館者に満足してもらう。		直接	売上高				円		4, 060
(7)事業実施	も上の課題と対応				るのが難しい。ショップの商品仕入れの年度予算 nることが難しい面があるが、補正予算で対応し		: 代替案検	韵	O有 ●無					
	1		平成30年度		平成31年度				令和 2年度			令和 3:	年度	
		政策	内容	金額(千円)		予算額(千円) 決第	類(千円) 政	内	T	金額(千円)	政	内 容	+/2	金額(千円)
		(経常)			(経常)	7		(経常)		7	(経常)	B/D NA		7
		: 臨時職員雇用の : 臨時職員賃金	卡 陕	2, 34	9 臨時職員賃金	2, 440	2, 359	臨時職員雇用保険 臨時職員賃金 ※お見		2, 440	臨時職員賃金			2, 440
		消耗品手数料		2, 360	2 手数料	2, 360 12	11	消耗品 手数料		2, 360 12	手数料	THI COLUMN		2, 360 12
	中华中南	: 嘱託職員報酬 : 嘱託職員社会例		150 1	9 嘱託職員社会保険料	150 29	22 引	嘱託職員報酬 嘱託職員社会保険料		150 23	嘱託職員社会	会保険料		150 23
(8)施行事項	実施内容	:嘱託職員雇用の :嘱託職員費用弁		000	6 嘱託職員費用弁償	2 6 619	6 g	嘱託職員雇用保険料 嘱託職員費用弁償		2 6	嘱託職員費用			6
	*	委託料 印刷製本費		660 879		019	614	委託料		619	委託料			619
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	合 計 0 %	6, 44	4 合計 0 補助率 0 %	5, 625 0	5, 438 0 補	合 請助率	計 0 %	5, 619 0		合 計	0 %	5, 619 0
	県支出金	補助率	0 %	6	0 補助率 0 % 0 充当率 0 %	0	0 補	#助率	0 %	0	補助率		0 % 0 %	0
(9) 財源内記	R 一般財源 一般財源 その他の財源		益 □基金 ■その他	2, 53	3	2, 593 3, 032	2, 033 3, 405	<u>- □ + </u> □特会 □ 受益 □ :		2, 587 3, 032]受益 □基金 □		2, 587 3, 032
	換算人数(人)			0.1	2	0. 2	0. 2 1. 760			0. 2 1. 760		<u>X III O II U</u>	1 (4)	0. 2 1, 760
(10)人件費	等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額			17	7	179 2, 448	179 2. 448			179 2, 448				179 2, 448
事業費(予算 (11)単位費	(決算)額+正職員人件費)			8, 20	4	7, 385	7, 198			7, 379				7, 379
(事業	費/活動結果指標)	\	2.07千円/千円	ı	1.86千円/千円		2. 11							
2. 争未	tの評価 (DO+CHECK _{評価項目}) 			前評価	T		車 後	評 価(評価結果に応	たい 小美安长	오라 (## 추 + 수 * *)))		改善検討
	計			楽しい体験ができなけ	ければならない。		●①事前確認での	の想定どおり						以音换的
	業が今必要である理由・	ミュージアムショ 	ップで、鳥の博物館	官ならではのオリジナ	トルグッズを購入することは、楽しい体験である			の想定どおりでなか 						O要
背景	景は?(事業の必要性)							ノた理由∕想定どおり ぐや鳥関連グッズを常	りでなかった原因> 常に見直しし、充実さ [・]	せることによ	りリピーターを増	骨やすきっかけと	こなった。	●不要
			N P O、市民団体等		<その他の内容>				では実施できなかった		り具体的な内容・場			l. de
要		□提供主	で市が実施すること 体が市しかない	こか正められている			■③市が先導役と	進めなければ実効性: となったことで市民		行うことに	ど博物館の活動に行 こより、来館者の記			
44	が実施する必要性は	□その他		- 1. 7	(7.0 % 0 + th)			政策・施策の目標の	実現に貢献した	ることが出	1来る。			0.#
ある	るか? 実施の必要性)	(理由) 口市が主		より実効性が得られる				準が催保された 安定供給基盤が確保	された					〇要 ●不要
		サービ	えが保証される	により、良質で安定し	,T=		□⑦その他 <その他の内容>							
			図られる	政策・施策の目標の										
		しての他	参加・協働の内容	容	工夫の具体的な内容			加・協働の具体的なF 動が考えられる場合(参加・協働	動の程度・内容		
参		O①事業計画時に ●②事業実施時に			来館者の意見を反映した品揃えを考慮し、			ては、来館者のリクェ	エスト、市民スタッフ		期待した以上 期待したとおり			
参加 市民の	参加や市民との協働を	○③管理・運営に		เงล		[~	/ 1//=	•			の期待以下			●要
動(体制で	ているか? づくり)	〇⑤市民と共同で 〇⑥その他		. •						<期待した	こ以上となった理E	由/期待以下で	あった原因>	
美		<その他の内容>												
		□①自然環境を生	配慮の視点		取組む内容 できるだけ自然素材のグッズを選び、販売	1 71,7	c キフムゼリウ料	実施した具体的な	内容 ッズを選ぶ努力をした。	。●①想定。		での配慮		
環		□□□目	存している		できるだけ自然系材のグッスを選び、販売	CCN's.	:さるかさり日然	:系材で息畝したグッ	/人を選ぶ労力をした		どおりでなかった	=		
境 環境にの いるか	配慮して事業を進めて	■④環境負荷低源								<想定どお	おりでなかった原図	因>		○要
ス の 配 慮		□⑤その他												● 不要
		<その他の内容> 												
		現況値(a)(円)	目標値(b)(円)		目標値の妥当性のチェック		達	成状況	○①目標値達成 ●②目標値未達原					
(1) 目标	票設定は適切か?			■②現況値と比べ	ータ・事実に基づき設定している ベ実現性が乏しい値ではない		実績値(f)(円)	達成率(%) (f/b×100)	●②日標個未達が		シンなった原田へ			O要_
		3, 405	3, 960	□④適当な比較対	差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例における目標値(と	: 現況値の差) と	3, 405	85. 98	新型コロナウイル			昇館をしたため 。	0	●不要
		対策実施によ	 よる事業費削減	同等の水準で	である 実施予定の対策		実		○①想定事業費		事業者	費の削減対策につ	ついて	
効		事業費(c)(千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成領■②現有体制での		本の活用	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●②概ね想定事業○③想定事業費		●①事前の想定 ○②事前の想定	定どおり 定どおりでなかっ	った	
<u>率</u> (2)事業	業費削減の工夫をして スカス	7, 385	819	□③維持管理費(□④民間委託			7, 198	97. 47	7	-	<想定どおり削減			O要
性	るか?	事業費肖	削減率(%)	<削減の内容>		<	〈超過理由等>	_						●不要
		9.). 98								I			
			目標値対事業費(e))	計算方法		達	成状況	〇①目標値以上		[値以上となった理			
投口	票値を実現する為に こる事業費は適正か?		単位		●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業 ○②複数年度の指標:(目標値-現況値)×費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) ×100	○②目標値と同様●③目標値以下		ロナウイルス感染)。	&症の影響により	り、臨時閉館を	をし 〇要 ●不要
目	標対費用)	53. 62	2 円	10万円	- ② 、	, 一个 子不具	47. 3	88. 21	7					→ 1.8
				_										
3. 事後	於評価													
	と評価 おり推進 〇拡充	○縮小	〇結合 〇休止	上 〇廃止	○事業手法見直し ○その他(事業完了なる	<u>Ľ</u>)			ab 禁 佐 a	及び展開方向				

								1年度								
事業コード	1440			課コード	1604		会計種別	一般名	会計			予算	の種類[□政策	■経常	□なし
1. 事業の概要(PLAN)																
	①事業名	基本事業							計画への	0	有 〇無		②部課名	生涯学習部	3・鳥の博物館	
	③事業主体	個別事業 ●市	博物館施設	設備の維持管理				位ii ④対象均	置づけ 	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
	⑤事業期間	- III	<u> </u>		20年度 ~		,	⑥担当耳		口投辦丁		4 人		பரிக	0.23 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費			0 千円			当該 (限	開始) 年度	(当 初)		2,370 千円	(うち人件費		2,024 千円)	
	(人件費含む)	松尹木貝			V 113			312 (1)	刑知/ 千皮	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード		51103	重点プロジェク への位置づけ		なし		·画地区別 の位置づけ	C)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	生涯学習推進計	画
(0) B 46	施策目的・				トレストン トロスター トロート トロート トロート トロート トロート トロート トロート トロ				# 0 46				できるように、経年		片化した施設設備	を補修し機能
(2)目的	展開方向	きるように	します。ま	た、湖北地区図語	、学校施設など既存施設の有効 書館の整備については、湖北台				業目的		エネに配慮した		といく。			
		経年劣化し	た建物各所	f及び故障箇所の(修繕等						多目的ホールの 源バッテリー交打					
									該年度 行計画							
(3)事業内容	内 容															
									該年度 結果指標	入館者数				単位	想定值	
(4)達成目標(期待する成果)				達成日料	票(期待する成果)				阿米伯保 ———— 票種類			指標		単位	実績値 (5)現況値	32,58
当該年度	博物館利用者数の	増加		上次口1	赤(別)リチで成本/				間接	入館者数		1日 1水		人	32, 580	
令和 2年度	博物館利用者数の	増加						-	間接	入館者数						39, 00
	博物館利用者数の	増加						+	間接	入館者数						40, 00
1741 0 T/X								"	PJJX							40,00
(7)事業実施上の課題と対応								代替	案検討)有 ●無					
		平成30:	年度			平成31年度				令	和 2年度	<u>'</u>		令和	1 3年度	
	政策	内 容		金額(千円)	政 内 容		額(千円) 決算額	額(千円)	策!	内		金額(千円	策:	内 容		金額(千円)
	自動ドア駆動物	表置の交換修 線	繕	569	学芸員室・多目的ホールま 防火扉非常電源バッテリー		259 87	195 81		ーポリン印刷・ 自立看板設置業			161 : 看板ターオ 98 : :	ポリン印刷・耳	饭付(3回)	26
					1階男子トイレ配管つまり トイレタンクレバーハン					ーポリン印刷・ 入口柱用看板取			74 62			
実施内容																
(8) 旅行車項																
費 用																
予算(決算)額	1	숙 計		569	合 計		346	291		合 計		6	95	合 計		261
国庫支出金 県支出金	補助率		0 % 0 %	0	1,10 - 2 - 1	0 % 0 %	0	0	補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	(
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	0 569	充当率	0 %	0 346	0 291	充当率		0 %	6	0 充当率		0 %	261
その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口	その他	0.33	□特会 □受益 □基金	□その他	0	0 0, 23	□特会	会 口受益 口基金	金 口その他		0 □特会[□受益 □基金	〕□その他	(
換算人数(人) 正職員人件費				2, 904			0. 23 2, 024	2, 024				2, 0				0. 23 2, 024
嗎託 職員 報酬額 臨時職員賃金額				0			0	0					0			C
事業費(予算(決算)額+正職員人件費 (11)単位費用	<u>(1)</u>	0.1千円	171	3, 473		 ·円/人	2, 370	2, 315 0, 07				2, 7	19			2, 285
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHEC		0.1111			0.001	11/ //		0.07								
	/N)			声 #	↑ =		<u> </u>			市 後 証	(年 (証)年 仕田	(-	**********	2))		과혹산원
評価項目		た博物館は非7	常灯、トイロ		が 評 価 が必要である。施設を耐用年数	改まで活用するために	は適切な ●	①事前確詞	認での想定		価(評価結果	に応じ、改善乳	案検討(拡充も含む	3))		改善検討
評価項目	平成2年に開館した 維持管理・更新・					牧まで活用するため!						に応じ、改善乳	案検討(拡充も含む	2))		
	平成2年に開館した 維持管理・更新・					枚まで活用するためり	<: <:	②事前確認 想定どおり	認での想定とした理由	どおり どおりでなかっ a/想定どおりて	たでなかった原因>		案検討(拡充も含む	3))		改善検討 ○要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由	平成2年に開館し1 維持管理・更新・・	改修が欠かせ	せない。	レなどの交換修繕	情が必要である。施設を耐用年費	対まで活用するため (<	②事前確認 想定どおり 館者が安全	認での想定 とした理由 ・快適に利	どおり どおりでなかっ ロ/想定どおりて 引用できるように	た でなかった原因> こなった。	>			b >	O要
評価項目 (1)事業が今必要である理由	平成2年に開館し1 維持管理・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修が欠かせ N P O 、市民I で市が実施す	せない。 団体等では3 「ることが定	レなどの交換修繕 実施できない		牧まで活用するため(C ***	②事前確認 想定どおり 館者が安全 「①民間企業 「②市が主義」	認での想定 とした理由 ・快適に和 業、NPO、 導で進めなり	どおりでなかっ とおりでなかっ 日/想定どおりで 川用できるように 、市民団体等で ければ実効性が	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった	> った <市実施	案検討 (拡充も含む をの具体的な内容・ をとしての博物館割	・必要性の理ほ		O要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必	平成2年に開館し1 維持管理・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修が欠かせ NPO、市民Iで市が実施す 体が市しかな	せない。 団体等では3 「ることが定	レなどの交換修繕 実施できない	情が必要である。施設を耐用年費	改まで活用するため!	< 3	②事前確認 想定どお安全 1①民間企業 1②市が先輩 ののである。 1②である。 13である。 13である。 13である。 13である。 13である。 13である。 14である。 14である。 15です。 15である。 15である。 15である。 15である。 15である。 15である。 15 でも。 15 でも 15 で 15 で 15 で 15	認での想定 とした理由 と・快適に和 業、、NPO、 等等役となった れた	どおりでなかっとがありでなかった。 は一想定どおりではずるようには、 市民団体等ではいる。 たことで市民へ	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層	> った <市実施	恋の具体的な内容・	・必要性の理ほ		O要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は	平成2年に開館した 維持管理・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修が欠かせ NPO、市民I で市が実施す 体が市しかな る市が推進す	団体等では3 「ることが定い 「なっとがある	レなどの交換修繕 実施できない eめられている	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>	效まで活用するため(C < ! R !	②事前確認 想定どおり 館者が安全 1①民市が日 1②市が進され 1③の市が進され 13のサービス	認での想定: とした理は **・快適に和 **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **	どおりでなかっとおりではありであった。 が表現できるようには、市民は全体等ではなった。 、市民できるようにはないではないではない。 、市民ではないではないではないできます。 、本籍の主義の主義の実施できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 をいまれた。 がまれた。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれた。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまななな。 をいまななななななな。 をいまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した	> った <市実施	恋の具体的な内容・	・必要性の理ほ		O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必	平成2年に開館した 維持管理・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修が欠かせ NPO、市民店で市が市に開かる。 で市が推進する。 る導で進供せるする。	せない。 団体等では写 つることが定 い べきである ことによりり	レなどの交換修繕 実施できない eめられている	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>	牧まで活用するため(C ₹ ₹ 1 □ <p< td=""><td>②事前確 制定とが安全 関節者が民が所進の一一の は、13のでは、1</td><td>認での想定・快適に和業等等とした理は 業のでのでは、 、のでは、 、のででは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 のでは、</td><td>どおりでなかっ ロ/想定どおりで 利用できるように 、市民団体外性が たことで市民へ 施策の目標の実</td><td>た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した</td><td>> った <市実施</td><td>恋の具体的な内容・</td><td>・必要性の理ほ</td><td></td><td>●不要</td></p<>	②事前確 制定とが安全 関節者が民が所進の一一の は、13のでは、1	認での想定・快適に和業等等とした理は 業のでのでは、 、のでは、 、のででは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 のでは、	どおりでなかっ ロ/想定どおりで 利用できるように 、市民団体外性が たことで市民へ 施策の目標の実	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した	> った <市実施	恋の具体的な内容・	・必要性の理ほ		●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか?	平成2年に開館した 維持管理・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修が欠かせせ、 PO市が市が推め供証ことになる導施の保証ことになる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	団体等では写 「ることが定 い べきである ことにより いる	レなどの交換修繕 実施できない とめられている	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>	改まで活用するため(C ₹ ₹ 1 □ <p< td=""><td>②事前確 想定どが安全 間では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、</td><td>認での想定・快適に和業等等とした理は 業のでのでは、 、のでは、 、のででは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 のでは、</td><td>どおりでなかっとおりではありであった。 が表現できるようには、市民は全体等ではなった。 、市民できるようにはないではないではない。 、市民ではないではないではないできます。 、本籍の主義の主義の実施できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 をいまれた。 がまれた。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれた。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまななな。 をいまななななななな。 をいまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな</td><td>た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した</td><td>> った <市実施</td><td>恋の具体的な内容・</td><td>・必要性の理ほ</td><td></td><td>O要 ●不要</td></p<>	②事前確 想定どが安全 間では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	認での想定・快適に和業等等とした理は 業のでのでは、 、のでは、 、のででは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 、のでは、 のでは、	どおりでなかっとおりではありであった。 が表現できるようには、市民は全体等ではなった。 、市民できるようにはないではないではない。 、市民ではないではないではないできます。 、本籍の主義の主義の実施できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 が表現できます。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 がまれた。 をいまれた。 がまれた。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれた。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまれたな。 をいまな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまなな。 をいまななな。 をいまななななななな。 をいまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した	> った <市実施	恋の具体的な内容・	・必要性の理ほ		O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか?	平成2年に開館した 維持管理・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修が欠かせせ、 PO市が市市で提供証こる を導施スが保るこそれに、 のではないできた。 のではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	団体等では写 「ることが定 い べきである ことにより いる	レなどの交換修繕 実施できない とめられている のはが得られる 、良質で安定した	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>	牧まで活用するため(C ₹ ₹ 1 □ <p< td=""><td>②事前確 おり全 常 を は は な は な な と は は な な と は 3 の に の は の は の は の は の は の は の は の は の は</td><td>認での想定 由年和 は 世年和 は 世年和 は 世年和 は 世年和 に 水道と い 水道と い 水道と い 変元 政策が準安定 が 大道と な ススススススススススススススススススススススススススススススススススス</td><td>どおりでなかっ とどおりでなかっ 利用できるように 市民は実での国体等で けれたことでの 施策の生 に保された に保さなと に保さなが確保さ</td><td>た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した れた</td><td>> った <市実施</td><td>恋の具体的な内容・</td><td>・必要性の理ほ</td><td></td><td>O要 ●不要</td></p<>	②事前確 おり全 常 を は は な は な な と は は な な と は 3 の に の は の は の は の は の は の は の は の は の は	認での想定 由年和 は 世年和 は 世年和 は 世年和 は 世年和 に 水道と い 水道と い 水道と い 変元 政策が準安定 が 大道と な ススススススススススススススススススススススススススススススススススス	どおりでなかっ とどおりでなかっ 利用できるように 市民は実での国体等で けれたことでの 施策の生 に保された に保さなと に保さなが確保さ	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した れた	> った <市実施	恋の具体的な内容・	・必要性の理ほ		O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか?	平成2年に開館した 維持管理・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修が欠かせ N P O 、実 下で 下で 下で 下で は では が では では では に では に では に に で に に に に に に に に に に に に に	せない。 団体等ではますることにより政策・ あるよりの内容	レなどの交換修繕 実施できない とめられている のはが得られる 、良質で安定した	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>	改まで活用するために	C	②事前 おり かっぱい おり かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	認での見た。 は、した。 での見た。 での見た。 での見た。 での見た。 での見た。 での見た。 では、 ではといる。 では、 ではといる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	どおりでなかっつ A / 想定とおりでは 利用できるように ではなりでは ではないでは ではないでは ではないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないないでは ないないないない。 ないないないないない。 ないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	たでなかった原因>こなった。は実施できなかなかった音及が一層現に貢献したれた	った <市実施市の施制	奄の具体的な内容・ 役としての博物館別 参加・協	・必要性の理ほ	弯理が必要 。	O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	平成2年に開館した 維持管理・更新・・ (理由) □法供生 □ 日本・ □ 日本 ○ 日本	改修が欠かせせ、 PO市が市市市で提展証ととは、 お導施スが異すられる。 参加の参か民ののでは、 をかり、実しが、は、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はいでは、	せない。 団体等では写することにといることはることり政策・動の内容	レなどの交換修繕 実施できない とめられている のはが得られる 、良質で安定した	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>		C	②事前 おり 全事的 おり 全事的 おり 全事的 おり 全声 さい ちゅう はい まい かっぱい はい かっぱい はい かっぱい はい	認でした。 は、 とい、 業尊尊れたが準安定 い進と、 歌が進安でが、 が進安で、 が進安で、 が後子で、 が移備等。 はあるのののののののでは、 はおりますが、 はいののので、 はいので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいので、 はいので、 はいのので、 はいのので、 はいのので、 はいのでで、 はいので、 はいので、 はいので、 はいので、 はいので、 はいので、 はいので、 はいので、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでで、 はいのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	どおりでなかっつ A / 想定とおりでは 利用できるように ではなりでは ではないでは ではないでは ではないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないでは ないないないでは ないないないない。 ないないないないない。 ないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないない。 ないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が一層 現に貢献した れた	った <市実施市の施語	恋の具体的な内容・ 役としての博物館計	必要性の理は	弯理が必要 。	O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	平成2年に開館した 維持管理・更新・・ ●①民間企業、「 (理由) □法令等 ■提供の他 ○②自治体である (理由) □市が実 □市が実がすがすがです。 □本の他	 改修が / Y 市	せない。 団体に は は ない きにと いい べとこと り い なりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり	レなどの交換修繕 実施できない とめられている のはが得られる 、良質で安定した	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>		C	②事前 おり 全事的 おり 全事的 おり 全事的 おり 全声 さい ちゅう はい まい かっぱい はい かっぱい はい かっぱい はい	認でした。 は、 とい、 業尊尊れたが半安定 になる。 が進と、 な策が発生。 が進と、 なり、 なが、 なり、 はなる。 なり、 はなる。 なり、 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 もな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな	どおりでなかっては、市民できるようには、市民できるようには、市民できるようには、は、日本の大学では、中国の地域では、中国の大学の大学の社会とは、中国の大学の推り、中国の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	たでなかった原因>こなった。は実施できなかなかった音及が一層現に貢献したれた	った <市実版市の施記 「市の施記 「日本で ○①当	をの具体的な内容・ 役としての博物館記 参加・協 初期待した以上	必要性の理は	弯理が必要 。	O要 ●不要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	平成2年に開館しれ 維持管理・更新・・ ●①民間企業、「 (理由) □法令等 ■提供生 □ お体市がま (理由) □市が支 □ 市が支 □ 中が支 マの他 ○②事業計画時に ○②事業実施時に ○②衛民の自由 ○③衛市民と共同・	改修がが欠 市施か 推るすさと 協・ 画画画連 に これなの を	せない。	レなどの交換修繕 実施できない とめられている のはが得られる 、良質で安定した	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>		C	②事前 おり 全事的 おり 全事的 おり 全事的 おり 全声 さい ちゅう はい まい かっぱい はい かっぱい はい かっぱい はい	認でした。 は、 とい、 業尊尊れたが半安定 になる。 が進と、 な策が発生。 が進と、 なり、 なが、 なり、 はなる。 なり、 はなる。 なり、 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 もな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな	どおりでなかっては、市民できるようには、市民できるようには、市民できるようには、は、日本の大学では、中国の地域では、中国の大学の大学の社会とは、中国の大学の推り、中国の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	たでなかった原因>こなった。は実施できなかなかった音及が一層現に貢献したれた	った	他の具体的な内容・ 役としての博物館計 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	必要性の理ける機等の維持管	音理が必要。	○要 ● 不 不 要 ● 不 不 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ** ** ** ** ** ** ** ** **	平成2年に開館した 維持管理・更新・・ (理由) □	改修がが欠 市施か 進るずされと 協・画画画連施 でまた はい 一本 できまる はいます ない かん できまる はいます かい	せない。	レなどの交換修繕 実施できない とめられている のはが得られる 、良質で安定した	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>		C	②事前 おり 全事的 おり 全事的 おり 全事的 おり 全声 さい ちゅう はい まい かっぱい はい かっぱい はい かっぱい はい	認でした。 は、 とい、 業尊尊れたが半安定 になる。 が進と、 な策が発生。 が進と、 なり、 なが、 なり、 はなる。 なり、 はなる。 なり、 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 もな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな	どおりでなかっては、市民できるようには、市民できるようには、市民できるようには、は、日本の大学では、中国の地域では、中国の大学の大学の社会とは、中国の大学の推り、中国の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	たでなかった原因>こなった。は実施できなかなかった音及が一層現に貢献したれた	った	をの具体的な内容・ 役としての博物館計 参加・協 初期待した以上 初初期待したとおり 初初期待以下	必要性の理ける機等の維持管	音理が必要。	○要 ● 不 不 要 ● 不 不 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	平成2年に開館した 推持管理・更新・・ ●①民間企業、「等 ●①民間企業、「等 ●②自治体である。 (理由)□ は提供主 □ おかがに □ おかがに □ おかがに □ おりでする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修がケケットで体 る 導施スが長い は 「	さない。 はない べい きにと り め ちゅりり てい ありまり でいる からい な 容 の の りりり でいる ちょり からい な でん からい な でん からい	となどの交換修繕 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容>		C	②事前 おり 全事的 おり 全事的 おり 全事的 おり 全声 さい ちゅう はい まい かっぱい はい かっぱい はい かっぱい はい	認でした。 は、 とい、 業尊尊れたが半安定 になる。 が進と、 な策が発生。 が進と、 なり、 なが、 なり、 はなる。 なり、 はなる。 なり、 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 もな。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな	どおりでなかっては、市民できるようには、市民できるようには、市民できるようには、は、日本の大学では、中国の地域では、中国の大学の大学の社会とは、中国の大学の推り、中国の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	たでなかった原因>こなった。は実施できなかなかった音及が一層現に貢献したれた	った	をの具体的な内容・ 役としての博物館計 参加・協 初期待した以上 初初期待したとおり 初初期待以下	必要性の理ける機等の維持管	音理が必要。	○要 ● 不 不 要 ● 不 不 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	平成2年に開館し新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 改修がが欠かせせい P O 市が市 推め供証こる かまで・提め供証こる かまののの動と実 と は 協画画画連施 市に市内で事件 中では、 は は は 面画画連施 日本のでは、 は は 面画画連施 日本のでは、 は は 面画画連施 	せない。 団体に いくとこと 動 有有有携 でんが ありよ	となどの交換修繕 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の	情が必要である。施設を耐用年業 <その他の内容> <その他の内容> た		□	② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	認 と・ 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 章 尊 化 素 す を ま 世 に P D め な 策 が定 と・ 協 の す す が も が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最	どおりでなかっつ。 1月 想定さるように、 はれてきるように、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきる。 はれている。 はれて	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が 一層 現に貢献した れた (又は今後、はその内容) あるため、市が責	った 市の施言 「市の施言 「中国では、「中国では、「中国では、「中国では、「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、」 「中国では、「中国では、」 「中国では、」 「中国では、、」 「中国では、、」 「中国では、、」	をの具体的な内容。 後としての博物館影 参加・協 初期待したとより 初期待したとより 初の期待以下 した以上となった理	必要性の理ける機等の維持管	音理が必要。	○要 ● 不 要 ● 不 ~ 要 ● ~ ~ 9
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) *** ** ** ** ** ** ** ** **	平成2年に開館し新・・ ・	 改修がが、	せない。 団体に いくとこと 動 有有有携 でんが ありよ	となどの交換修繕 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の	情が必要である。施設を耐用年業 <その他の内容> <その他の内容> た	具体的な内容	□	② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	認 と・ 業尊尊化 大 を は は は に の に は の に は の に は の に は の に は の に は の に は の に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっつ。 1月 想定さるように、 はれてきるように、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきる。 はれている。 はれて	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が 一層 現に貢献した れた (又は今後、はその内容) あるため、市が責	った <市実施 市の施記 市の施記 で	をの具体的な内容・ 後としての博物館計 参加・協 初期待したとより 初期待したとおり 初の期待以下 した以上となった野	必要性の理は 場場の維持を の程度・内 の程度・内 の配慮	音理が必要。	○要 ● 不 不 要 ● 不 不 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を では、あるか? (体制づくり)	平成2年に開館し新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修 Nで体 る導施ス援図 下で体 内市が 本 が進場する か 大 大	せない。	となどの交換修繕 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の	情が必要である。施設を耐用年業 <その他の内容> <その他の内容> た	具体的な内容	□	② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	認 と・ 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 章 尊 化 素 す を ま 世 に P D め な 策 が定 と・ 協 の す す が も が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最	どおりでなかっつ。 1月 想定さるように、 はれてきるように、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきる。 はれている。 はれて	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が 一層 現に貢献した れた (又は今後、はその内容) あるため、市が責	った 市の施記 「市の施記 「「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をの具体的な内容を をの具体的な内容を をとしての博物館を 参加・協 初期特した以上 初初期待したとおり 初の期待はなった理 した以上となった理 環が	必要性の理は 受備等の維持管 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮	音理が必要。	○要 ● 不 不 要 ● 不 不 要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を では、あるか? (体制づくり)	平成2年に開館よ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修 Nで体 る導施ス援図 下で体 内市が 本 が進場する か 大 大	せない。	となどの交換修繕 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の	情が必要である。施設を耐用年業 <その他の内容> <その他の内容> た	具体的な内容	□	② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	認 と・ 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 章 尊 化 素 す を ま 世 に P D め な 策 が定 と・ 協 の す す が も が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最	どおりでなかっつ。 1月 想定さるように、 はれてきるように、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきる。 はれている。 はれて	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が 一層 現に貢献した れた (又は今後、はその内容) あるため、市が責	った 市の施記 「市の施記 「「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	他の具体的な内容を 後としての博物館記 参加・協 初期待したとおり 初期特待したとおり でなった理 環境 でなかっ	必要性の理は 受備等の維持管 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮	音理が必要。	● 要要要● 不要要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) ・ おして、	平成2年に開館上が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 改修ががく 下で体 お導施ス援図 下で体 お導施ス援図 下でする者に おできる者に おできる者に おできる者に おできる者に 付き ででする者に を見民民活業 ででする者に 付き ででする者に は のるのの動と と 虚いるるし に に に に に に に のる は に のる に のる で で<td>さない べとこと 動 有有有携 、 視 い な とこと り 内 りりりして 施 する 実り・</td><td>実施できない。 家効性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の</td><td>情が必要である。施設を耐用年業 <その他の内容></td><td>具体的な内容</td><td>□</td><td>② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6</td><td>認 と・ 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 章 尊 化 素 す を ま 世 に P D め な 策 が定 と・ 協 の す す が も が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最</td><td>どおりでなかっつ。 1月 想定さるように、 はれてきるように、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきる。 はれている。 はれて</td><td>た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が 一層 現に貢献した れた (又は今後、はその内容) あるため、市が責</td><td>った 市の施記 「市の施記 「「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>他の具体的な内容を 後としての博物館記 参加・協 初期待したとおり 初期特待したとおり でなった理 環境 でなかっ</td><td>必要性の理は 受備等の維持管 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮</td><td>音理が必要。</td><td>○ 要要要 ● 不不要要要 ○ 要要要要</td>	さない べとこと 動 有有有携 、 視 い な とこと り 内 りりりして 施 する 実り・	実施できない。 家効性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の	情が必要である。施設を耐用年業 <その他の内容>	具体的な内容	□	② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	認 と・ 業 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 尊 尊 化 素 章 尊 化 素 す を ま 世 に P D め な 策 が定 と・ 協 の す す が も が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最 が 最	どおりでなかっつ。 1月 想定さるように、 はれてきるように、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきるは今性性に、 はれてきる。 はれている。 はれて	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が 一層 現に貢献した れた (又は今後、はその内容) あるため、市が責	った 市の施記 「市の施記 「「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	他の具体的な内容を 後としての博物館記 参加・協 初期待したとおり 初期特待したとおり でなった理 環境 でなかっ	必要性の理は 受備等の維持管 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮	音理が必要。	○ 要要要 ● 不不要要要 ○ 要要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を では、あるか? (体制づくり)	平成22年に開館します。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修 Nで体 A 導施ス援図 市がで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さない べことこよ 動 有有有携 、 視 い の い の で は 定 る 実り ・ 地定 る 実り ・ 地定 る 実り ・ 地元 な か し な か の り り り し て 施 か の ま か や ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実施できない。 家効性が得られる 、良質で安定した 施策の目標の	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容>	具体的な内容	□	② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	認と・ 業尊尊化 (本) 大学 (本) 大	どど A/和 state of the state of	た でなかった原因> こなった。 は実施できなか なかった 普及が 一層 現に貢献した れた (又は今後、はその内容) あるため、市が責	った <市実施 市の施 で	他の具体的な内容を 後としての博物館記 参加・協 初期待したとおり 初期特待したとおり でなった理 環境 でなかっ	必要性の理は 受備等の維持管 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮	音理が必要。	○ 要要要 ● 不不要要 ● 不不要要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ大しづくり) 環境に配慮して事業を進めて 混るか?	平成2年に開館上が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 改修ががく 下で体 お導施ス援図 下で体 お導施ス援図 下でする者に おできる者に おできる者に おできる者に おできる者に 付き ででする者に を見民民活業 ででする者に 付き ででする者に は のるのの動と と 虚いるるし に に に に に に に のる は に のる に のる で で<td>せない。 団体にい べとにより か</td><td>レなどの交換修繕 実施できない。 会かられている の性が得られる、、 は、 の目標の を 事業である。 振動・騒音の低さ</td><td>が必要である。施設を耐用年業 < その他の内容 ></td><td>単体的な内容</td><td> マスター マスター </td><td>② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6</td><td>認 と・ 業 尊 尊 化 雲 本</td><td>どおり おり かっっ かり が おり で かり が まり で かり が まり で かり で かり で かり で かい かい</td><td>たでなかった原因〉 になった。 はなかのた。 は実施った できなか は実施った 開 現に した れた 容(又は今容) あるため、 市が 書</td><td>った 市の施記 市の施記 「一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一</td><td>他の具体的な内容を 後としての博物館記 参加・協 初期待したとおり 初期特待したとおり でなった理 環境 でなかっ</td><td>必要性の理は 受備等の維持管 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮</td><td>音理が必要。</td><td>● ** ● * ● ** ● * ● *</td>	せない。 団体にい べとにより か	レなどの交換修繕 実施できない。 会かられている の性が得られる、、 は、 の目標の を 事業である。 振動・騒音の低さ	が必要である。施設を耐用年業 < その他の内容 >	単体的な内容	マスター	② 思館 1023 (4) 5) 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	認 と・ 業 尊 尊 化 雲 本	どおり おり かっっ かり が おり で かり が まり で かり が まり で かり で かり で かり で かい	たでなかった原因〉 になった。 はなかのた。 は実施った できなか は実施った 開 現に した れた 容(又は今容) あるため、 市が 書	った 市の施記 市の施記 「一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一	他の具体的な内容を 後としての博物館記 参加・協 初期待したとおり 初期特待したとおり でなった理 環境 でなかっ	必要性の理は 受備等の維持管 動の程度・内 理由/期待以下 境への配慮	音理が必要。	● ** ● * ● ** ● *
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を では、あるか? (体制づくり)	平成22年に開館します。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修 Nで体 A 導施ス援図 市がで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	## は	上などの交換修繕 実施できないる 認効性が得ったない。 認効性が得ったなといる。 施策の目標の 1 ②現況に値ととの差 1 ③現況に値ととの差	が必要である。施設を耐用年数	具体的な内容 目む内容	マスター	② ます (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	認 と・ 業 尊 尊 化 雲 東 章 神 化 実	どおり おり かっっ かり が かっっ かり が かっっ かり が が かっっ かり が が かっっ かり が おり で かり が おり が おり が おり が おり が おり が かっ かっっ かり が で かい かっっ かり が かい	た でなかった。 でなかった。 はな できなか は 実施 た に できなか が 献 に 貢 した れた マスカ は な できな	った ch	をの具体的な内容部としての博物館を 参加・協 初期待した上 初初の期待したと下 した以上となった耳 定定どおりりでなかった原 とだおりでなかった原	必要性の理は の機構等の維持管 の程度・内 の配慮 た 原因>	9容 下であった原因>	○ 要要要 ● 不不要要要 ○ 要要要要
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ大しづくり) 環境に配慮して事業を進めて 混るか?	平成2年に開館上が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修がが、 Po 市が が進援図 Po 市が が進援図 を民民民活業 Po 市が が進援図 を民民民活業 Expect of the point of the poin	## は	上などの交換修繕 実施できないる 認効性が得ったない。 認効性が得ったなといる。 施策の目標の 1 ②現況に値ととの差 1 ③現況に値ととの差	が必要である。施設を耐用年数 <その他の内容> <その他の内容> た 工夫の身 取利 取利 取利 取利 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない	具体的な内容 目む内容	マスター	② 思館 ①② 45 サック	認 と・ 業 尊 尊 化 雲 東 章 神 化 実	どおり おり かっっ かり が おり で かり が まり で かり が まり で かり で かり で かり で かい	た でなかった。 でなかった。 はな できなか は 実施 た に できなか が 献 に 貢 した れた マスカ は な できな	った ch	をの具体的な内容記 参加・協 初期特した以上 初初期待したと下 した以上となった理 に定どおり になかった原	必要性の理は の機構等の維持管 の程度・内 の配慮 た 原因>	9容 下であった原因>	●
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を が工人に制づくり) 環境(こ配慮して事業を進めて にるか?	平成2年に開館上が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修	せない。 では定	レなどの交換修繕 実施できない。 効は質のできない。 効は質のではできない。 一個では、 である。 一個では、 である。 一個では、 である。 一個では、 である。	が必要である。施設を耐用年業 < その他の内容>	具体的な内容 目む内容 ック ら ら らける目標値(と現況	で	② ます (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	認 と・ 業専専化表表スス 容	どおり おりでなかっつ かりで おりが かっつ かりが かっつ かりが かっつ かりが おりが なおり で おりが に かい かっつ かりが おりが に かい かっつ かりが に かい	た でなかった。 でなかった。 はな できなか は 実施 た に できなか が 献 に 貢 した れた マスカ は な できな	った	をの具体的な内容能影響をしての博物館影響をしての博物館影響をしたのでは、	・必要性の理はの理はの程度・内容を表現である。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	野容 下であった原因> 成少した。	●
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ大もづくり) 環境に配慮して事業を進めて にいるか? (1)目標設定は適切か?	●① (理由) □ (理由) □ (できる) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	改修がが、 Pで体 A 導施ス援図 市市市 A で体 本導施ス援図 A では、 本の多の動と A では、 本の多の動と A では、 本の多の動と A では、 本の表の動と A では、 本の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表	************************************	レなどの交換修維 実施できないる 認効に対している。 認効に対している。 認効性が質で目標ののは、 施策ののはである。 事業である。 振動・騒音ののは、 でもとと比水を対対でのもいるとと比水を対しているを対している。 「②現現適合同等のの財準では、 「②現現ではないのでは、 「②には、 「②には、 「②には、 「②には、 「②には、 「」のでは、 「、 「」のでは、 「、 「」のでは、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「、 「 。 「 。 「 。 「 。 「 。 「 。 「 。 「 。	が必要である。施設を耐用年数 《その他の内容》 《その他の内容》 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	具体的な内容 田む内容 いっち いっち いっち いっち いっち いっち いっち いっ	で	② ます (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	認 と・ 業 尊 尊 化 素	どおり おり かっっ かり かっっ かり が かっっ かり が かっっっ かり が かっっっ かり が おり で おり が まり で まい は から に	た でなかった。	った	他の具体的な内容記述をとしての博物館記述をとしての博物館記述をとしての博物館記述をとしての博物館記述をおりたととなったといいます。 はない はい	必要性の理は 必要性の理検 の程度・内 での配慮 た を での削減対策 はでいる。	管理が必要。 下であった原因> 成少した。 ほについて	●
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) おこれがでは、あるかのではではあるかのではできない。 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	●① (理由) □ (理由) □ (できる) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	改修 Pで体 る 導施ス援図	せない。 では でか る 実り ・ は 定 の なりり して に か なり は で なり は で か な な は な で か なり し て に し に は な な の 人)	レなどの交換修繕 薬効、 施策の 目標の の は できない る の でもない の の でもない か い の の では、 の な と と 比 水	が必要である。施設を耐用年数 《その他の内容》 《その他の内容》 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	具体的な内容 田む内容 いっち いっち いっち いっち いっち いっち いっち いっ	で	② 思館 1023 保市が進売された。	認 と・ 業尊尊化 (どおり おり が かっっ かり が かっっ かり が かっっ かり が が かっっ かり が が かっっ かり が おり が	た でなかった。 でなかった。 はな音 現に できなか はまかかが 献 は 実施から 層 した は 実施から	った	をの具体的な内容記 参加・協 初期特したととより した以上とり した以上とい した以上となった理 定定どおりでなかった原 となことから。 リ 事の想	・必要性の理特質 ・ 内 の配慮 た 「原因〉 ・ プーターが 減 対 策 に 定 ど お り り で な	育理が必要。 Pであった原因> 成少した。 ほについて にかった	○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性はある実施の必要性) 市民の参加や市か? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	●① (理由) □ (理由) □ (できる) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本	改修 Nで体 る 導施ス援図	せない。 では でか る 実り ・ は 定 の なりり して に か なり は で なり は で か な な は な で か なり し て に し に は な な の 人)	レなどの交換修繕 実施できないる 効は質できないる。 効性が得です標の にないる。 ののでは、 のの	が必要である。施設を耐用年数 《その他の内容》 《その他の内容》 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	具体的な内容 田む内容 いっち いっち いっち いっち いっち いっち いっち いっ	で	② 思語 (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	認 と・ 業尊尊化 (どおり おり かっつ は かっこ かっこ かっこ かっこ が りっこ かっこ が りっこ かっこ が りっこ かっこ が りっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ か	た でなかった。 でなかった。 はな音 現に できなか はまかかが 献 は 実施から 層 した は 実施から	った	 ⑥ 具体的な内容記述 ⑥ 量体的な内容記述 ⑥ 動山 上 からいます ⑥ 上 からいます ⑥ 上 からいます ○ ② 事がののをできます ○ ② 事がののをできます 	・必要性の理特質 ・ 内 の配慮 た 「原因〉 ・ プーターが 減 対 策 に 定 ど お り り で な	育理が必要。 Pであった原因> 成少した。 ほについて にかった	○● ● ○● ▼ ○● ▼ ○● ▼ ○● ▼ ○● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性はある実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を加いるか? (体制づくり) 環境(こ配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	平成2年に開館します。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修 Pで体 る 導施ス援図	せない。 では でか る 実り ・ は 定 の なりり して に か なり は で なり は で か な な は な で か なり し て に し に は な な の 人)	レなどの交換修繕 薬効、 施策の 目標の の は できない る の でもない の の でもない か い の の では、 の な と と 比 水	が必要である。施設を耐用年数 《その他の内容》 《その他の内容》 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	具体的な内容 田む内容 いク いける目標値(と現況 FI等民間資本の記 芸者負担	で	② 思館 1023 保市が進売された。	認 と・ 業尊尊化 (どおり おり かっつ は かっこ かっこ かっこ かっこ が りっこ かっこ が りっこ かっこ が りっこ かっこ が りっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ かっこ か	た でなかった。 でなかった。 はな音 現に できなか はまかかが 献 は 実施から 層 した は 実施から	った	 ⑥ 具体的な内容記述 ⑥ 量体的な内容記述 ⑥ 動山 上 からいます ⑥ 上 からいます ⑥ 上 からいます ○ ② 事がののをできます ○ ② 事がののをできます 	・必要性の理特質 ・ 内 の配慮 た 「原因〉 ・ プーターが 減 対 策 に 定 ど お り り で な	育理が必要。 Pであった原因> 成少した。 ほについて なかった	○● ● ○● <
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性はある実施の必要性) 市民の参加や市か? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か?	平成2年に開館します。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修 Nで体	## ない	レなどの交換修繕 薬効、 施策の 目標の の は できない る の でもない の の でもない か い の の では、 の な と と 比 水	が必要である。施設を耐用年数	退む内容 リック ら らける目標値(と現況 を基番負担 の他	で	② 思館 1023 保市が進売された。	認 と・ 業 導 導 化	どおり おり かっつ は が かっつ は が かっつ は が かっつ は が が かっつ は が が かっつ は が おり が	た でなかった。 でなかった。 はな音 現に できなか はまかかが 献 は 実施から 層 した は 実施から	った	 ⑥ 具体的な内容記述 ⑥ 量体的な内容記述 ⑥ 動山 上 からいます ⑥ 上 からいます ⑥ 上 からいます ○ ② 事がののをできます ○ ② 事がののをできます 	必嫌の理性の理性の理性を は 数で は 数で は な かっぱ 数で と で は 数で と で で の 削減 り で な かっぱ かっぱ な かっぱ	管理が必要。 Pop	○● ● ○● <t< td=""></t<>
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性) 市民の参加や市か? (体制づくり) 市民の参いいり) (本制が、) (体制が、) (本制が、)	平成2年に開館し新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修	## ない	レなどの交換修繕 実施でおいる 一致ないのでは、一致	が必要である。施設を耐用年業 《その他の内容〉 《その他の内容〉 大た 【表の単の内容〉 大た 【表の単の方式 「会、現性が乏している。 「会、現性が乏してはないがかれる場合、比較対象例による。 「皮活用 □⑤ P受 (原活用) □⑥ P使 (原活用)	型体的な内容 型体的な内容 型体的な内容 では、	C (3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	② 思館 1023 保市が進売された。	認 と・ 業 導 導 化	どおり おり かっつ かり かっこ かり かっこ かり かっこ かり かっこ かり からに が は から	た でなかった。	つた で	をの具体的のは をの具体的のは をの具体ののは 参加 以上 が初期のは したした以と下 なっったと のは とばおりでなかった原 のでかった。 事前がおいななこと でかった。 ●②②定だおりでなかった。 ●③②はたること ●③②はたること	必嫌の理性の理性の理性を は 数で は 数で は な かっぱ 数で と で は 数で と で で の 削減 り で な かっぱ かっぱ な かっぱ	管理が必要。 Pop	○● ● ○● ○●
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はある実施の必要性) 市民の参加や市か? (体制づくり) 環境(に配慮して事業を進めでによるか? (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か?	平成2年に開館し新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改修 Nで体 る 導施ス援図	# ない	レなどの交換修繕 実施でおいる 一致ないのでは、一致	が必要である。施設を耐用年数	型体的な内容 型体的な内容 型体的な内容 では、	C (3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	② 思館 (①②3 (④15) (認 と・ 業導導化 (どおり おり が かっっ かり が おり で おり で	た でなかった。	つた で	をの具体的のは をの具体的のは をの具体ののは 参加 以上 が初期のは したした以と下 なっったと のは とばおりでなかった原 のでかった。 事前がおいななこと でかった。 ●②②定だおりでなかった。 ●③②はたること ●③②はたること	必嫌の理性の理性の理性を は 数で は 数で は な かっぱ 数で と で は 数で と で で の 削減 り で な かっぱ かっぱ な かっぱ	管理が必要。 Pop	○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ● ○● ○ ○ ○ ○
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 市民の参加や市民との協働を エ大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成2年に開館して ・ (理由) ■日本 (である主 ・ (理由) □日本 (理由)	改修 Nで体 る 導施ス援図	# ない。 では でからい よい からい は で がらい ない きにと り の りりりして	レなどの交換修繕 薬施られるしが 神ででいる。 一でおないいる。 一でおないのでは、 一でおないのでは、 一である。 一でおないのでは、 一では、	が必要である。施設を耐用年業 《その他の内容〉 《その他の内容〉 大た 【表の単の内容〉 大た 【表の単の方式 「会、現性が乏している。 「会、現性が乏してはないがかれる場合、比較対象例による。 「皮活用 □⑤ P受 (原活用) □⑥ P使 (原活用)	型体的な内容 型体的な内容 型体的な内容 では、	C (3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	② 思館 (1)(2)(3) (4)(5)(5)(5)(6)(7)(7)(7)(7)(7)(7)(7)(7)(7)(7)(7)(7)(7)	認 と・ 業導導化 (どおり おり かっつ かり かっこ かり かっこ かり かっこ かり かっこ かり からに が は から	た でなかった。	つた で	をの具体的のは をの具体的のは をの具体ののは 参加 以上 が初期のは したした以と下 なっったと のは とばおりでなかった原 のでかった。 事前がおいななこと でかった。 ●②②定だおりでなかった。 ●③②はたること ●③②はたること	必嫌の理性の理性の理性を は 数で は 数で は な かっぱ 数で と で は 数で と で で の 削減 り で な かっぱ かっぱ な かっぱ	管理が必要。 Pop	○● ● ○● <
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民人してくり) 市民人してくり) (本制づくりり) 環境に配慮 (1)目標設定は適切か? (2)事業費にの事業費は適の工夫をして(目標対象の対象を表現である。	●① (理由) □ (理由) □ (できさん) □ (改修 P で	# ない。 では でからい よい からい は で がらい ない きにと り の りりりして	レなどの交換を維維を できない る の か	が必要である。施設を耐用年業 《その他の内容〉 《その他の内容〉 、大た 工夫の身 取組 取組 取名 取名 取名 下字、事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ないないがあれる場合、比較対象例による。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P ② 複数年度の指標:目標値標値 ●① ② 複数年度の指標:目標値標値	型体的な内容 型体的な内容 型体的な内容 では、	C (3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	② 思館 (①②3 (④15) (認 と・ 業導導化 (どおり おり が かっっ かり が おり で おり で	た でなかった。	つた で	をの具体的のは をの具体的のは をの具体ののは 参加 以上 が初期のは したした以と下 なっったと のは とばおりでなかった原 のでかった。 事前がおいななこと でかった。 ●②②定だおりでなかった。 ●③②はたること ●③②はたること	必嫌の理性の理性の理性を は 数で は 数で は な かっぱ 数で と で は 数で と で で の 削減 り で な かっぱ かっぱ な かっぱ	管理が必要。 Pop	○● ● ○● ○●
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を エ大はおづくり) 市民・記念が? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて、 (体制であるか?) (1)目標設定は適切か? (1)目標設定は適切か? (2)事業者が? (3)目標はを事業用) 3.事後評価 ●現状どおり推進 ○拡充 ●現状とおり推進	平成2年に開館し、「等主体性の (理由) □ (型) □ (型	改修 Nで体 る 導施ス援図	# ない	上などの交換を維維を表している。 「ない」のでは、 「ない。 「ないい。 「ないい。 「ないいい。 「ないい。 「ないいい。 「ないいい。 「ないいい。 「ないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	が必要である。施設を耐用年業 《その他の内容〉 《その他の内容〉 、大た 工夫の身 取組 取組 取名 取名 取名 下字、事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ないないがあれる場合、比較対象例による。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P ② 複数年度の指標:目標値標値 ●① ② 複数年度の指標:目標値標値	製体的な内容 型を の の は の は の は の は の に と現況 の は の に と現況 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。	C (3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	② 思館 (①②3 (④15) (認 と・ 業導導化 (どおり おり が かっっ かり が おり で おり で	た でなかった。 ではな	つた で	を の 具 体的 な 内 容 能 数 か い は か が か か い は か か い は か か い は か か い た び お り り で な か っ た 原 ら 本 前 前 前 む お り り で な か っ た 原 の の り り 事 零 想 と な っ た な な こ と な っ た な な こ と な っ た な な こ と な な こ と な っ た の の り り 事 零 想 想 体値 以 上 と な っ っ た す 重 が の の り り ず 事 で か っ た の の り り 事 零 想 が か っ た の の り り 事 零 想 が か っ た の の り り 青 都 値 以 上 と な っ っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す す で か っ た す す で か っ た す す で か っ た す で か っ た す で か す で か す で か す で か す で か っ た す す で か っ た す で か す か す	必嫌の理性の理性の理性を は 数で は 数で は な かっぱ 数で と で は 数で と で で の 削減 り で な かっぱ かっぱ な かっぱ	管理が必要。 Pop	○● ● ○● ○●
評価項目 (1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性は (1)ある実施の必要性) 市民の参加や市か? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて、(体制が会別を表別である。) (2)事業費削減のエ夫をして、役割である。 (3)目標である。事後評価 3.事後評価	平成2年に開館し、「等主体性の (理由) □ (型) □ (型	改修 Nで体 る 導施ス援図	# ない	上などの交換を維維を表している。 「ない」のでは、 「ない。 「ないい。 「ないい。 「ないいい。 「ないい。 「ないいい。 「ないいい。 「ないいい。 「ないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	が必要である。施設を耐用年業 《その他の内容〉 《その他の内容〉 、大た 工夫の身 取組 取組 取名 取名 取名 下字、事実に基づき設定している。 実現性が乏しい値ないないがあれる場合、比較対象例による。 実施予定の対策 度活用 □⑤ P ② 複数年度の指標:目標値標値 ●① ② 複数年度の指標:目標値標値	製体的な内容 型を の の は の は の は の は の に と現況 の は の に と現況 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。	C (3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	② 思館 (①②3 (④15) (認 と・ 業導導化 (どおり おり が かっっ かり が おり で おり で	た でなかった。 ではな	で	を の 具 体的 な 内 容 能 数 か い は か が か か い は か か い は か か い は か か い た び お り り で な か っ た 原 ら 本 前 前 前 む お り り で な か っ た 原 の の り り 事 零 想 と な っ た な な こ と な っ た な な こ と な っ た な な こ と な な こ と な っ た の の り り 事 零 想 想 体値 以 上 と な っ っ た す 重 が の の り り ず 事 で か っ た の の り り 事 零 想 が か っ た の の り り 事 零 想 が か っ た の の り り 青 都 値 以 上 と な っ っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す で か っ た す す で か っ た す す で か っ た す す で か っ た す で か っ た す で か す で か す で か す で か す で か っ た す す で か っ た す で か す か す	必嫌の理性の理性の理性を は 数で は 数で は な かっぱ 数で と で は 数で と で で の 削減 り で な かっぱ かっぱ な かっぱ	管理が必要。 Pop	●

							別 一般会計			1.71	「の種類 [□政策	■経常	□なし
1. 事業の概要(PLAN)														
	①事業名	基本事業					実施計画へ	. ກ	0 = 0 =		②部課名	# XF 242 40	自のはたた	
			・市民スタッフの活	動支援			位置づけ		〇有 〇無				・鳥の博物館	
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 Oそ	の他(17年度 ~			4対象地区6担当職員数	□我孫	子 □天王台	□湖北 2 人	□新木 □ (換算人数	□布佐	●全市 0.15 人)	
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費		2,322 千円			当該(開始)	(当 初)		2,284 千円	(うち人件費		,320 千円)	
	(人件費含む)	松争未其		2, 322 TD			当該(開始)	(変更後)		2,319 千円	(うち人件費	1	,320 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策 コード	51103		プロジェクト D位置づけ	重点なし	基本計画地 計画への位置		○有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	主涯学習推進計画	
(2)目的	施策目的・				官、白樺文学館などの施設 を設の有効活用を推進し、				t会を実現するため	、学習の拠点	となる施設や体制を	整備し、幅広	い学習機会を提	供していく。
(3)事業内容	展開方向 展開方向 内 容	きるようにします。 「友の会・市民ス しているが、友の	。また、湖北地区区 タッフルーム」を友 会会員については自	書館の整備について の会会員、市民スタン	t <u>、湖北台地区に立地し、</u> ッフに開放し、いつでも に展開し、市民スタッフ	<u>老朽化への対応が</u> 自由に活用できるよ	<u>急が</u> うに	通年随田						
							当該年度活動結果指	£	5民スタッフの登録	人数		単位	人 想定値 実績値	390 321
(4)達成目標(期待する成果)				標(期待する成果)			指標種類	3'		指 標		単位	(5) 現況値	(6)目標値
当該年度	74,1112,2 = 111111111111111111111111111111	体験学習、環境学習		0.			直接		5民スタッフの登録 			٨	321	390
令和 2年度		験学習、環境学習を		空間の講師として自主的	カニ南米ナ同門ナフ		直接		方民スタッフの登録 方民スタッフの登録			٨		400
令和 3年度 	特物館の建名力到		14件款于自、垛块1	-自の興帥として日土。	別に争業で成開する。		直接	及の云・「	1氏スタックの豆剪	(人奴	1	٨_		410
(7)事業実施上の課題と対応		T-006-			7-80/5-4		代替案検	計	○有 ●無				05-	
	政	平成30年度 	金額(千円)	政	平成31年度 	予算額(千円) 決	算額(千円) 政策	内	令和 2年度 	金額(千円	円) 政	 内 容	3年度	金額(千円)
実施内容(8)施行事項 費 用	束:	か事業のコーディネ− R険 R険		策: 市民と館の協働 嘱託職員報酬 嘱託職員社会保 嘱託職員雇用保	事業のコーディネート 険 険	800 156 12 31	799 및 116 및 10 및		も 後のコーディネート		策 :	○協働事業のコ 弱酬 社会保険 ፪用保険		800 122 9 33
予算(決算)額		計	94		<u> </u>	999	956	合			964	合 計	0.01	964
国庫支出金県支出金	補助率	0 % 0 % 0 %		0 補助率 0 補助率 0 充当率	0 % 0 % 0 %	0	0 補	助率 助率 *********************************	0 % 0 % 0 %		0 補助率 0 補助率 0 充当率		0 % 0 % 0 %	0
(9) 財源内訳 起債 一般財源 その他の財源	充当率	□基金 □その他	94	2	・ □基金 □その他	999	956	当率 □特会 □受益 □			964	□受益 □基金		964
換算人数(人)			0. 1	5	正口基立 口ての他	0. 15 1, 320	0. 15 1, 320		1基並 口ての他		. 15 320	□交益 □基亚	나는 어떤	0. 15 1. 320
(10) 人件費等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額	Į.		94			955	955				955 0			955
事業費(予算(決算)額+正職員人件 (11)単位費用	費)	6.11千円/人	2, 26	2	5.95千円/人	2, 319	2, 276 7, 09			2,	284			2, 284
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHE	CK)	0. 11 11 13 X			0.00 1117 7		7: 00							
評価項目			事					事後	評 価(評価結身	具に応じ、改善	案検討(拡充も含む	3))		改善検討
(1)事業が今必要である理 背景は?(事業の必要性	せることはできず。 ・ 、市民スタッフや	、市民スタッフや友	の会会員の協力はク	てくことのできない要素	ならず、多くの市民の協 表である。博物館の運営 是供や活動の拠点の提供:	方針に沿った形で などの支援が必要	●①事前確認での ○②事前確認での <想定どおりとし 博物館の運営補助)想定どおりでなか た理由/想定どお	りでなかった原因		られるため。			 ○要 ●不要
必 要 性 (2) 市が実施する必要性は	(理由) □法令等	IPO、市民団体等でで市が実施すること 体が市しかない		<その他の内容>			□②市が主導で進	めなければ実効† なったことで市!	民へ普及が一層	我孫子	施の具体的な内容・ 市の市民スタッフ制 的に組織することか	度を利用し、		17
1生 (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性)	(理由) ■市が主。 □市が実) サービ。 □市が支	ら市が推進すべきでも 導で進めることによ 施・提供することに スが保証される 援することにより政 図られる	り実効性が得られる より、良質で安定し			=	□⑤サービス水準 □⑥サービスの等 □⑦その他 <その他の内容>		呆された					〇要 ●不要
							くての他の内容と							
	O(1 = # 1 = mt/-	参加・協働の内容	\$	- W - X / 12 M- SO \	工夫の具体的な内容	□ T. 4℃接触 &☆▽T	実施した参加 参加・協働	が考えられる場合		+0.000		働の程度・内!	容	
参加・ 市民の参加や市民との協働 の工夫しているか? (体制づくり)	○①事業計画時に ○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ●⑤市民と共同で ○⑥その他 <その他の内容>	参加・協働の内容 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 古な活動と連携してし	•	動への協力に積極	工夫の具体的な内容 の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会 から事業の実施まで協働	会員と頻繁に情報	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事	が考えられる場合 業を市民スタッフ	(にはその内容)	●② ± O 3 ±	参加・協 当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理			○要 ●不要
・ 古足の参加わ古足との投稿	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ●⑤市民と共同で ⑥⑥その他	参加・協働の内容 二市民の参画有り 市民の参画有り 市民の参画有り 立市民の参画を 市民の参画を 市民の参画を で下来業を実施	•	動への協力に積極交換し、事業計画	の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会 から事業の実施まで協働 取組む内容	会員と頻繁に情報	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して	が考えられる場合業を市民スタッフ いただいた。 いただいた。 実施した具体的な	(にはその内容) との共同で実施し	●②当 ○③当 <期待	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理			
・協働のおけれているか? (体制づくり) エナスト (体制づくり) エナスト (体制が) (体	②事業実施時に ○③管果実施時に ○③管理、の自主的 ●⑤行用民と共同で ⑥⑥その他 <その他の内容> ■①自然環境を共有議 ■②生手質沼を意物と声	参加・協働の内容 二市民の参画有り 一市民の参画有り 一市民の参画有り 一市民の参画有り つな活動と連携してい で事業を実施 配慮の視点 こかしている ほしている ほしている	•	動への協力に積極 交換し、事業計画 主催者(博物館) 動への協力に積極	の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会 から事業の実施まで協働	会員と頻繁に情報 かで行なっている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及	が考えられる場合業を市民スタッフ いただいた。 実施した具体的な 事業への参加を通	にはその内容) との共同で実施し な内容 じて、市民スタッ	●②当 ○③当 <期待	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理	里由/期待以下 第一の配慮		
・ 市民の参加や市民との協働 工夫しているか? (体制づくり) 工夫	②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市内民と共 ○⑥その他 <その他の内容> ■①自然環境を4 □②生き物スを ■○2生き物スと共 ●	参加・協働の内容 二市民の参画有り 一市民の参画有り 一市民の参画有り 一市民の参画有り つな活動と連携してい で事業を実施 配慮の視点 こかしている ほしている ほしている	•	動への協力に積極 交換し、事業計画 主催者(博物館) 動への協力に積極	の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会から事業の実施まで協働 取組む内容 の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会	会員と頻繁に情報 かで行なっている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及	が考えられる場合業を市民スタッフ いただいた。 実施した具体的な 事業への参加を通	にはその内容) との共同で実施し な内容 じて、市民スタッ	●②± ○③± <期待 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理 環境	里由/期待以下 竟への配慮 た		○ 要
・協働のおけれているか? (体制づくり) エナスト (体制づくり) エナスト (体制が) (体	②事業実施時に ○③市民と共同で ○⑤・の他 ○○○・の中で ○○○○・の中で ○○○○・の中で ○○○○・の中で ○○○○・の中で ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協働の内容 二市民の参画有り 一市民の参画有り 一市民の参画有り 一市民の参画有り つな活動と連携してい で事業を実施 配慮の視点 こかしている ほしている ほしている	,v-5	動への協力に積極 交換し、事業計画 主催者(博物館) 動への協力に積極 交換し、事業計画	の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会から事業の実施まで協働 取組む内容 の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会 から事業の実施まで協働	会員と頻繁に情報 かで行なっている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及 可環境保全への意	が考えられる場合業を市民スタップ 業を市民スタップ いただいた。 実施した具体的な 事業への参ことが 競を高めることが な状況	にはその内容) との共同で実施し な内容 じて、市民スタッ	●②399 < 期待	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理 見定どおり 見定どおりでなかっ	里由/期待以下 竟への配慮 た		●不要
・協働のおけれているか? (体制づくり) エナスト (体制づくり) エナスト (体制が) (体	②事業実施時に ○③管果実施時に ○③管果実施時に ○③管界にの自主的 ●⑤行用にと共同で ⑥⑥その他 ○その他の内容 ■①自然環境を共有 ■②はき者物と美意 ■③3環境の他 ○その他の内容 現況値(a)(人)	参加・協働の内容 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 力な活動と連携してい 下事業を実施 配慮の視点 こいる ましている ましている ましている ましている	いる □①客観的なデ ■②現況値と比	動への協力に積極 交換し、事業計画 主催者(博物館) 動交協力に積極 交換し、事業計画 目標値の登記 マク・事実に基い値 でき設 マ実現性が乏しい値で	の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会 から事業の実施まで協働 取組む内容 の一員としてのの友の会 から事業の実施まで協働	会員と頻繁に情報 かで行なっている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及 の環境保全への意	が考えられる場合業を市民スタッフ 業を市民スタッフ いただいた。 実施した具体的な 事業への参加を通 識を高めることが	は	●②33 <期待 ○②33 <期待 ○②24 <想定 ○②2た ○②2た ○②2た ○②2た ○□2た ○□2た ○□2た □□2た □□2た	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理 歴史 とおりでなかった原 とおりでなかった原 となった原因>	理由/期待以下 竟への配慮 た 限因>		● 不要 ○ 要 ● 不要
・協働の工夫 環境に配慮して事業を進めいるか?	②事業実施時に ○②事業実施時に ○③管具の自主同の自主同の自主同の自主同の自主同の自主同の自主同で ●⑤市の他 ○③を表示の他 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	参加・協働の内容	いる □①客観的なデ ■②現況値と此 □③現況値との	動への協力に積極交換し、事業計画 主催者(博物館) 主動への協力に積極 主動への協力に積極 立動へのおいた。 「今・事実に乏しばるい。」 「今・事実に近しばいない 対象が有る場合、比較である	の一員としての市民スタの的な市民としての市民としての友の会から事業の実施まで協働 取組む内容 の一員としての市民スタの会から事業の実施まで協働 当性のチェック 定している はない 対象例における目標値(る	会員と頻繁に情報 かで行なっている。 ・ツフ及び博物館活 会員と頻繁に情報 かで行なっている。	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及 の環境保全への意 実績値(f)(人)	が考えられる場合 業を市民スタッフ いただいた。 実施した具体的な 事業への参加を通 識を高めることが 選ば率(%) (f/b×100) 82.31	はにはその内容)との共同で実施しなの共同で実施しなの共同で実施しない。 は内容 して、市民スタッ して、市民スタッ してきた。	●②3当 < 期待 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理 思定どおりでなかっ どおりでなかった原 とでなかった原 となった原因〉	理由/期待以下 竟への配慮 た 原因>	であった原因>	●不要 ○ 要 ● 不要
・協働の工夫 環境 (体制づくり) 環境に配慮して事業を進め いるか? (1)目標設定は適切か? 対 変。 (2)事業費削減の工夫をしいるか?	②事業実施時に ○②事業実施時に ○③常見にの自主にの自主にの自主にの自主にの自主にの自主にの自主にのを ●⑤市民と共の自主にのを 「○②を表現である。」 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○③を表現である。 ○②を表現である。 ○③を表現である。 ○②を表現である。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○③を表現できません。 ○③を表現できません。 ○③を表現できません。 ○③を表現できません。 ○③を表現できません。 ○③を表現できません。 ○③を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○③を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○②を表現できません。 ○○○を表現できません。 ○○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	参加・協働の内容 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り コな活動と連携してい で事業を実施 配慮の視点 こかしている ほしている ほしている はに貢献している	□①客観的なデ ■②現況値 ■②現況値との □④過少な比較	動への協力に積極を	の一員としての市民スタ 的な市民としての友の会 から事業の実施まで協働 取組む内容 の一員としての市民スタ 的な市民としての市民スタ から事業の実施まで協働	会員と頻繁に情報 がで行なっている。 「ツフ及び博物館活 会員となっている。 で行なっている。 と現況値の差)と 本の活用	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及 環境保全への意 実績値(f)(人) 321 実績値(g)(千円) 2,276 <超過理由等>	が考えられる場合 業を市民スタッフ いただいた。 実施した具体的な 事業を高めることが	は	●②3当 ●②3当 ● ①2 ■ ○ ② 期待 ● ○ ② 表 ● ○ ② 表 を 注 た セ タ ・ 本 変 表 達 と に ス ま ま 変 過 ・ こ ス ま ま 変 過	当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理 課定どおりりでなかった がでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とある減少があって 事業	理由/期待以下 竟への配慮 た (取因〉 たため。 養の削減対策 でごおりでな;	であった原因> について かった	● 不要
・協働の工夫との協働 (体制づくり) (体制づくり) (本制では、 (本制では、 (本制では、 (本制では、 (本制では、 (本制では、 (本制では、 (本)) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (② 事業実施時に ○③ 常果実施時に ○③ 常見 に に に い に い に い に い に い に い に い に い に	参加・協働の内容 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り コな活動実施 配慮の視点 こかしている ましている ましている はに貢献している はに貢献している はに貢献している はに貢献している はに貢献している はに貢献している にしている はに貢献している	□①客観的なデー ■②現況適と比 □③現況当なの水準 □①国・県財助で ■②現存管委託 □③銀持門委託	動への協力に積極を	の一員としての市民スタの会体を表現しての市民スタの会体を表現しての市民の会体を表現しての市民の会体を表現してのでのではない。 は性のチェック 定はない。 対象例における目標値(ななの分策 のののではない。 対象のではない。 対象のではない。 対象のではない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。	会員と頻繁に情報 がで行なっている。 「ツフ及び博物館活 会員となっている。 で行なっている。 と現況値の差)と 本の活用	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及 の環境保全への意 実績値(f)(人) 321 実績値(g)(千円) 2,276 <超過理由等> 友の会・市民スタ	が考えられる場合 業を市民スタッフ にただいた。 実施した具体的な 事業を高めることが	は	●②3当 (当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理 退定どおりでなかっ とまりでなかった原 となった原因>っ では、数の減少があっ 事業 ●①事前の想	理由/期待以下 竟への配慮 た 表の削減対策に 変できなかっ	であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要 要
・協働の工夫 環境(への配慮	②事業実施時に ○③常見に (3) (3) (3) (4) (4) (5) (6) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	参加・協働の内容 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り 二市民の参画有り コな活動と連携している またしている またまでは、またま	□① 客観的なデルコ ② 現況適 とい □ ② 現況適 とい □ ③ 現況当 の 事の 単、県 助 献 ■ ② 3 維 特 曹 季 正 ④ 3 東 4 ド 香 季 記 ・	動への協、事業計画 を	の一員としての市民スタの会所を開発しての市民としての市民としての方の会体を関する。 取組む内容の一員としての市民スタの会体を表現しての市民スタの会体を表現しての市民スタの会体を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	会員と頻繁に情報ので行なっている。 「マラスで博物館活験を関する。」 「マラスで「特別館」で行なっている。 「マラスで「特別館」で行なっている。 「マラスで「特別館」で行なっている。	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育普及 の環境保全への意 実績値(f)(人) 321 実績値(g)(千円) 2,276 <超過理由等> 友の会・市民スタ	が考えられる場合 業を市民スタッフ いただいた。 実施した具体的な 事業を高めることが	にはその内容 との共同で実施し で内容 で表 で表 できた。 「日本 「日本 できた。 「日本	●②3当 (当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待以下 した以上となった理 課定どおりりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 となる減少があっった原 の②事前の想	理由/期待以下 竟への配慮 た たたため。 養の削減りりでなった。 できなかっ 理由/用待以下	であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要
・協働の工夫 環境 (の配慮	○②事業実施時に ○③常見に (3) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	参加・協働の内容	□①客観的なデー ■②現現別値を比め □③現況値な比較 □○③現別当面等の水準 □○③集間制ので □○③集間内容 ○○③集間の内容 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	動への協、事業計画 ・ 主動を換し、事業計画 ・ 主動を換し、事業計画 ・ 主動を換し、事実に登している。 ・ 実施・ 事実がと値場かまがまがまかまでも、実施・ 予のか削減策の実施 ・ はないでは、比較である。 実施・ 予のか削減策の実施・ 一 ② 複数年度のの指標・標準・ で ② 複数年度のの指標・ 標準・ で ② 複数年度のの指標・ 標準・ で ② 複数年度のの指標・ 標準・ で ② 複数年度のの指標・ 標準・ で ③ ② 複数年度のの おおおいますがまた。	の一員としての市民スタ会的な市民スタ会的な市業の手民としま施まで協働を表した。 取組む内容であるで協働を表してのではないがある。 対象例における目標値(なまりのではないが多のにおける目標値(なまりを表してである。 「この対策を表して、では、できるのものではないがある。」では、「おきないがある」というないがある。「おきないがある」では、「もないがある」では、「もないが、「もないがある」では、「もないがある」では、「もないが	会会員と頻繁に情報ので行なっている。 「ないので行なっている。」 「ないので行なっている。」 「ないので行なっている。」 「ないので行なっている。」 「ないのだった。」 「ないので行なっている。」 「ないのだった。」 「ないので行ないので行ない。」 「ないので行ないので行ない。」 「ないので行ないので行ない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないのではいる。」 「ないのではいる」 「ないのではいる」 「ないのではいる。」 「ないのではいる。	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育音及 の環境保全への意 第21 実績値(g)(千円) 2,276 <超過理由等> 太の会・市民スタ	が考えられる場合 業を市民スタッフ と ま ま に ただいた。 実施した具体的な 事業を 高めることが を 大状況 達成率(%) (f/b×100) 82.31 を 状況 98.15 ッフともに員数の な 大状況 対事集費(%) (g/c)×100 98.15	は	●②3当 (当初期待した以上 当初期待したとおり 当初の期待したとおり した以上となった理 退定 どおりでなかった原 と変ぎおりでなかった原 となる減少かがあった原 となる減少かがあった原 を で の ② 事 範 初の り 肖	理由/期待以下 竟への配慮 た たたため。 養の削減りりでなった。 できなかっ 理由/用待以下	であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要 要 要
・協働の工夫 環境(への配慮	② ② 事業実施時に ○ ③ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	参加・協働の内容	□① 客報観的なと比 ■② 現現通値と比 □③ 現現通値をの軟準 □① 国・有持管委託 ○ 削減の内容 ● 費用単位 10万円	動への協、事業計画 ・主催者(博物館) ・主動への協、事業計画 ・主動への協・事業計画 ・主動へのといるである。 ・主動へのといるである。 ・事性に乏しては、いまである。 ・事性がよがする場合、比較である。 ・実施予り対対の実施 ・「単年度のお指標・である。 ・「単年度ののお指標・である。 ・「単年度ののお指標・である。・「単年をである。・「単年をである。」 ・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「	の一員としての市民スタの会情的な事業の事務を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	会会員と頻繁に情報ので行なっている。 「ないので行なっている。」 「ないので行なっている。」 「ないので行なっている。」 「ないので行なっている。」 「ないのだった。」 「ないので行なっている。」 「ないのだった。」 「ないので行ないので行ない。」 「ないので行ないので行ない。」 「ないので行ないので行ない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないので行ないのできない。」 「ないのではいる。」 「ないのではいる」 「ないのではいる」 「ないのではいる。」 「ないのではいる。	実施した参加 参加・協働 多様な教育普及事 会委員に参加して 博物館の教育音及 の環境保全への意 第21 実績値(g)(千円) 2,276 <超過理由等> 太の会・市民スタ	が考えられる場合 業を市民スタッフ と ま ま に ただいた。 実施した具体的な 事業を 高めることが を 大状況 達成率(%) (f/b×100) 82.31 を 状況 98.15 ッフともに員数の な 大状況 対事集費(%) (g/c)×100 98.15	は	●②3当 (当初期待した以上 当初期待した以上 当初期的期待したとおり した以上となった理 見定どおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 とおりでなかった原 となっ減少が事前前のり ○②事をとなっっつ 本の規 を注したとなっっつ	理由/期待以下 竟への配慮 た たたため。 養の削減りりでなった。 できなかっ 理由/用待以下	であった原因> について かった た原因>	● 不 要 要 要

	1 — F	1442				1604		·種別				I	予算σ	ノ性類 L	□政策		
4 1814	巻の極亜 (DLAN)				<u> </u>												
1. 争;	業の概要(PLAN)		基本事業					Т	実施計画	io Ø							
		①事業名		鳥類生息状	犬況調査				夫施計画 位置づ		0 7	有 ●無	(②部課名	生涯学習部	・鳥の博物館	
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	○その他	<u>μ</u> ()	④対象地区 ⑥担当職員		□我孫子]湖北 2 人	□新木 (換算人数	□布佐	●全市	
(1)事業概	【 要	(7)事業費				~					(当 初)		<u>ィス</u> 48 千円	(授昇人剱		1,760 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(開始	1)年度	(変更後)	2, 36	68 千円	(うち人件費		1,760 千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策コード		51201	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし		基本計画は計画への位		●4	有 〇無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	生涯学習推進計	画
(2)目的		施策目的・				┃ が行う生涯学習関連事業の体系化 攺施策を総合的に推進します。ま			事業目	60		の調査を実施し、那 きるように調査研究			化をモニタリ	リングするととも	に、その結果を
(2)日的		展開方向	制の充実を	図るととも	に、他の自治体	以旭泉を総合的に推進しまり。ま や市民団体、大学、研究機関、企 環境の特性や変化を客観的に把握	業などとの連携を強化する	ど、市	尹未日	TEN .	調査回数	さるように調宜研究	がおいますで	牧日9 る。			
			からサンプ	リングした		定期的なセンサスを実施する。結			当該年	连	阿直巴奴						
(3)事業内	1宏	内容	及し、誰で	で関見、不	可用 くと るみ ブミ	9°0°			執行計								
(0) 4 30 1	, ,							-		_	年間調査回数:	2調査地×1回/月×	12月=24回	/年		想定值	24
									当該年 活動結果		TIPIDZELW.	- LUJE - D · · · LUJ / / / · ·		, 1	単位	実績値	
(4)達成目	標(期待する成果)	手賀沼周辺、我孫	フェロの公決	田の自転割		票(期待する成果)			指標種	類	調査回数	指	標		単位		(6)目標値
当該年		手賀沼周辺、我孫							直接		調査回数					14	
令和 2		手賀沼周辺、我孫							直接		調査回数						24
令和 3	3年度					クルを立ち上げて、充分な調査人	、員を確保する。		直接	ŧ							24
(7)事業実	『施上の課題と対応								代替案材	倹討	O4	有 ●無					
		:	平成30年	F度		 .	平成31年度	1	_;		令和	1 2年度		_ :	令和	1 3年度	
		策	内 容		金額(千円)	政 策 (経常)	予算額(千円)	決算額(- 本:	(経常)	内 容	\$	金額(千円)	策(経常)	内 容	Į.	金額(千円)
		「「「」「」 嘱託職員報酬 嘱託職員社会係	2 除		422 54	嘱託職員報酬 嘱託職員社会保険	423 83		423	嘱託職員	員報酬 員社会保険		42				423 64
		嘱託職員雇用係 嘱託職員費用系	除		5	嘱託職員雇用保険 嘱託職員費用弁償	6		5	嘱託職員	量雇用保険 量費用弁償			5 嘱託職員雇 7 嘱託職員費	用保険		17
		市民スタッフ幹			9	市民スタッフ報償費	72		7		タッフ報償費			7 市民スタッ 2 消耗品			72
(n) +- <- ±	実施内容																
(8)施行事	費用																
	予算(決算)額 国庫支出金	: 	計	0 %	587		608		584 0 *i	補助率	合 計	0 %	58	8	合 計	0 %	588
	県支出金	補助率		0 %	0	補助率	0 % 0 0 % 0		0 ¥i	補助率 充当率		0 %		0 補助率 0 充当率		0 %	
(9) 財源内	7訳 一般財源 その他の財源		益 口基金 口名		587 0	75= 1	608		584		☆ □受益 □基金		58	18	□受益 □基金		588
(10) I /#L#	換算人数(人)				0. 2 1, 760		0. 2 1, 760		0. 2 1, 760				0. 1, 76	2			0. 2 1, 760
(10) 人件者	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				498 0		505 0		505 0					0			505 (
(11)単位			97. 79千円		2, 347	98. 67 ← ₽	2, 368 ⊐∠回		2, 344				2, 34	18			2, 348
	養/活動結果指標) 業の評価 (DO+CHECK))				33.3711											
	評価項目	l															
					事前	前 評 価					事後 評	価(評価結果に応し	じ、改善案	検討(拡充も含む	3))		改善検討
			鳥が減少して	おり、鳥类		か 評 価 息状況の調査は、人間自身の生活	5環境を保全する上でも重要		事前確認で 事前確認で		<u></u> どおり		じ、改善案	検討(拡充も含む	3))		改善検討
	事業が今必要である理由・ 情景は?(事業の必要性)	近年、手賀沼の水 生物指標となる。	鳥が減少して	おり、鳥类			f環境を保全する上でも重要	02	事前確認で	の想定と		:	シ、改善案	検討(拡充も含む	3))		改善検討 ○要 ●不要
		生物指標となる。			頃を対象とした生		5環境を保全する上でも重要	O② <想知 手賀》	事前確認で 定どおりとし 沼の環境の3	の想定と した理由 変化を鳥	どおり どおりでなかった /想定どおりで: 類を指標として:	: なかった原因> モニタリングするこ	とは、引き	き続き重要である	と考えられる		〇要
必		生物指標となる。 〇①民間企業、N (理由) □法令等	IPO、市民団 で市が実施す	団体等では ることが気	頭を対象とした生) 実施できない		5環境を保全する上でも重要	○② <想類 手賀》 ■②	事前確認で 定どおりとし 沼の環境の3)民間企業、)市が主導で	の想定と した理由 変化を鳥 NPO、 進めなけ	どおり どおりでなかった /想定どおりで: 類を指標として: 市民団体等では ナれば実効性がな	: なかった原因> モニタリングするこ :実施できなかった	とは、引き <市実施 専門知識	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職員が実	と考えられる 必要性の理E E施することに	b >	○要 ●不要
要		生物指標となる。 〇①民間企業、N (理由) □法令等	IPO、市民団 で市が実施す [,] 体が市しかな!	団体等では ることが気	頭を対象とした生) 実施できない	息状況の調査は、人間自身の生活	5環境を保全する上でも重要	○② <想玩 手賀 ? □① □② □③	事前確認で 定どおりとし 召の環境の 別 民間企業、 の市が先導役 促進された	で の 想 定 と した 理 由 変 化 を 鳥 N P O 、 進 な っ た き と な っ た き と こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	どおりでなかった どおりでなかった /想定どおりでご 類を指標としてご 市民団体等では ければ実効性がな こことで市民へ普	たなかった原因> モニタリングするこ 実施できなかった なかった そ及が一層	とは、引き <市実施 専門知識	き続き重要であるの具体的な内容・	と考えられる 必要性の理E E施することに	b >	○要 ●不要
性 (2)市		生物指標となる。 〇①民間企業、N (理由) 口法令等 口提供主 口その他 ●②自治体である	JPO、市民団で市が実施する体が市しかない	団体等では ることが気 い いきである	頁を対象とした生/ 実施できない Eめられている	息状況の調査は、人間自身の生活	f環境を保全する上でも重要	○② <想算 ■② □③ □③ □④ ■⑤	事前確認で ことの環境といる において、 において、 において、 には、 にはいて、 にはいて、 にはいて、 にはいて、 にはいて、 にはいて、 にはいて、 にはいて、 にはいて、	での想定と し変 N 選と D の は の は の は の は の は た に 、 の に の に が た に が た に が た に が た に が た 。 に が た が た に が た が に が に が に が に が に が に	どおりでなかった と対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しています。 本のは、対しては対しては対しては、対しては対しています。 本のは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった かった F及が一層	とは、引き <市実施 専門知識	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職員が実	と考えられる 必要性の理E E施することに	b >	○要●不要
要 性 (2)市 あ	が実施する必要性は 5が実施する必要性は	生物指標となる。 ○①民間企業、 N (理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主 ■市が実	IPO、市民団で市が実施すべる。 ・選挙すべきでで進めるこのでで、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・選が、 ・でで選が、 ・でで選が、 ・でで選が、 ・でで選が、 ・でで選が、 ・でで選が、 ・でで選が、 ・でででででででででででででででででででが、 ・ででででででででででででででででが、 ・でででででででででででが、 ・でででででででが、 ・ででででででが、 ・ででででででが、 ・ででででででが、 ・でででででが、 ・でででででが、 ・ででででが、 ・ででででが、 ・ででででが、 ・ででででが、 ・ででででが、 ・でででが、 ・でがが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でがが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でが、 ・でががが、 ・でががが、 ・でがががががががががががががががががががががががががががががががががががが	日体等では ることが気 い くきである とによりり ことにより	頁を対象とした生/ 実施できない Eめられている	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容>	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	○② <想 (表) (表) (表) (本)	事前確認で といる といる といる といる といる といる といる という にいる という にいる という にいる という にいる という	の想定とし変化 トロック トロック トロック トロック トロック トロック ・ の はった ・ で の はった ・ で は の はった ・ で は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	どおりでなかった どおりでなかった グ想定どおりでき 類を指標として 市民団体等では ければ実効性がな もことで市民へ を策の目標の実現	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった かった F及が一層	とは、引き <市実施 専門知識	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職員が実	と考えられる 必要性の理E E施することに	b >	○要 ●不要
要性(2)市あ	背景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性は うるか?	生物指標となる。 〇①民間企業、「等に対しては、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	IPO、市床民で で市が市しかない 体ががまになって いまでを はなります。 いまで は は いまに は いまに な ります。 こ る れ で る れ で る れ で る れ で る れ で る れ で る れ で る れ で る る れ て る る れ に る る る る る る る る る る る る る る る と の る る と 。 と の る る と 。 と の る る と 。 と の と る と 。 と の と る と 。 と の と る と 。 と 。 と る と 。 と 。 と る と る と 。 と 。	日体等ではることが気い い くきでありまり とことにより る	頁を対象とした生/ 実施できない とめられている	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容>	f環境を保全する上でも重要	○② <想 (表) (表) (表) (本)	事前確認でとる 民間が発生を表現 との 民間が発生を支援が発生を支援が発生を支援があるという はいかけ かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	の想定とし変化 トロック トロック トロック トロック トロック トロック ・ の はった ・ で の はった ・ で は の はった ・ で は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	どおりでなかった と対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しています。 本のは、対しては対しては対しては、対しては対しています。 本のは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった かった F及が一層	とは、引き <市実施 専門知識	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職員が実	と考えられる 必要性の理E E施することに	b >	○要●不要
要性(2)市あ	背景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性は うるか?	生物指標となる。 〇①民間企業、「等に対しては、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	IPO、市民時で市が実施する。 で市が市しかない 体が市しかない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	団体等ではないい ることがない さきであるりましたとこと とにより なる より政策・	質を対象とした生が実施できない。 実施できない。 とめられている。 と効性が得られる り、良質で安定した。	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容>		○② <想到 手質 □① □② □③ □④ □⑥ □⑦ <その	事前確認でとりる。 では、 という	fの しを N進と のなっ が定 のなっ ・確保 が定 人	どおりでなかった と対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しています。 本のは、対しては対しては対しては、対しては対しています。 本のは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	たなかった原因> モニタリングするこ 実施できなかった かった そみが一層 記に貢献した	とは、引き <市実施 専門知識	き続き重要である の具体的な内容・ を持った職員が実 行うことができた	と考えられる 必要性の理E 変施することに	B> こより、より精度	○要●不要
要 性 (2)市 あ (7	背景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性は うるか?	生物指標となる。 ○①民間企業、N (理由) □法令主 □その他 ●②自治体である。 (理由) □市が主 ■市が実 サービ、□市が実 実現が □その他 ○①事業計画時に	IPO、市民団で市が実施ないでは、市が推進することでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	日体等ではない ることがない きさによにに とこる より政策・ の内容 可り	質を対象とした生が実施できない。 実施できない。 とめられている。 と効性が得られる り、良質で安定した。	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体 オオパン生息調査やオオョシ=	本的な内容 キリさえずり地点調査は、17	○② <想 (2) 「(3) 「(4) 「(5) 「(5) 「(7) 「(7) 「(7) 「(7) (7) (8) (9) (9) (1) (1) (1) (1) (1) (1	事前確認 といる	の し変 N進と 出鳥 しいか がで いか で いん で の で が で で が で で が で は 多い かん で い かん で いん かん しゃ かん しゃ かん かん しゃ かん	どおりでなかった とおりでなかった を指標としている。 を指標としている。 では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった かった そ及が一層 記に貢献した した	とは、引き く市実施 専門知識 い調査を	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職員が実 行うことができた 参加・協 の期待した以上	と考えられる 必要性の理E E施することに	B> こより、より精度	○要●不要
要性 (2)市あの(で	背景は?(事業の必要性) が実施する必要性は うるか? 市実施の必要性)	生物指標となる。 〇①民間企業、「等に対しては、「理由」には、「は、「は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	IP O が実施 がました で体が が進機関の で体が が進機関立 るれに がまられ がまられ がまられ がまられ が 参参参 き市民の 市民の で で で ない は い は い は い は い は い は い は い は い は い	日体等では対 ることにとしているよりは、策・ とこともの内容 ではばり、 ないではは、策・	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体	本的な内容 キリさえずり地点調査は、17	○② 	事前確認 といる	の し変 N進と 政準安 トがして N進と の準安 トが代 Manuella Manuel	どおりでなかったどおりでなかったができませまりでなかったができませましています。 民族 ちゅう はいまればとで 日標 のまれが 確保 さればと ではない はいまればといる はいない はいない はいない はいない はいない はいない はいない はい	なかった原因> モニタリングするこ ミ実施できなかった たかった 活及が一層 引に貢献した した	とは、引き < 市実施 専門知識を い調査を ○①①当者 ●②2000	き続き重要である の具体的な内容・ を持った職員がす 行うことができた	と考えられる 必要性の理E 変施することに	B> こより、より精度	● 乗要 要 ● 不要 ● 不要 ● 不要
要性 (2)市あ(下	背景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性は うるか?	生物指標となる。 ○①民間企業、N等 □法令第主□日表(理由)□提供の他 ●②自治口市が実・サー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	IPPO、実施の で体がでは、 で体がでは、 で体がでは、 では、 で体がでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	日体等では対 ることにとしているよりは、策・ とこともの内容 ではばり、 ないではは、策・	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体 オオパン生息調査やオオョシ=	本的な内容 キリさえずり地点調査は、17	○② 	事前確認 といる では といる には できない といる できる 民市市保市の一年 にから といる できる には できる できる といる といる こく かい という こく いっぱい という こく いっぱい という こく いっぱい という こく いっぱい という にいい という こく いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	の し変 N進と 政準安 トがして N進と の準安 トが代 Manuella Manuel	どおりでなかったどおりでなかったができませまりでなかったができませましています。 民族 ちゅう はいまればとで 日標 のまれが 確保 さればと ではない はいまればといる はいない はいない はいない はいない はいない はいない はいない はい	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった かった そ及が一層 記に貢献した した	とは、引き く市実知識 い調査を ○①当者 ●②当者	き続き重要である の具体的な内容・ を持った職員が実 行うことができた 参加・協 の期待した以上	と考えられる 必要性の理ほ 実施することに	自> こより、より精度	● 要要要● 不要要要● ● 不要要
要性 (2)市あ(下	が実施する必要性は 5が実施する必要性は 5るか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	生物指標となる。 〇①民間企業、「等に対しては、「理由) □ は 提供の他 ●②自治 □ 市市 サーが 表でです。 実 の他 ○①事業計画時に ●②事理理のと共同で、○③管市市民として、○ののものです。 で の ま で の も で の も で で の も で の も で の も で の も で の も で の も で の も で の も で の も で の も で で い の も で い い い い い い い い い い い い い い い い い い	IPPO、実施の で体がでは、 で体がでは、 で体がでは、 では、 で体がでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	日体等では対 ることにとしているよりは、策・ とこともの内容 ではばり、 ないではは、策・	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体 オオパン生息調査やオオョシ=	本的な内容 キリさえずり地点調査は、17	○② 	事前確認 といる では といる には できない といる できる 民市市保市の上の他の内 にかっている にいる できない といる できない といる できない といる できない といる できない という できない という できない という こう	の し変 N進と 政準安 トがして N進と 大ので N進と 大ので が定 協考い。 Manuella Manuela M	どおりでなかったどおりでなかったができませまりでなかったができませましています。 民族 ちゅう はいまればとで 日標 のまれが 確保 さればと ではない はいまればといる はいない はいない はいない はいない はいない はいない はいない はい	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった かった そ及が一層 記に貢献した した	とは、引き く市実知識 い調査を ○①当者 ●②当者	き続き重要である の具体的な内容・ を持った職員が実 で持ったとができた 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり 切の期待以下	と考えられる 必要性の理ほ 実施することに	自> こより、より精度	● 要要要● 不要要要● ● 不要要
要性 (2)市あ(下	が実施する必要性は 5が実施する必要性は 5るか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	生物指標となる。 ○①民間企業、N等 □法令第主□日表(理由)□提供の他 ●②自治口市が実・サー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	IPPO、実施の で体がでは、 で体がでは、 で体がでは、 では、 で体がでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	日体等では対 ることにとしているよりは、策・ とこともの内容 ではばり、 ないではは、策・	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体 オオパン生息調査やオオョシ=	本的な内容 キリさえずり地点調査は、17	○② 	事前確認 といる では といる には できない といる できる 民市市保市の上の他の内 にかっている にいる できない といる できない といる できない といる できない といる できない という できない という できない という こう	の し変 N進と 政準安 トがして N進と 大ので N進と 大ので が定 協考い。 Manuella Manuela M	どおりでなかったどおりでなかったができませまりでなかったができませましています。 民族 ちゅう はいまればとで 日標 のまれが 確保 さればと ではない はいまればといる はいない はいない はいない はいない はいない はいない はいない はい	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった かった そ及が一層 記に貢献した した	とは、引き く市実知識 い調査を ○①当者 ●②当者	き続き重要である の具体的な内容・ を持った職員が実 で持ったとができた 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり 切の期待以下	と考えられる 必要性の理ほ 実施することに	自> こより、より精度	● 要要要● 不要要要● ● 不要要
要性 (2)市あ(下	が実施する必要性は 5が実施する必要性は 5るか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	生物指標となる。 〇①民間企業へ等には、 一のでは、 一のでは	IP O 、	日体等では気にあるいい さきであるり は まとこと ひ 政策・・ でありまり 策・ でありまり い な 容 で ありまり り で いる	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 〈その他の内容〉 〈その他の内容〉 た 工夫の具々 オオパン生息調査やオオヨショスタッフと協働して行なってし	本的な内容 キリさえずり地点調査は、1 いる。 む内容	○② < 想質 ■② ② ③ ③ ③ ③ ③ ⑤ ⑥ ⑥ ⑤ ⑦ ⑦ ○ < そ 6 ⑥ ⑥ ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	事を招の民市市保市サナーを加め、では、業導導・程名の民市市保市サナーを加め、は、業導導・程名のエービの他のは、一般のでは、できるでは、一般のでは、できるでは、一般のでは、できる。 こうしゅう しゅうしゅう とり はいません はいません はいません はいまい しゅうしゅう しゅう	の し変 N進と の 大化 Pめな 策が定 ・がてスラ同 を 他 M M M M M M M M M M M M M	どおりでなかった / 想を指している。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 を変える。 なののでは、 をいる。 なののでは、 ないのでは、	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった たかった F及が一層 はに貢献した した (又は今後、 その内容) ドオオヨシキリの生 会、我孫子野鳥を守	とは、引きく 本門知査を マード を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職員が実行うことができた 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり の期待したとおり のの期待以下	と考えられる 必要性の理ほ 実施することに	自> こより、より精度	● 要要要● 不要要要● ● 不要要
要性	が実施する必要性は 5が実施する必要性は 5るか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	生物指標となる。 〇①民間企業、等生産のでは、 ・	IPPO、実施のでは、	日体等では気にあるいい さきであるり は まとこと ひ 政策・・ でありまり 策・ でありまり い な 容 で ありまり り で いる	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具々 オオバン生息調査やオオヨシ= スタッフと恊働して行なってし	本的な内容 キリさえずり地点調査は、T いる。 む内容 するための基礎データになる	○② < 想質 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	事を招の民市市保市サナーを加め、では、業導導・程名の民市市保市サナーを加め、は、業導導・程名のエービの他のは、一般のでは、できるでは、一般のでは、できるでは、一般のでは、できる。 こうしゅう しゅうしゅう とり はいません はいません はいません はいまい しゅうしゅう しゅう	の し変 N強と Li 改準安 / 加働し民と 変量 を Li と 由鳥 O、to が 花供 協考いって 施に 地に と 由鳥 O、to が 花供 協考いって しよ	どおりでなかった / 想を指している。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 を変える。 なののでは、 をいる。 なののでは、 ないのでは、	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった たかった F及が一層 はに貢献した した (又は今後、 その内容) ドオオヨシキリの生 会、我孫子野鳥を守	とは、引流 く市実知識を ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職員が実行うことができた 参加・協 の期待した以上 の期待したとおり の期待したとおり のの期待以下	と考えられる 必要性の理理 に応することに 動の程度・ 体	自> こより、より精度	● 要要要● 不要要要● ● 不要要
要性 参加·協働の工夫 環境へ	では?(事業の必要性) が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リゴくり)	生物指標となる。 〇①民間 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P で体	日体等では対対 ありよい さきでよによ 政 容 の 内 り り り い い る り よ 策・ の の り り り り り い い る	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具体 オオパン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってし 取組む 我孫子市の環境の現状を把握す	本的な内容 キリさえずり地点調査は、T いる。 む内容 するための基礎データになる	○② < 想質 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	事 を召 民市市保市サウチの 実 参明 を は 業 導導 は との との との との との でき は 、での は 、での は 、での は 、での は 、での は 、 での は 、 に は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は	の し変 N強と Li 改準安 / 加働し民と 変量 を Li と 由鳥 O、to が 花供 協考いって 施に 地に と 由鳥 O、to が 花供 協考いって しよ	どおりでなかった / 想を指している。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 を変える。 なののでは、 をいる。 なののでは、 ないのでは、	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった たかった F及が一層 はに貢献した した (又は今後、 その内容) ドオオヨシキリの生 会、我孫子野鳥を守	とは、引きく マード	き続き重要である の具体的な内容・ を持った職の関係できた を持ったとができた 参加・協 の期待した以上 の別の期待したと下 た以上となった理	と考えられる 必要性の理は 実施することに 動の程度・ 体 動の程度・ の配慮	自> こより、より精度	● 要要要要要要要要要
要性 参加·協働の工夫 環境へ	では?(事業の必要性) が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リゴくり)	生物指標となる。 〇①民間企業令主他 〇②田由) □ 本帝主他 〇②田由) □ 本帝主他 〇②田由) □ 本帝市中市が東現の □ 全の他 ○②3曾市市の ○③の本帝のの内容である。 □②生き物のを □②生手費のとを □③生手費のとを	P で体	日体等では対対 ありよい さきでよによ 政 容 の 内 り り り い い る り よ 策・ の の り り り り り い い る	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具体 オオパン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってし 取組む 我孫子市の環境の現状を把握す	本的な内容 キリさえずり地点調査は、T いる。 む内容 するための基礎データになる	○② < 想質 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	事 を召 民市市保市サウチの 実 参明 を は 業 導導 は との との との との との でき は 、での は 、での は 、での は 、での は 、での は 、 での は 、 に は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は	の し変 N強と Li 改準安 / 加働し民と 変量 を Li と 由鳥 O、to が 花供 協考いって 施に 地に と 由鳥 O、to が 花供 協考いって しよ	どおりでなかった / 想を指している。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 を変える。 なののでは、 をいる。 なののでは、 ないのでは、	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった たかった F及が一層 はに貢献した した (又は今後、 その内容) ドオオヨシキリの生 会、我孫子野鳥を守	とは、引きく マード	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職できた を持ったとができた の別期待したとおり の別期待したとおり のの期待以下 た以上となった理 定どおりでなかっ	と考えられる 必要性の理は 実施することに 動の程度・ 体 動の程度・ の配慮	自> こより、より精度	●
要性	では?(事業の必要性) が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リゴくり)	生物指標となる。 〇①民間ロコロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ	P で体	日体等ではが気 ありまい でありよ 策・ ではにと 政 容 の 内 り り り い い る り い な な れ な な な れ な な な れ な な な な な な な な	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定して ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具体 オオパン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってし 取組む 我孫子市の環境の現状を把握す	本的な内容 キリさえずり地点調査は、T いる。 む内容 するための基礎データになる	○② < 想質 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	事 を召 民市市保市サウチの 実 参明 を は 業 導導 は との との との との との でき は 、での は 、での は 、での は 、での は 、での は 、 での は 、 に は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は	の し変 N強と Li 改準安 / 加働し民と 査査 に 出鳥 O、to が 花供 協考いって 施に 地場 しよ	どおりでなかった / 想を指している。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 を変える。 なののでは、 をいる。 なののでは、 ないのでは、	なかった原因> モニタリングすること にタリングすること にかったた にかったた 層 は、 こう 献した にないる にできなかった にないる にできなかった にないる にできなかった にできなかった にできなかった にではないる にできなかった にできなかった にではないる にできなかった にではないる にできながった にできない。 に悪影響を与えない	とは、引きく マード	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職できた を持ったとができた の別期待したとおり の別期待したとおり の別期待したとおり た以上となった理 定どおりでなかっ	と考えられる 必要性の理は 実施することに 動の程度・ 体 動の程度・ の配慮	自> こより、より精度	● 要要要要要要要要要
要性 参加·協働の工夫 環境へ	では?(事業の必要性) が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リゴくり)	生物指標となる。 〇①民間ロコロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ	P で体	日本 さい さい かい でき ではが あいまい まい かい かい でき でんしい かい	裏施できない 実施できない をめられている を効性が得られる り、良質で安定し; ・施策の目標の	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具体 オオパン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってし 取組む 我孫子市の環境の現状を把握す	本的な内容 キリさえずり地点調査は、T いる。 む内容 するための基礎データになる する。	○② 表質 ①②③ ④⑤⑥⑦⑦ < その に t 状会 が	事を召の民市市保市サウモの 実 参回説 との 、で役たが水の 字 参協施 日 との 、で役たが水の 字 参協施 日 との 、で役たが水の 字 参協施 日 との はんしした カード・ 東市民 と	の し変 N進と 政準安 / 加働し民と 実員 成状 と 由鳥 し、 が 作供 働えて タ 同 し よ と い が で は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は 大 に は た に は に は	どおりでなかった / 想を指している。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 本語のでは、 を変える。 を変える。 なののでは、 をいる。 なののでは、 ないのでは、	なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった たかった F及が一層 はに貢献した した (又は今後、 その内容) ドオオヨシキリの生 会、我孫子野鳥を守	とは、引き マ市門調査を ・ 本門調査を ・ 本記 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本	き続き重要である。 の具体的な内容・ を持った職できた を持ったとができた の別期待したとおり の別期待したとおり の別期待したとおり た以上となった理 定どおりでなかっ	と考えられる 必要性の理は 実施することに 動の程度・ 体 動の程度・ の配慮	自> こより、より精度	● 要要要要要要要要要
要性参加・協働の工夫環境への配慮 環境の配慮	では?(事業の必要性) が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リゴくり)	生物指標となる。 ○①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	RP O が が は 提 W S N T T T T T T T T T T T T T T T T T T	日本さい きさにるよ りの りょうりも 見点 る (回)	裏施できない。 実施できないる。 実効性が得らない。 を効性が得らなとし、 を対し、 をがし	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> <その他の内容> た エ夫の具体 オオパン生息調査やオオヨシニスタッフと協働して行なってし 取組む 我孫子市の環境の現状を把握すうな鳥類生息状況調査を実施である。 東現性が乏しい値ではないが小さい値ではない。	本的な内容 キリさえずり地点調査は、↑ いる。 む内容 するための基礎データになる する。	○② 表質 ①②③ ④⑤⑥⑦⑦ < その に t 状会 が	事を召の民市市保市ササチをの 実を回記と との 大き 神宗市民 は 東海神 代表スス を 協議市民 は に ししん かっていま かっていま かっていま かっていま かっていま は まんしん は 東海 は は に (f)()()()()()()()()()()()()()()()()()()	の L変 N進と mx進安 / 加働LRと 査	どおりでなかっただけます。 ままり では おりでなかった がくています は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	はなかった原因> モニタリングすること にまり、カードをできなかった。 は実施でた をはなが一層 はこ で はいなが一層 はこ で はいなが一層 はいます。 はいながらない。 で はいながられている。 で はいないる。 で はいないるはいるいる。 で はいないるいるはいるいるはいるいるはいるいるはいるいるはいるいるはいるいるいるはいるいるはいる	とは、 引流 施識を く 専い	き続き重要である。 の具体のた職できた の内容は大行うことができた 参加・協 の期待したと下 の別期待したと下 た以上となった理 定どおおりでなかった原 成ととなった原	と考えられる必要性の理とに変しています。	B>により、より精度	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
要性参加・協働の工夫環境への配慮 環境の配慮	が実施する必要性は るか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リづくり)	生物指標となる。 〇①民間の日本 (理由) 日本 (主義) (主義) (主義) (主義) (主義) (主義) (主義) (主義)	P で体	日体 等と おい さきにと め 内 り 可可可可 し	裏施できない。 実施できないる。 実効性が得らない。 を効性が得らなとし、 を対し、 をがし	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> <おかいと協働して行なってし すオバン生息調査やオオヨシースタッフと協働して行なってし 取組む 我孫子市の環境の現状を把握でうな鳥類生息状況調査を実施で 実現性が乏しい値ではない がからい値ではないないなが有る場合、比較対象例におけるある	本的な内容 キリさえずり地点調査は、↑ いる。 む内容 するための基礎データになる する。	○② 表質 ①②③ ④⑤⑥⑦⑦ < その に t 状会 が	事を召の民市市保市サナミの東京の関係を表現しています。 との 大き はい との 大き はい という 大き はい	の L変 N進と m進安 / 加働LRと 査	どおりでなかった	なかった原因> モニタリンするこ は実施できなかった たかかった F及が一層 はて、	とは、引き く専い (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	き続き重要である。 の具体のた職できた の内容は大行うことができた 参加・協 の期待したと下 の別期待したと下 た以上となった理 定どおおりでなかった原 成ととなった原	と考えられる必要性の理とに変しています。	B>により、より精度	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
要性参加・協働の工夫環境への配慮 環境の配慮	が実施する必要性は るか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リづくり)	生物指標となる。 ○①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	RP の が	日体等と でありよ 年 でんぱん でんぱん でんぱん でんぱん からし でんじん 政 容 でんじん 政 容 でんぱん 策 でんぱん でんぱん でんぱん でんぱん でんぱん でんぱん でん	裏を対象とした生が実施できない。 実施できないる を効性が得らない。 を効性が得ら安定の目標の のののでは、 のののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののでは、	息状況の調査は、人間自身の生活 <その他の内容> <その他の内容> <おかがような鳥類生息状況調査を実施する場合としている実現性が乏しい値ではない。 まの様の表質性が乏しい値ではないがからい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではない。またとしい値ではないがからもの対策	本的な内容 キリさえずり地点調査は、↑ いる。 む内容 するための基礎データになる する。	○② <	事を召の民市市保市ササチアの実施では、東京のではでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のではではでは、東京のではでは、東京のでは、東京のでは、東京のではでは、東京のではではでは、東京のではでは、東京のではではではでは、東京ではではではではではではではではではではではではではではではではではではでは	の L変 N進と D変 / 加働LRと 変 を	どおりでなかった	はなかった原因> モニタリンすること できなかった にかがした できなかった できなかった できなかった ではなかった ではなかった ではなかった ではなかった ではない。 ではない。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内す。 では、その内では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	と	き続き重要である。 の具体的な職の特別のできたができた。 を行うことができた 参加・協 の期期待したいと下 にたいといない。 を定とがよりのでなった。 の表達したのである。 のは、	と考えられる 必要性の理とに 変施することに 動の程度・ 内 胆由/期待以 一 競への配慮 た での 調本 での 調本 での に での	Bンにより、より精度 であった原因>	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 市工(体 環い (1)	が実施する必要性はあるか? 市実施の必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? リゴくり)	生物指標となる。 〇①民間企業会集化 ●②自治 □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P で体 が で が で が で が で が で が で が で が で が で	日体 さい さきにと り 内 り すりり し	東を対象とした生が実施できない。 まかり、変別のは、できない。 を対し、を表している。 を対し、を表している。 を対し、を表している。 を現現適等ののは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 本オイバン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってします。 取組起表系子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 ないがいさい値ないい。 ながれる場合、比較対象例における ある 実施予定の対策 度活用 図⑤ P F 対応	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 いる。 な内容 するための基礎データになる する。 ひ ク ナる目標値(と現況値の差)と こ I 等民間資本の活用 益者負担	○ ②	事 定召 民市市保市サナモの 実 参すする 民市市保市サナモの 実 参すする 日本市 保市 は 業 導導 神 程文ス との まま で は 、	の し変 N進と 政準安 / 加働U民と 査。	どおりでなかった	は また なかった原因> モニタリングするこ は実施できなかった たかった 所及が一層 引に貢献した はて (又は今後、 その内ヨシキリの生 会、我孫子野鳥を守 (本) はに悪影響を与えない (本) はに悪影響を与えない (本) はに悪影響を与えない (本) はに悪影響を与えない (本) はにある。 (本) はた理でなかった。 (本) は、ことでは、 (本) は、 (本) は (本) は (も)	と	き続き重要である。 の具体的な職の期待できた のを持っことができた 参加・協 の期期待したといい。 を行うことができた 参加・協 の期期待はといい。 た以ととなった理 定どおりでなかった原 医ア・スター・ ので、ない。 ので、ない、ない。 ので、ない、ない。 ので、ない。 ので、ない、ない、ない。 ので、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、ない、	と考えられる 必要性の理とに を施することに のをを を を を を を を を を を を を を を を を を を	日 > により、より精度 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	○●不不要要要要要要要要要要要要要○●不不要要要要要要要要要要要要○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能○●不可能
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 R大制 環い (1)	が実施する必要性は るか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? リづくり)	生物指標となる。 〇①民間企業令集化 ●②自治 □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P で体 が が は 没 で は が で ・ が き か き で は め	日体 等と おい さきにと	裏を対象とした生が実施られている。 実施られている。 を対象とした生が得できない。 を効性性が得ではいる。 を対象では、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 本オイバン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってします。 取組起表系子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 ないがいさい値ないい。 ながれる場合、比較対象例における ある 実施予定の対策 度活用 図⑤ P F 対応	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 いる。 な内容 するための基礎データになる する。 ひ ク ナる目標値(と現況値の差)と こ I 等民間資本の活用 益者負担	○	事 定召 民市市保市サウモの 実 の 日本市 は 業 導 導 は ま で との ま ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	の L変 N進と 政準安 / 加働JRと 査。 を R	どおりでなかった	はなかった原因> モニタリンすること できなかった にかがした できなかった できなかった できなかった ではなかった ではなかった ではなかった ではなかった ではない。 ではない。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内す。 では、その内では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	と	き続き重要である。 の具体的な職の期待できた。 参加・協の期待できた。 参加・協の期待できた。 参加・協の期待できた。 を持うことができた。 参加・協の期待できた。 を以と下したより。 た以上となった西理を定とおりでなかった。 原発戸・事である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と考えられる 必要性のことに 必要性のことに のを のを のを のを のを のを のを のを のの のを のの のを のの ので のの のが のの のが のの のが のの のが のの のが のが のが のが	自>により、より精度 であった原因> 「であった原因>	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 R大制 環い (1)	「景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? リブくり) に配慮して事業を進めてか?	生物指標となる。 〇①民間企業会集化 ●②自治 □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	P	日体 等と おい さきにと	東を対象とした生が 実施のはいる を対象をないいる を対したないいる を対したないいる を対したないいる のは、できないいる。 を対したないのは、できないのは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できない。 ●②②③4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 本オイバン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってします。 取組起表系子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 ないがいさい値ないい。 ながれる場合、比較対象例における ある 実施予定の対策 度活用 図⑤ P F 対応	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 いる。 な内容 するための基礎データになる する。 ひ ク ナる目標値(と現況値の差)と こ I 等民間資本の活用 益者負担	○	事 定召 民市市保市サナモの 実 参すする 民市市保市サナモの 実 参すする 日本市 保市・カナー で 実 参すする は に しん かっこう は に しん に は 、	の L変 N進と 政準安 / 加働JRと 査。 を R	どおりでなかった	はなかった原因> モニタリンすること できなかった にかがした できなかった できなかった できなかった ではなかった ではなかった ではなかった ではなかった ではない。 ではない。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内すシキリの生を守る。 では、その内す。 では、その内では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	と	き続き重要である。 の具体的な職ができた の表待っことができた 参加・協 の期期待したいと下 のたたいという。 を定 がよりでなかった 原発 事前の のと の(②事前の想	と考えられる 必要性のことに 必要性のことに のを のを のを のを のを のを のを のを のの のを のの のを のの ので のの のが のの のが のの のが のの のが のの のが のが のが のが	自>により、より精度 であった原因> 「であった原因>	●
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 R大制 環い (1)	「景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? リブくり) に配慮して事業を進めてか?	生物指標となる。 ○①日日 ①日日 ②日日 ②日日 ②日日 ②日日 ③日日 ④日日 ③日日 ④日日	□ P で体 が が 進 保 で か で か で 体 が が 進 提 保 る か で か が 進 提 保 る か で か で か が 進 提 保 る れ に (協)	日本 さい かい はい ない ない はい ない	東を対象とした生が 実施のはいる を対象をないいる を対したないいる を対したないいる を対したないいる のは、できないいる。 を対したないのは、できないのは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できないのでは、できない。 ●②②③4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。 ●③②4民間のできる。	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 「大きの他の内容》 「大きの体の内容》 「大きの他の内容》 「大きの体の内容》 「大	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 いる。 む内容 すするための基礎データになる すする。 ・ク ナる目標値(と現況値の差)と モ I 等民間資本の活用 益者負担 か他	○	事 定召 R R R R R R R R R R	の L変 N進と 政準安 / 加働LRと 査。	どおりでなかった	は	と	き続き重要である。 の	と考えられる理とに	Bンより、より精度 であった原因> であった原因>	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 ほうんの配慮 効率性 3 (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	が実施する必要性はあるか? の参加や市民との協働をしているか? に配慮して事業を進めて に配慮して事業を進めて に配慮して事業を進めて はなか?	生物指標となる。 ○①日日 ①日日 ②日日 ②日日 ②日日 ②日日 ③日日 ④日日 ③日日 ④日日	P	日本 さい かい はい ない ない はい ない	裏施できないる 「実施できないる。 「ないいる。 「はいる。 「はいる。 「はいる。」 「はいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 本オイバン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってします。 取組起表系子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 表孫子市の環境の現状を把握する。 ないがいさい値ないい。 ながれる場合、比較対象例における ある 実施予定の対策 度活用 図⑤ P F 対応	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 いる。 む内容 すするための基礎データになる すする。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○	事 定召 民市市保市サナモの 実 参回記 との 民市市保市サナモの 実 参回記 との 民市市保市サナモの に 加つは 東 参 で との に 東 参 で との に 東 等 で 段 たが 水の 容 と の に か で まで り に か で まで も に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	の L変 N進と 政準安 / 加働LRと 査。	どおりでなかった	なかった原因> モニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをできなかった は実施できたかが、	と	き続き重要である。 の具体的な職ができた の表待っことができた 参加・協 の期期待したいと下 のたたいという。 を定 がよりでなかった 原発 事前の のと の(②事前の想	と考えられる 理とに の程 の程 を の の の の の の の の の	Bンより、より精度 であった原因> であった原因>	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
要性 参加・協働のH夫 環境くの配慮 効率性 33 の 事件 14 15 16 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	が実施する必要性はあるか? の参加や市民との協働をしているか? に配慮して事業を進めて に配慮して事業を進めて に配慮して事業をがった。	生物指標となる。 ○①日日 ①日日 ②日日 ②日日 ②日日 ②日日 ③日日 ④日日 ③日日 ④日日	□ P で体 が が で か で 本 が で か で 本 が で か で 本 が で か で 本 が で ・ か き 変 き と で は め し で な か で ・ か き 参 き と で は い な る し で は か し で な か で ・ か き 参 き と で い い は は に で ま で で は い る る し で い い ま で は は に で は は に で ま で で は は に で は は に で は は に で な る 事 業 費 千 千 で と し で い と な の る で い と で ら で な で い と で い と な の る し に の る で い と で な に で か ら で な で な か ま で な に い な る し に の る で い と で な に で か ら で な な で な か ま で な に い な る し に な な る 事 業 で (% 6) の 8 9 目 標 値 で な る の る の る で い と で な な す ま で な か ま で な な か ま で な な な な な な な な な な な な な な な な な な	日本 c c c c c c c c c c c c c c c c c c c	東を対象とした生/ 実施られている を対象とした生/ 実施られている を対し、施策の は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 《その他の内容》 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 か内容 するための基礎データになる する。 「 大 の名 は、 の表 の の表 の	○	事 定召 民市市保市サナその 実 同兄な は で との 東海神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に ま か は か は か は か は か は か は か は か は か は か	の L変 N 注と: 政準安 / 加働に民と 査。	どおりでなかっただけ、	なかった原因> モニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンををかった は実施できなかった にまたので、 は今容がままが、 できなかった はなののは、 できなかった はなののは、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが	と	き続き重要である。 の具体的な職ができたができたができたができたができたがの期期の以上おりでは、 のが明期の以上がある。 のを行うことができたができたができたができたが、 の別期期の以上おりでなった。 の変となりでなかった。 の変となりでなかった。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変とないでなかった。 ののの思いでは、 ののの思いでは、 のの思いでは、 のの思	と考えられる 理とに の程 の程 を の の の の の の の の の	Bンより、より精度 であった原因> であった原因>	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
要性 参加・協働のH夫 環境(Cの配慮 効率性 30m を) は 1	信景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性はあるか?」 「おった」との協働をしているか。 しているか。 「ないでは、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、これで	生物指標となる。 ○①民間の公理由の	□ P で体 が が で か で 本 が で か で 本 が で か で 本 が で か で 本 が で ・ か き 変 き と で は め し で な か で ・ か き 参 き と で は い な る し で は か し で な か で ・ か き 参 き と で い い は は に で ま で で は い る る し で い い ま で は は に で は は に で ま で で は は に で は は に で は は に で な る 事 業 費 千 千 で と し で い と な の る で い と で ら で な で い と で い と な の る し に の る で い と で な に で か ら で な で な か ま で な に い な る し に の る で い と で な に で か ら で な な で な か ま で な に い な る し に な な る 事 業 で (% 6) の 8 9 目 標 値 で な る の る の る で い と で な な す ま で な か ま で な な か ま で な な な な な な な な な な な な な な な な な な	日本 さい さきに さい 内 り	東応られている。 東流のできない。 東流のできない。 東流のられている。 東次のは、 東京のできない。 東次のは、 東次のできない。 東次のできない。 東次のできない。 東次のできない。 東京のできない。 東京のできないのできない。 東京のできない。 東京のできない。 東京のできない。 東京のできないのできない。 東京のできない。 東京のできない。 東京のできない。 東京のできない。 東京のできない。 東京のできないのできない。 東京のできないのできない。 東京のできないのできないのできないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 本オポパン生息調査やオオヨシミスタッフと協働して行なってします。 取組む 我孫子市の環境の現状を把握でする。 我孫子市の環境の現状を把握でする。 我孫子市の環境の現状を把握をする。 「会ではないいる。 ないが小さいる。 実施予定の対策 度活用 「⑤ P F をの対策 度活用 「⑥ その ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 か内容 するための基礎データになる する。 「 大 の名 は、 の表 の の表 の	○	事 定召 民市市保市サナモの 実 参回記 との 民市市保市サナモの 実 参回記 との 民市市保市サナモの に 加つは 東 参 で との に 東 参 で との に 東 等 で 段 たが 水の 容 と の に か で まで り に か で まで も に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	の L変 N 注と: 政準安 / 加働に民と 査。	どおりでなかった	なかった原因> モニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをできなかった は実施できたかが、	と	き続き重要である。 の具体的な職ができたができたができたができたができたがの期期の以上おりでは、 のが明期の以上がある。 のを行うことができたができたができたができたが、 の別期期の以上おりでなった。 の変となりでなかった。 の変となりでなかった。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変とないでなかった。 ののの思いでは、 ののの思いでは、 のの思いでは、 のの思	と考えられる 理とに の程 の程 を の の の の の の の の の	Bンより、より精度 であった原因> であった原因>	 ○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要 ○●不可要不可要不可要不可要不可要不可要不可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可
要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 3・事件	信景は?(事業の必要性) 「が実施する必要性はあるか?」 「おった」との協働をしているか。 しているか。 「ないでは、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、は、これでは、これで	生物指標となる。 〇①日間 ① ② ② ② ② ③ ② ③ ② ③ ② ③ ② ② ③ ② ③ ② ③ ②	P で体 で体 で体 で で で で で で	日本 さい さきに さい 内 り	東施られるした生が 実施られるしたといる。 を対し、施策のは、できない。 ののでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	息状況の調査は、人間自身の生活 「大きないのではないないがあがある。 「皮活用」はではないがあがある。 「皮活用」はではないがあがある。 「皮活用」はではないがあがある。 「皮活用」はではないがあがれる場合、比較対象例における場合、比較対象例におけるある。 「皮活用」はではないがあがある。 「皮活用」は、「皮が皮が、できる。 「皮活用」は、「皮が皮が、できる。 「皮が皮が、できる。 「皮が皮が、できる。 「皮が皮が、できる。 「皮が皮が、できる。 「皮が皮が、している。 「皮が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、	本的な内容 キリさえずり地点調査は、市 か内容 するための基礎データになる する。 「 大 の名 は、 の表 の の表 の	○	事 定召 民市市保市サナその 実 同兄な は で との 東海神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に ま か は か は か は か は か は か は か は か は か は か	の L変 N 注と: 政準安 / 加働に民と 査。	どおりでなかっただけ、	なかった原因> モニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをできなかった は実施できたかが、	と	き続き重要である。 の具体的な職ができたができたができたができたができたがの期期の以上おりでは、 のが明期の以上がある。 のを行うことができたができたができたができたが、 の別期期の以上おりでなった。 の変となりでなかった。 の変となりでなかった。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変を表した。 の変とないでなかった。 ののの思いでは、 ののの思いでは、 のの思いでは、 のの思	と考えられる 理とに の程 の程 を の の の の の の の の の	Bンより、より精度 であった原因> であった原因>	 ○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要 ○●不可要不可要不可要不可要不可要不可要不可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可
要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 3・単状 目目 おい 目 目投信 事状 (2) (3) (4) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	が実施する必要性はあるか? あるかのでは、	生物指標となる。 ○①民間企業令集化 ●②は提供のある主実に支が □を持ち、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	□ P O が が が が が が が が が が が が が が が が が が	日本 さい さところ より 内 引 打 引 り し 点 で は が 気 り よ 策 単 回 で よに し 政 容 の り り り り り し 点 の し	要を対象とした生が 実施られている を対象とした生が得できない。 を対象をできない。 を対し、施策の は関現のできない。 を現現のできるとのできる。 できない。 のでは、できない。 のできない。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	息状況の調査は、人間自身の生活 《その他の内容〉 《その他の内容〉 《その他の内容〉 【大の世の内容〉 《その他の内容〉 本大の世の内容〉 本大の世の内容〉 本大の世の内容〉 本大の世の内容〉 本大の世の内容〉 取組む 表孫子市の環境の現状を把握っ 方な鳥類生息状況調査を実施で 表現性が足している。 実現性が足している。 実現性が足にない。 まが小さい値ではない。 まが小さい値ではない。 まが小さい値ではない。 まがれる場合、比較対象例における ある 実施予定の対策 度活用 「宮・受益 対応 削減策の実施 「フ・その他 「中華年度の指標:目標値×費用 「全のでをの指標:目標値を受益 「中華年度の指標:目標値を受益 「中華年度の指標:目標値を受益 「中華年度の指標:目標値を受益 「中華年度の指標:目標値を受益 「日本では、」」 「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」 「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」 「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」 「日本では、「日本では、「日本では、「日本では、」」 「日本では、「日本では、」」 「日本では、「日本では、」」 「日本では、「日本では、」」 「日本では、「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」 「日本では、」」 「日本では、」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」 「日本では、」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」」 「日本では、」 「日本では、」 「日本では、」」 「日本では、」	本的な内容キリさえずり地点調査は、Totalのである。 な内容でするための基礎データになるでする。 なりまする。 なりまする。	○	事 定召 民市市保市サナその 実 同兄な は で との 東海神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に 実 神 に ま か は か は か は か は か は か は か は か は か は か	の L変 N 注と: 政準安 / 加働に民と 査。	どおりでなかっただけ、	なかった原因> モニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをモニタリンをできなかった は実施できたかが、	と 〈専い	き続き重要である。 の長年のな職ができたができたがの期待できたができたがの場合できたがの場合できたがの場合できたがの場合できたがの場合できたがの場合できたがいた。 のというでは、おりでなかった。 「「「「「「「「「「「「「「」」」」」では、「「「」」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「」」では、「「」」では、「」では、「	と考えられる 理とに の程 の程 を の の の の の の の の の	Bンより、より精度 であった原因> であった原因>	 ○●不要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要 ○●不可要不可要不可要不可要不可要不可要不可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可

事業コート						事務争未計 恤衣						-		
	ř	1443		課コード	1	1604	会計種別	一般会計			予算の	種類	□政策 ■経常	口なし
1. 事業σ	の概要(PLAN)													
		①事業名	基本事業					実施計画への位置づけ	0	有 ●無	(2	②部課名	生涯学習部・鳥の博物館	ĭ
		③事業主体		場類標本・資料の収 ○その他(集)	④対象地区	□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	□布佐■全市	
/1) 古光细亚		⑤事業期間				~	,	⑥担当職員数			2 人	(換算人数	0.15 人)	
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費			0 千円		当該(開始)年度	(当 初)	3, 2	257 千円	(うち人件費	1,320 千円)	
		(人件費含む)							(変更後)		千円	(うち人件費	千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策 コード	512	201	重点プロジェクト 重点 f	なし	基本計画地区別 計画への位置づ		有 〇無		部門別計画への 位置づけ	(計画名) 社会教育推進	計画
(2)目的		施策目的·				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			博物館事業の基		を主とした	資料の収集と記録	、また永続的に保存できる	ような管理と効
(2) 🖰 🖽		展開方向	制の充実を図	図るとともに、他の	自治体や	以心泉を祀ら时に推進します。また、子自に関するIF や市民団体、大学、研究機関、企業などとの連携を強 て、日本産鳥類の全種の雌雄成幼剥製標本、全種の骨	化するなど、市	ī		±。 登録・管理:通年	P to t			
			ションを、国	国内外の協力者のネ	ットワー	ークを通じて収集し、だれでも利用できるようにデー				E録:直年:通午 Ě録:通年 随時	闪旦4寸			
/0\ = ** - 			し、公開する)。また巾氏の共有	財産とし	して永続的に維持できるように管理する。		当該年度 執行計画						
(3)事業内容		内 容												
								当該年度 活動結果指標	収蔵標本数				単位 点 実績	
(4)達成目標((期待する成果)				達成目標	票(期待する成果)		指標種類			標		単位 (5)現況値	
当該年度		未所蔵の分類群(科・種)の鳥類			製や骨格として標本化し、多くの市民の利用に供する	· .	直接	製作標本数				点 2,8	13 2, 90
令和 2年度		未所蔵の分類群(科・種)の鳥類	質斃死鳥資料を収集	€し、剥製	製や骨格として標本化し、多くの市民の利用に供する	S.	直接	製作標本数				点	3, 00
令和 3年度	变	未所蔵の分類群(科・種)の鳥類	頁斃死鳥資料を収集	乗し、剥製	製や骨格として標本化し、多くの市民の利用に供する	5.	直接	製作標本数				点	3, 10
(2) ± 40.± 15.1		収取した冷凍資料	を着実に標本化	とする体制づくりが	「課題で、	、市民スタッフの教育などに取り組んでいる。		/h ++ -+ 10.5 l						
(7) 事業実施上	上の課題と対応 							代替案検討	0	有 ●無				
		-L:	平成30年月			平成31年度				D 2年度			令和 3年度	1
		政 策 (経常)	内 容	金額	(千円)	政策 内容 (経常)	預(千円) 決算額	頁(千円) 政 策 (経	内容	-	金額(千円)	策 (経常)	内 容	金額(千円)
		消耗品費			154	消耗品費	139	139 消耗	品費		139	9 消耗品費		13
		通信運搬費 手数料(CO2ボ			50 21	通信運搬費 手数料 (CO2ボンベ充填)	50 21	0 手数	運搬費 料(002ボンベ充填 制作素気料)	50 21	1 手数料(CC)2ボンベ充填)	2
		│ :標本製作委託料	7		1, 373	標本製作委託料 備品購入費(冷蔵庫)	1, 373 354	1,360 標本	製作委託料		1, 373	3 標本製作委	社科	1, 37
	実施内容													
(8) 施行事項	費用													
	ж лі													
	予算(決算)額	4	s 計		1, 598	合 計	1, 937	1, 872	合 計		1, 583	3	合 計	1, 58
	国庫支出金	補助率	(0 %	0		0	0 補助率	K.	0 % 0 %	() 補助率) 補助率	0 %	1, 00
(9) 財源内訳	起債	充当率		0 %	0	充当率 0 %	0	0 充当率		0 %		0 充当率	0 %	1, 58
	その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口そ	· の他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0 □4	持会 □受益 □基金	〕□その他	(□特会 □	□受益 □基金 □その他	
(10) 人件費等	換算人数(人) 正職員人件費				0. 15 1, 320		0. 15 1, 320	0. 15 1, 320			0. 15 1, 320	0		0. 1 1, 32
	鳴託職員報酬額 臨時職員賃金額				0		0	0			(0		
事業費(予算(決 (11)単位費用	(算)額+正職員人件費) 		1.06千円/		2, 918	1.12千円/点	3, 257	3, 192 1, 13			2, 903	3		2, 90
	/活動結果指標) グ評価 (DO+CHECK)	<u> </u>	1.00十円/			1.12千円/ 点		1. 13						
		J I			± ±	- AT 17	<u> </u>		* // ==			M=1 /14+1 A+	-> >	76.45.45.4
Fit	評価項目	博物館の使命の 一	つに資料の収集	ミと永続的な保管が		寸 評 価 れる。全国で初めての鳥類専門の博物館である当館に	t. 鳥類お ●(①事前確認での想		価(評価結果に応	し、改善系	検討(払允も含む))	改善検
(1) 車業も	が今必要である理由・					教材として充実をはかることが求められている。			定どおりでなかっ <i>た</i>	Ė				〇要
	ま?(事業の必要性)								里由/想定どおりで 3. 卑叛の公布情報や		空 左 宝 物 レー	て勿冊供に引き	継ぐため、鳥類標本の収集	●不要
								を必要であるため。		//////////////////////////////////////	4 6 × 100 C C	COMETHICATE	在くたの、	
必		○①早間企業 1		は生でけ宝体でも2	<i>†</i> :1\	/その他の内容へ			○ 市民団は笙でご	+宝体できたかった	/古宝饰/	の目体的な内容・	心亜性の理由へ	18316
		(理由) □法令等	で市が実施する	体等では実施でき ^ヵ ることが定められて 、		<その他の内容>		①民間企業、NP ②市が主導で進め	なければ実効性がな		専門知識		を収集・管理することで、	コレク
要		(理由) □法令等	で市が実施する 体が市しかない	ことが定められて		<その他の内容>		①民間企業、NP ②市が主導で進め ③市が先導役とな 促進された	なければ実効性がたったことで市民へ音	なかった 音及が一層	専門知識	を持つ職員が標本		コレク
要性 (2) 市が実	実施する必要性はかっ	(理由) □法令等 □提供主・□その他	で市が実施する 体が市しかない	うことが定められて \ きである	いる	<その他の内容>		①民間企業、NP ②市が主導で進め ③市が先導役とな 促進された ④市の支援が政策 ⑤サービス水準が	なければ実効性がなったことで市民へ音・施策の目標の実現 確保された	なかった 音及が一層 見に貢献した	専門知識	を持つ職員が標本	を収集・管理することで、	コレク ため。 〇要
要 性 (2) 市がま あるか		(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主	で市が実施する体が市しかない あ市が推進すべき	うことが定められて v	いる 	<その他の内容>		①民間企業、NP ②市が主導で進め ③市が先導役とな 促進された ④市の支援が政策 ⑤サービス水準が	なければ実効性がなったことで市民へ音・施策の目標の実現	なかった 音及が一層 見に貢献した	専門知識	を持つ職員が標本	を収集・管理することで、	コレク
要 性 (2) 市がま あるか	か?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主 ■市が実 サーで □市が支	で市が実施するいないかければ、これでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、ないでは、	ることが定められて い きである とにより実効性が得 ことにより、良質で	:いる られる ! 安定した	<その他の内容>		①民間企業、NP ②市が主導で進め ③市が先導役とな 促進された ④市の支援が政策 ⑤サービス水準が ⑥サービスの安定	なければ実効性がなったことで市民へ音・施策の目標の実現 確保された	なかった 音及が一層 見に貢献した	専門知識	を持つ職員が標本	を収集・管理することで、	コレク ため。 〇要
要 性 (2) 市がま あるか	か?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主 ■市が実 サーで □市が支	で市が実施するいない を かっぱい で 市が実施するい を が市しかない	ることが定められて ・ きである ・により実効性が得 ことにより、良質で	:いる られる ! 安定した	<その他の内容>		①民間企業、NP ②市が主導で進め ③市が先導役とな 促進された。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なければ実効性がなったことで市民へ音・施策の目標の実現 確保された	なかった 音及が一層 見に貢献した	専門知識	を持つ職員が標本	を収集・管理することで、	コレク ため。 〇要
要 性 (2) 市がま あるか	か?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ■②自治体である (理由) □市が主 ■市がデード □市が支 実現が	で市が実施するいない を かっぱい で 市が実施するい を が市しかない	っことが定められて、 きである により実効性が得ら としより、良質で ら ちり政策・施策の目	:いる られる ! 安定した	<その他の内容>		①民間企業、ベ連の ②市が先導存と ④市の支援がた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なければ実効性がたったことで市民へき ・施策の目標の実現確保された 供給基盤が確保され	なかった 音及が一層 見に貢献した れた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専門知識	を持つ職員が標本 充実と適切な管理	を収集・管理することで、	コレク ため。 〇要
要 性 (2) 市がす あるか (市実)	か?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ■②自治体である (理由) □市が主 ■市が実 サービ □を現がい □その他	で市が東施ないで、このでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	さことが定められて きである こにより実効性が得された。 というないのである。 このでは、 このである。 このである。 このである。 このである。 このである。 このである。	:いる られる ! 安定した	<その他の内容> た	□(□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、ベルタンのでは、NPののでは、NPののでは、1をできない。 (中のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1	なければ実効性がたったことで市民へ書 ・施策の目標の実現確保された 供給基盤が確保され	なかった 音及が一層 見に貢献した れた 等(又は今後、 よその内容)	専門知識ションの3	を持つ職員が標本充実と適切な管理 参加・協 型期待した以上	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだ	コレク ため。 〇要
要性 (2)市がするか (市あるか) 市民の参	い? 施の必要性) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(理由) □法保生・ □法保生・ □法保生・ □法保生・ □を記し、 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で市が市の大学を表しています。 では、	さことが定められて きである により実効性が得 ことにより、良質で らい の内容	:いる られる ! 安定した	<その他の内容> た 工夫の具体的な内容		①民間企業、ベルタンのでは、NPののでは、NPののでは、1をできない。 (中のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1	なければ実効性がかったことで市民へき ・施策の目標の実現確保された 供給基盤が確保され の機能を発展している。 ・施策の見体的な内容には の場合には	なかった 音及が一層 見に貢献した れた 等(又は今後、 よその内容)	専門知識 ションの イ ○①当初 ●②当初	を持つ職員が標本充実と適切な管理 参加・協	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだ	コレク ため。 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実 (2) 市がまるか (市実) ・市工・ ・ホエ・ ・ホエ・ ・ボーン・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	か? 施の必要性) が中民との協働を いるか?	(理由) □法保等主 □法保供の他 ②自治体であま・■ ■ 市市が実 □ □ 市市現が □ □ 市東駅 ・ 回車 ● 電子 ・ 回車 ・ 回	で体が 特別 では ない では が 進 機 いっぱい とこるれに とない は 歯 面 有 に で あいると 連 の を き かん は 歯 面 有 に 市 民 の か と 連 た て ま た い は 歯 面 有 直 携 に た な 活 ま か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と か と	さことが定められて きである により実効性が得 ことにより、良質で らい の内容	:いる られる ! 安定した	<その他の内容> た 工夫の具体的な内容	□(□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、ベルタンのでは、NPののでは、NPののでは、1をできない。 (中のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1	なければ実効性がかったことで市民へき ・施策の目標の実現確保された 供給基盤が確保され の機能を発展している。 ・施策の見体的な内容には の場合には	なかった 音及が一層 見に貢献した れた 等(又は今後、 よその内容)	専門知識 ションの3 ↑ ○①当初初 ●②当初 ○③当初	を持つ職員が標本充実と適切な管理 参加・協 期期待した以上 別期待したとおり の期待以下	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだ	コレク ため。 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実 (2) 市がまるか (市実) ・市工・ ・ホエ・ ・ホエ・ ・ボーン・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	か? 施の必要性) が中民との協働を いるか?	(理由) □法条等主 □法条件主 □ 法提供 での他 法提供 での他 ● ②自治□□市・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー	で体が 特別 では ない では が 進 機 いっぱい とこるれに とない は 歯 面 有 に で あいると 連 の を き かん は 歯 面 有 に 市 民 の か と 連 た て ま た い は 歯 面 有 直 携 に た な 活 ま か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と か と	さことが定められて きである により実効性が得 ことにより、良質で らい の内容	:いる られる ! 安定した	<その他の内容> た 工夫の具体的な内容	□(□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、ベルタンのでは、NPののでは、NPののでは、1をできない。 (中のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1	なければ実効性がかったことで市民へき ・施策の目標の実現確保された 供給基盤が確保され の機能を発展している。 ・施策の見体的な内容には の場合には	なかった 音及が一層 見に貢献した れた 等(又は今後、 よその内容)	専門知識 ションの3 ↑ ○①当初初 ●②当初 ○③当初	を持つ職員が標本充実と適切な管理 参加・協 期期待した以上 別期待したとおり の期待以下	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 動の程度・内容	コレク ため。 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実 (2) 市がるか (市ま) ポート (市工:	か? 施の必要性) が中民との協働を いるか?	(理由) □法保等主 □法保供の他 ②自治体であま・■ ■ 市市が実 □ □ 市市現が □ □ 市東駅 ・ 回車 ● 電子 ・ 回車 ・ 回	で体が 特別 では ない では が 進 機 いっぱい とこるれに とない は 歯 面 有 に で あいると 連 の を き かん は 歯 面 有 に 市 民 の か と 連 た て ま た い は 歯 面 有 直 携 に た な 活 ま か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と か と	さことが定められて きである により実効性が得 ことにより、良質で らい の内容	:いる られる ! 安定した	<その他の内容> た 工夫の具体的な内容	□(□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、ベルタンのでは、NPののでは、NPののでは、1をできない。 (中のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1のでは、1	なければ実効性がかったことで市民へき ・施策の目標の実現確保された 供給基盤が確保され の機能を発展している。 ・施策の見体的な内容には の場合には	なかった 音及が一層 見に貢献した れた 等(又は今後、 よその内容)	専門知識 ションの3 ↑ ○①当初初 ●②当初 ○③当初	を持つ職員が標本充実と適切な管理 参加・協 期期待した以上 別期待したとおり の期待以下	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 動の程度・内容	コレク ため。 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実 (2) 市がまるか (市実) ・市工・ ・ホエ・ ・ホエ・ ・ボーン・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	か? 施の必要性) が中民との協働を いるか?	(理由) □法条等主 □法条件主 □ 法提供 での他 法提供 での他 ● ②自治□□市・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー・・サー	で体が 特別 では ない では が 進 機 いっぱい とこるれに とない は 歯 面 有 に で あいると 連 の を き かん は 歯 面 有 に 市 民 の か と 連 た て ま た い は 歯 面 有 直 携 に た な 活 ま か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と 連 か と か と	ることが定められて きである こにより実効性が得 ことにより実り、良質である いけの政策・施策の目 の内容 りりりしている	:いる られる ! 安定した	<その他の内容> た 工夫の具体的な内容	□(□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、で進めなが先導れが北海が先導れが光導れが北海が先導れが水のでは、個市の主でスの大学をできる。一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	なければ実効性がかったことで市民へき ・施策の目標の実現確保された 供給基盤が確保され の機能を発展している。 ・施策の見体的な内容には の場合には	なかった 音及が一層 見に貢献した れた ・ (又は今後、 その内容) 標本製作ボランティ	専門知識 ションの3 ↑ ○①当初初 ●②当初 ○③当初	を持つ職員が標本 充実と適切な管理 参加・協 期期待したとおり の期待以下 た以上となった理	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 動の程度・内容	コレク ため。 ○要 ●不要
要性 (2) 市が実 (2) 市がまるか (市実) ・市工・ ・ホエ・ ・ホエ・ ・ボーン・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	か? 施の必要性) が中民との協働を いるか?	(理由) □ は で	で体が 特別 では ない では が は とこるれによる 市 では とこるれに よる お に とこるれに は 働 有 自 有 は の 根 の 根 の 根 の 根 の 根 の 根 の 根 の 根 の 根 の	ることが定められて きである こにより実効性が得 ことにより実り、良質である いけの政策・施策の目 の内容 りりりしている	:いる られる ! 安定した	てきた。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、産産のでは、	なければ実効性がたったとで市民へきい。 ・施策の目標の実現確保をれた 供給基盤が確保された 供給基盤が確保され の具体基盤が の具体的場合には 高考えられる場合にはる	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) 標本製作ボランティ	専門知識 ションの3 イ ○①当当初 <期待し方	を持つ職員が標本 充実と適切な管理 参加・協 別期特にたとおり 別の期待以より た以上となった理 環境	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 動の程度・内容 間由/期待以下であった原因 意への配慮	コレク ため。 ○要 ●不要
要性 (2) 市かり (2) 市 (2) 市 (3) 市 (4) 市 (4) 市 (4) 市 (4) で (5) で	か? 施の必要性) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(理由) □ は	で体が、高市が推進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められて きである ことにより にとにより い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	:いる られる ! 安定した	<その他の内容> 工夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 取組む内容	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、で進めない。 ・ で後と ・ で後と ・ で後と ・ で後さを提供の支援が失った。 ・ で後さをしている。 ・ で後さをしている。 ・ で後さをしている。 ・ でもの他の内容 ・ でもの他の内容 ・ でもの他の内容 ・ でもの他の内容 ・ でもの他の内容 ・ でもいる。 ・ できる。 ・	なければ実効性がた。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・権保基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された の内にはる の内にはる の表別、市民による では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) 標本製作ボランティ	専門知識ションの3 イ ○①当当初初初初 ○②3当 < 期待 し i	を持つ職員が標本充実と適切な管理 参加・協 別期待した以上 別期待したとおりの期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 働の程度・内容 曲/期待以下であった原因	コレク こめ。 ○要 ●不要 ○不要
要性 (2) 市かり (2) 市 (2) 市 (3) 市 (4) 市 (4) 市 (4) 市 (4) で (5) で	か? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ は	で体が、高市が推進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められて きである ことにより にとにより い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	:いる られる ! 安定した	てきた。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、産産のでは、	なければ実効性がた。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・権保基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された の内にはる の内にはる の表別、市民による では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) 標本製作ボランティ	専門知識ションの3 イ ○①当当初初初初 ○②3当 < 期待 し i	を持つ職員が標本 充実と適切な管理 参加・協 別期特にたとおり 別の期待以より た以上となった理 環境	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 働の程度・内容 曲/期待以下であった原因	コレク ため。 ○要 ●不要
要性 (2) 市かり (2) 市 (2) 市 (3) 市 (4) 市 (4) 市 (4) 市 (4) で (5) で	か? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ は	で体が、高市が推進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められて きである ことにより にとにより い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	:いる られる ! 安定した	てきた。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、産産のでは、	なければ実効性がた。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・権保基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された の内にはる の内にはる の表別、市民による では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) 標本製作ボランティ	専門知識ションの3 イ ○①当当初初初初 ○②3当 < 期待 し i	を持つ職員が標本 充実と適切な管理 参加・協 別期待したとより 別の期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 働の程度・内容 曲/期待以下であった原因	コレク さめ。 ○要 ●不 ■ ○要 ●不 ● ○ 要
要性 (2) 市かり (2) 市 (2) 市 (3) 市 (4) 市 (4) 市 (4) 市 (4) で (5) で	か? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が、高市が推進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められて きである ことにより にとにより い の の の の の の の の の の の の の の の の の の	:いる られる ! 安定した	てきた。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、産産のでは、	なければ実効性がた。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・権保基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された 供給基盤が確保された の内にはる の内にはる の表別、市民による では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) 標本製作ボランティ	専門知識ションの3 イ ○①当当初初初初 ○②3当 < 期待 し i	を持つ職員が標本 充実と適切な管理 参加・協 別期待したとより 別の期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 働の程度・内容 曲/期待以下であった原因	コレク さめ。 ○要 ●不 ■ ○要 ●不 ● ○ 要
要性	か? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が、高市が推進のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められて きである きによりまり、 きによりまり、 の大容 い の内容 の内容 しと している	いる ぱられる で安定した は標の	工夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 即組む内容 鳥体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	①民間企業、産産のでは、	なければ実効性がなった。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・施策された 供給基盤が確保され にはるもの の見体的な内容 をした見体的な内容 でした具体的な内容 でした具体の収集を行	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) 標本製作ボランティ	専門知識ションの3 イ ○①当当初初初初 マ 回 ② 3 当 し は マ は 記 を に と に と に と に と に と に と に と に と に と に	を持つ職員が標本 充実と適切な管理 参加・協 別期待したとより 別の期待以下 た以上となった理 環境 ことおりでなかった	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 働の程度・内容 曲/期待以下であった原因	コレク さめ。 ○要 ●不 ■ ○要 ●不 ● ○ 要
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 参加・協働の工夫 環境への配慮	か? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ (理由) □ (注接の他 法接 (注	で体が 神の では	ることが定められて きである。 によにより という。 いうなり の内容 りりりし している 「②現況 「②現況 「②2現況 「③2現況	いる Poet of the control of the con		回。 回。 回。 回。 「回。 「回。」 「回。」 「可。」 「可。」 「可。」 「可。」 「可。」 「可。」 「可。」 「可	①民間企業のでは、NP が は が は が は が は が は が は が は が は が は が	なければ実効市民へまった。 施策の目標の実現 体的なにはでの 目標の実現 体的なられた 保保基盤が 確保 され 保保 基盤が 確保 の 見 体 的ならには る き え う 寄贈、 市民による の した 具体 的な 集を 行 に よ の 収集 を 行	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 その内容) 標本製作ポランテク でおり、生体の計 の②目標値未達成 ○②目標値未達成	専門コンの3 イ ○①当当当 (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	を持つ職員が標本 参加・協 の期待したと下 た以上となった理 ほどおりでなかった原	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだ 動の程度・内容 動の程度・内容 自一/期待以下であった原因 竟への配慮 た	コレク さめ。 ○要不要 ●不不要 ○ の で で で で で で で で で で で で で で で で で で
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 参加・協働の工夫 環境への配慮	か? 施の必要性) か市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が 市市市市 市が市・ 市が市・ 市が市・ 市が市・ で体が 市が進程保証とと ・ 協・ ・ 一・ ・ 一 ・ ・ 一 ・ ・ 一 ・ ・ 一 ・ ・ 一 ・ ・ 一 ・ 一 ・ ・ 一 ・ 一 ・ ・ 一 ・ 一 ・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	ることが定められて きである きによりまり、 きによりまり、 の	い る	工夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 場体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない まが有る場合、比較対象例における目標値(と現況値	回。 回。 回。 回。 である。 市下。 ることで、 事はは	① 民間企業のでは、	なければ実効性がなったとで市民へまで、	なかった を	専門コンの (1) 当 (1) 当 (1) 当 (1) 当 (1) 当 (1) 目 (1)	を持つ職員が標本理を持つ職員が標本理を充実と適切な管理を充実と適切な管理を表した。 参加・協力期待したと下した以上となった理理がままりのかった 原とどおりでなかった原ととなったを原としてなかった原ととなったを原としてなかった原としてなかった原としている。	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるた 動の程度・内容 動の程度・内容 動の程度・内容 を の配慮 た (国)	コレク
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 参加・協働の工夫 環境への配慮	か? 施の必要性) か市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が 準進るするい (では が は 進るするい で は で は で は 進るするれ に な 歯 を	ることが定められて きである きによりまり、 きによりまり、 の	いる Po A a a a b b a a b b a a b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c b c a c a	工夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 原体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 世域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない まが有る場合、比較対象例における目標値(と現況値ある	回。 回。 回。 回。 である。 市下。 ることで、 事はは	①民間企業等では、NP的な は で 後の で	なければ実効性がなったとで市民へまで、	はかった を	専門知識	を持つ職員が標本理を持つ職員が標本理が標本理が表示実と適切な管理理ができません。 参加・協力期待したと下 したという したという はいましょう はいった 理理ない はいった 原連 あいった 原連 あいった 原連 あいった 原連 あいった アード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるための程度・内容 働の程度・内容 由/期待以下であった原因 た (国)	コレク さめ。 ○要不要 ●不不要 ○ の で で で で で で で で で で で で で で で で で で
要性	か? 施の必要性) か市民との協働を いるか? くり)	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	a c c c k が定められて きである まによにより ない の内容 りりりしている 「② 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	いるので、は標準では、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き		回。 回。 回。 回。 である。 市下。 ることで、 事はは を 事はは	①良間企業、産産の (1) (1) (2) (2) 市が先さり、 (2) で、 (3) で、 (4) で、 (4) で、 (5) で、 (5) で、 (6) で、 (6) で、 (7) で、 (7) で、 (7) で、 (7) で、 (8) で、 (7) で、 (8) で、 (8	なければ実の まなれた (特別 を は を は を は を な が を は を な が を は を な が を は を な が を は を な が を は を な が を は を な が を な が を な が を な が を な が な 内に は る の もの な 内に は る の もの な 内に は る の もの な か な か な か な か な を 行 に た 鳥類 の 収 集 を 行 に 次 遂 成 率 (9%) (f/b×100) 97 に 次 対 事 業 費 (%)	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) では (2) では (2) では (3) では (4) では	を持つ職員が標準理が表示実と適切が管理を持つ職員が標準理が表示。 参加・協 の期待にたいと下 したたと下 では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだりを行うことが可能になるだりを行うことが可能になるだりを 働の程度・内容 自由/期待以下であった原因 たであった原因 たであった原因 たであった原因 たであった原因	コレク さめ。 ○要不要 ●不不要 ○ の で で で で で で で で で で で で で で で で で で
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	か? 施の必要性) かった かった かった かった かった かった かった かった かった かった	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が、高市が推進るするに、	は	い		回。 回。 回。 回。 である。 市下。 ることで、 事はは を 事はは	① (日間企業等では、	なければ実効 市民 へきれば まかれば まかれば まかれば まかれ まかれ まかれ まかれ を (株) (株) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) では (2) では (2) では (3) では (4) では	を持つ職員が標本理が標本理が標本で充実と適切な管理を持つ職員が標本理が標本理ができません。 参加・協力期待したと下 したという はいました 以上となった 理ない かった 原進 ままりでなかった 原進 ままり でなかった 原進 事前の必要が できままり でなかった 原進 事前の必要が できません はいません はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだり 働の程度・内容 動の程度・内容 動の程度・内容 を 意への配慮 た に因>	コレク
要性 (2) おか・協働の工夫 環境への配慮 効 率 (2) からてづく 環境の (1) 目標 業の また (2) また (2) また (1) また (2) また (3) また (4)	か? 施の必要性) かで市民との協働を いるか? くり) と定は適切か? と関連の工夫をして	(理由) □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は	いいいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、	エ夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 即組む内容 鳥体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値ある 実施予定の対策 度活用 口⑥ 受益者負担	回して 回じて でする。 のである。 市下。 事はは はの差)と 用 実	① (1) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	なければ実効性がた。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・施策をれた ・機構基盤が確保をする。 ・確保経基盤が確保をする。 ・高考之のでは、 ・高考のでは、 ・では、	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) では (2) では (2) では (3) では (4) では	を持つ職員が標本理が標本理が標本で充実と適切な管理を持つ職員が標本理が標本理ができません。 参加・協力期待したと下 したという はいました 以上となった 理ない かった 原進 ままりでなかった 原進 ままり でなかった 原進 事前の必要が できままり でなかった 原進 事前の必要が できません はいません はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだりを行うことが可能になるだりを行うことが可能になるだりを 働の程度・内容 自由/期待以下であった原因 たであった原因 たであった原因 たであった原因 たであった原因	コレク さめ。 ○要不要 ●不不要 ○ の で で で で で で で で で で で で で で で で で で
要性 (2) おか・協働の工夫 環境への配慮 効 率 (2) からてづく 環境の (1) 目標 業の また (2) また (2) また (1) また (2) また (3) また (4)	か? 施の必要性) かで市民との協働を いるか? くり) と定は適切か? と関連の工夫をして	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は	いいいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、	エ夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 即組む内容 鳥体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値ある 実施予定の対策 度活用 口⑥ 受益者負担	回して 回じて でする。 のである。 市下。 事はは はの差)と 用 実	①民間企業等では、	なければ実効性がた。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・施策をれた ・機構基盤が確保をする。 ・確保経基盤が確保をする。 ・高考之のでは、 ・高考のでは、 ・では、	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) では (2) では (2) では (3) では (4) では	を持つ職員が標本理が標本理が標本で充実と適切な管理を持つ職員が標本理が標本理ができません。 参加・協力期待したと下 したという はいました 以上となった 理ない かった 原進 ままりでなかった 原進 ままり でなかった 原進 事前の必要が できままり でなかった 原進 事前の必要が できません はいません はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだり 働の程度・内容 動の程度・内容 動の程度・内容 を 意への配慮 た に因>	コレク
要性 (2) おか・協働の工夫 環境への配慮 効 率 (2) からてづく 環境の (1) 目標 業の また (2) また (2) また (1) また (2) また (3) また (4)	か? 施の必要性) かで市民との協働を いるか? くり) と定は適切か? と関連の工夫をして	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は	いいいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、「いいでは、	エ夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 即組む内容 鳥体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値ある 実施予定の対策 度活用 口⑥ 受益者負担	回して 回じて でする。 のである。 市下。 事はは はの差)と 用 実	① (1) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	なければ実効性がた。 ・施策の目標の実現 ・施策の目標の実現 ・施策をれた ・機構基盤が確保をする。 ・確保経基盤が確保をする。 ・高考之のでは、 ・高考のでは、 ・では、	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) では (2) では (2) では (3) では (4) では	を持つ職員が標本理が標本理が標本で充実と適切な管理を持つ職員が標本理が標本理ができません。 参加・協力期待したと下 したという はいました 以上となった 理ない かった 原進 ままりでなかった 原進 ままり でなかった 原進 事前の必要が できままり でなかった 原進 事前の必要が できません はいません はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだり 働の程度・内容 動の程度・内容 動の程度・内容 を 意への配慮 た に因>	コレク
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 でいっぱい (1) 事い はなり (2) からてづく (1) では、 (1) 事い はなり (1) 事い 様 (2) また (1) を (2) を (3) を (4) を (4) を (4) を (5)	か? 施の必要性) 加や市民との協働を いるか? くり) と虚して事業を進めて とな適切か? とない。	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は	い		回して 回じて でする。 のである。 市下。 事はは はの差)と 用 実	① (1) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	なければまで R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 (又は今容) での内製作ボランティー では、その内製作ボランティー では、その内製作がボランティー では、その内製作がボランティー では、その内製作がボランティー では、また、は、たり、生体の打 では、は、本のでは、は、本のでは、は、本のでは、は、本のでは、は、たり、は、ないでは、は、たり、は、ないでは、ないで	専門コンの (1) 当当当 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を持つと適切が管理 参加・協 可期待した以と下 たた実とがありの がはとい をたまりのなかった のはとい をとどおりのなかった 原進 事前前ののようら なる ●②②を定 ●③②を定 ●③②を変え ●③②を変え ●③②を変える ●③のを変える ●③のを変える	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだりできた行うことで、 を行うことが可能になるだりであった原因の配慮をである。 たであった原因の配慮をである。 たであった原因といてであった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではながった。 ではながった。	□ D D D D D D D D D D D D D D D D D D D
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (2) 市あ市市工(体 市工(体 境る) 環い (1) 目標 課か (3) 目投 で 事い 目投 標し (3) 対象である。 (3) 対象である。 (4) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象である。 (4) 対象のである。 (6) 対象のである。 (5) 対象のである。 (7) 対象のである。 (1) 対象のである。 (3) 対象のである。 (3) 対象のである。 (4) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (5) 対象のである。 (6) 対象のである。 (5) 対象のである。 (7) 対象のである。 (6) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。	か? 施の必要性) か市民との協働を いるか? くり) 虚して事業を進めて との協働を もいるか? もかっ を進めて との協働を もいるか? ものなか。 との協働を もいるか。 ものなか。 ものなか。 ものなか。 ものなが、 ものなが。 ものなが、 ものもの。 ものものもの。 ものものもの。 ものもの。 ものものものものものも	(理由) □ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	で体が市市 (本)	は	い		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	① (2) 市がたさ投 (3) 市が先さを (4) 市が先さを (4) 市が先さを (5) サービスの マン で 他の内容 マン で 後の で からの標本 本 後	なければまで 市民 (はかった 情及が一層 見に貢献した れた (又は今後、 (マの内容) (マの内容が、ランティー (マの内容が、ランティー (マの内容が、ランティー (本本) (本) (専門コンの (1) 当当当 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を持つと適切が管理 参加・協 可期待した以と下 たた実とがありの がはとい をたまりのなかった のはとい をとどおりのなかった 原進 事前前ののようら なる ●②②を定 ●③②を定 ●③②を変え ●③②を変え ●③②を変える ●③のを変える ●③のを変える	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだります。 を行うことが可能になるだります。 働の程度・内容 ・ はの配慮 ・ はていてであった原因 ・ はていてできなかった。 ・ はなりでなかった。 ・ はないできなかった。 ・ はないできなかった。 ・ はないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	□
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (2) 市あ市市工(体 市工(体 境る) 環い (1) 目標 課か (3) 目投 で 事い 目投 標し (3) 対象である。 (3) 対象である。 (4) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象である。 (4) 対象のである。 (6) 対象のである。 (5) 対象のである。 (7) 対象のである。 (1) 対象のである。 (3) 対象のである。 (3) 対象のである。 (4) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (5) 対象のである。 (6) 対象のである。 (5) 対象のである。 (7) 対象のである。 (6) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。	か? 施の必要性) か市民との協働を いるか? くり) と虚して事業を進めて との協働を いるか? との協働を いるか? との協働を いるか? とり)	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が市市 (本)	は	to by impact of the control of the	工夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 原体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PFI等民間資本の活 対応 削減策の実施 □⑦ その他 計算方法 ●① 単年度の指標:目標値×費用単位/事業費	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	① 民間企業を受ける (1) (1) (2) (2) 市が先さを保証を (2) 市が先さを (3) (2) 市が先さを (4) 市が先さを (4) 市が先さを (4) 市が先さを (4) 市が先さを (5) サービル (5) でんしん (5) でん (5) でんしん (5	なければまで 中	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を持つと適切が管理 参加・協 可期待した以と下 たた実とがありの がはとい をたまりのなかった のはとい をとどおりのなかった 原進 事前前ののようら なる ●②②を定 ●③②を定 ●③②を変え ●③②を変え ●③②を変える ●③のを変える ●③のを変える	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだりできた行うことで、 を行うことが可能になるだりであった原因の配慮をである。 たであった原因の配慮をである。 たであった原因といてであった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではながった。 ではながった。	□
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (2) 市あ市市工(体 市工(体 境る) 環い (1) 目標 課か (3) 目投 で 事い 目投 標し (3) 対象である。 (3) 対象である。 (4) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象である。 (4) 対象のである。 (6) 対象のである。 (5) 対象のである。 (7) 対象のである。 (1) 対象のである。 (3) 対象のである。 (3) 対象のである。 (4) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (4) 対象のである。 (5) 対象のである。 (5) 対象のである。 (6) 対象のである。 (5) 対象のである。 (7) 対象のである。 (6) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (8) 対象のである。 (7) 対象のである。 (7) 対象のである。	か? 施の必要性) おかった。 はいのは、 はいのは、 はいのは、 はいのは、 はいのは、 はいのは、 はいのは、 はいのは、 はいのでする。 はいのででする。 はいでは、 はいでは、 はいででする。 はいでででな。 はいでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	(理由) □ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	で体が市市 (本)	は と が 定 め られて で き に と	to by impact of the control of the	工夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 原体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PFI等民間資本の活 対応 削減策の実施 □⑦ その他 計算方法 ●① 単年度の指標:目標値×費用単位/事業費	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa)	なければとで 市民 に	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を持つと適切が管理 参加・協 可期待した以と下 たた実とがありの がはとい をたまりのなかった のはとい をとどおりのなかった 原進 事前前ののようら なる ●②②を定 ●③②を定 ●③②を変え ●③②を変え ●③②を変える ●③のを変える ●③のを変える	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだりできた行うことで、 を行うことが可能になるだりであった原因の配慮をである。 たであった原因の配慮をである。 たであった原因といてであった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではながった。 ではながった。	□
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (2) 市あ市市工(体 境ふから実) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	か? 施の必要性) ・加いやあか? ・加いやあか? ・は適切か? ・として ・と変異費は ・で変異要費は ・で変異要費は ・で変異要費は ・で変異要費は ・でで変異要要 ・でで変異要要 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・・・・・・・・・・	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が 神道の では	は	to by 標 house of the by in the by	工夫の具体的な内容 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 標本資料の多くは、市民からの寄贈協力によるも 原体・巣・卵などの標本を教育普及活動に活用す 地域の自然や生き物に向ける機会を市民に提供す 日標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PFI等民間資本の活 対応 削減策の実施 □⑦ その他 計算方法 ●① 単年度の指標:目標値×費用単位/事業費	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa)	なければとで 市民 に	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を持つと適切が管理 参加・協 可期待した以と下 たた実とがありの がはとい をたまりのなかった のはとい をとどおりのなかった 原進 事前前ののようら なる ●②②を定 ●③②を定 ●③②を変え ●③②を変え ●③②を変える ●③のを変える ●③のを変える	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだりできた行うことで、 を行うことが可能になるだりであった原因の配慮をである。 たであった原因の配慮をである。 たであった原因といてであった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではながった。 ではながった。	□
要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) 目標 事 状になる (1) 目投目 後 お	か? 施の必要性) ・加いやあか? ・加いやあか? ・は適切か? ・として ・と変異費は ・で変異要費は ・で変異要費は ・で変異要費は ・で変異要費は ・でで変異要要 ・でで変異要要 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・でで変異 ・・・・・・・・・・	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が市市 (本)	は	to by 標 house of the by in the by		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa) (Pa)	なければとで 市民 に	はかった を	専門コンの (1) 当当当 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	を充実と適切が管理理が表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	を収集・管理することで、 を行うことが可能になるだりできた行うことで、 を行うことが可能になるだりであった原因の配慮をである。 たであった原因の配慮をである。 たであった原因といてであった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではおりでなかった。 ではながった。 ではながった。	□

	業コード	1444		課コード		1604		会計種別	一般会計				予算	の種類	□政策	■経常	コなし
				per ·				2411(22)	(//				7 77	T I I			
1.	事業の概要 (PLAN)		基本事業						m+=1==								
		①事業名		書・映像資料の整理	とデータ作成				実施計画へ 位置づけ		〇春	0無		②部課名	生涯学習部	『・鳥の博物館	
		③事業主体	●市 (〇その他()	④対象地区		□我孫子	口天王台	口湖北	□新木	口布佐	■全市	
(1)事	業概要	⑤事業期間			平成17年度 ~				⑥担当職員数		初)	2	2 人	(換算人数 (うち人件費		0.1 人)	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費		0 千円				当該(開始)	年度 ——	更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策	51201		重点プロジェクト	香		基本計画地		●	i		部門別計画への	(計画名)	社会教育推進計画	ī
			コード			への位置づけ 習関連事業の体系化・			計画への位置				ろために必ら	位置づけ 要な情報を提供でき			
(2)目	的	施策目的 · 展開方向	どを進めて、タ	生涯学習振興に関す	る行政施策を総合	的に推進します。ま	た、学習に関する	情報提供、相談体	事業目的					タベースを構築する		当を収集し、中氏(グ同じいこめして
			鳥類学や身近フ	な自然に関する博物	館運営に有効な図	大学、研究機関、企業を選定し、来館者	が利用しやすいよ	うに閲覧コーナー		通年	随時、月	10回程度データブ	人力、雑誌図	図書等のPDF化の実	施、PDFデータ	タベースの作成	
			を登埋する。		技様子の目然を記	録した画像・映像資	料も収集登埋し、	凶書とともにナー	当該年度								
(3)事	業内容	内 容							執行計画								
									当該年度	書籍	蔵書数					想定值	4, 050
									活動結果指						単位	生 件 実績値	4, 506
	成目標(期待する成果)	良に関する姿料 た	旧集! 1.ファ	達原 レンスワークを充実	成目標(期待する成 させる	艾果)			指標種類		蔵書数	指	標		単位		(6)目標値
	該年度			レンスワークを充実					直接		蔵書数						4, 050
令	和 2年度								直接		蔵書数						4, 100
令	和 3年度	局に関する資料を	収集し、レファ	レンスワークを充実 	<u></u>				直接	書籍	i 咸書叙				m		4, 150
(7)事	業実施上の課題と対応								代替案検	討	O有	●無					
			平成30年度	Ę			平成31年度				令和	2年度			令和	和 3年度	
		政策	内 容	金額(千	円) 政策	内 容	予算	算額(千円) 決算額	(千円) 政		内 容		金額(千円]) 政策	内 容	\$	金額(千円)
		(経常) 臨時職員雇用例	고除		(経常)	員雇用保険		3		(経常) 語時職員雇用	4年除			(経常) 3 臨時職員原	〒田 保除		•
		ここの時間 1 日本 1 日本	KIX		993 臨時職員	員賃金		993 203	993	呵職員准用 語時職員賃金 詳耗品費				993 臨時職員第			993 203
		月托品質			213 月耗品3	ii (203	203	月 托品賞			2	203 月托品質			203
(0) t/c	実施内容 行事項 ## B																
(0) /他	^{打争項} 費 用																
	予算(決算)額		h 計	1	. 209	合 計		1, 199	1, 199		合 計		1. 1	100	合 計		1, 199
	国庫支出金	補助率	0	%	0 補助率		0 %	0	0 補	助率		0 %	1, 1	0 補助率		0 %	0
(9) 財	原内訳 県支出金 起債	補助率 充当率		%	0 充当率		0 %	0	0 充	当率		0 % 0 %		0 充当率		0 % 0 %	0
	一般財源その他の財源	□特会 □受	益 口基金 口その	の他		会 □受益 □基金 □-	その他	1, 199		□特会 □受	受益 □基金	□その他		0 □特会	口受益 口基金	金 □その他	1, 199
(10) J	換算人数(人) 正職員人件費				0. 15 , 320			0. 1 880	0. 1 880					D. 1 380			0. 1 880
	嗎託 職員 報酬額 臨時職員賃金額				996			996	0 996					996			0 996
(11) 単	(予算(決算)額+正職員人件費) 単位費用		0.64千円/		, 529	0.51千円	/ 性	2, 079	2, 079 0, 46				2, 0	079			2, 079
	事業費/活動結果指標) 事業の評価 (D0+CHECK	<u> </u>	0.04717	17		0.5171			0.40								
۷.) 		7	k +4 -50 /m			<u> </u>		.	7 44 F.T.	/m /==/m/+ m/- r	+ 10 74 # 5		+.\ \		76.**+6.51
	評価項目	図書閲覧コーナー	の図書資料を充		事 前 評 価 に関する情報を提	供する。また、博物	館の収蔵する蔵書	*のリファレ ● (①事前確認での				いし、 以書き	案検討(拡充も含む	G))		改善検討
	1)事業が今必要である理由・	ンスサービスをス	ムーズに行うたる	めには、資料のデー	タベース化を整備	+ 7 2 = 18 + 7			の本が体制で	D想定どおり	「でなかった						
	背景は?(事業の必要性)	1				「9る必要かめる。		100	❷争削傩総€♥								〇要
l ⊦						19 る必安かめる。		< 想	定どおりとし			なかった原因> 作成、調査研究の	ために図書	*資料の収集やデー	・タベースの作	■成は引き続き重要	○要 ●不要
必		〇①民間企業、N	NPO、市民団体	*等では実施できなし	\			< た ある	まだおりとし からの多様な 。	質問への回答	答、展示の作	作成、調査研究の		*資料の収集やデー 施の具体的な内容			●不要
		(理由) □法令等	で市が実施する	*等では実施できなし ことが定められてい				- <地 市長 ある □ □	まただおりとしたからの多様なり。 ①民間企業、N ②市が主導で通	質問への回答 NPO、市民 進めなければ	答、展示の作品 発団体等では ではないない。	作成、調査研究の 実施できなかった	と <市実施 専門知識	施の具体的な内容 識を持つ職員が図	・必要性の理理	由>	●不要
要		(理由) □法令等	で市が実施する。 体が市しかない	ことが定められてい				< 想	また は は は は は は は は は は は は は	質問への回答 NPO、市民 進めなければ なったこと	答、展示の作品 団体等では でま効性がないで で市民へ普	作成、調査研究の 実施できなかった かった 及が一層	と <市実施 専門知識	施の具体的な内容	・必要性の理理	由>	●不要
14.	2) 市が実施する必要性は あるか?	(理由) □法令等 □提供主 □その他	で市が実施する。 体が市しかない 6市が推進すべき	ことが定められてい *である	る <その他の	の内容>		< 表 市長 の口 口(口(定 定 に に に に に に に に に に に に に	質問への回答 NPO、市民 となったこと 対策・施策の を が確保され	答、展示の作品団体等では 受効性がないで市民へ普の目標の実現	作成、調査研究の 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した	と <市実施 専門知識	施の具体的な内容 識を持つ職員が図	・必要性の理理	由>	●不要 アレ 〇要
14.		(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主 ■市が実	で市が実施する。 体が市しかない 6市が推進すべき 導で進めること 施・提供するこ。	ことが定められてい である により実効性が得ら とにより、良質で安	る <その他のれる	の内容>		< 表 市 方 ある。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	R定どおりとしなからの多様な。。 ①民間企業、Nでは、 ②市が先導でといる。 のでは、では、 ②市が先された。 ②市が近された。 ③市のビススの3 00000000000000000000000000000000000	質問への回答 NPO、市民 もめなければとなったこと 女策・施保さればとなった。 な策・確保さ基盤 で定供給基盤	答、展示の作品団体等では 受効性がないで市民へ普の目標の実現	作成、調査研究の 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した	と <市実施 専門知識	施の具体的な内容 識を持つ職員が図	・必要性の理理	由>	●不要 で アレ
44	あるか?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主 ■市が実 サード □市が支	で市が実施する。 体が市しかない 市が推進すべき 導応・提供すること なス 援することによ	ことが定められてい である により実効性が得ら とにより、良質で安	る <その他の れる 定した	の内容>		< 表 市 方 ある。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	定どおりとしたからの多様ない。 ①民間企業、 Nu 20 では、	質問への回答 NPO、市民 もめなければとなったこと 女策・施保さればとなった。 な策・確保さ基盤 で定供給基盤	答、展示の作品団体等では 受効性がないで市民へ普の目標の実現	作成、調査研究の 実施できなかった かった 及が一層 に貢献した	と <市実施 専門知識	施の具体的な内容 識を持つ職員が図	・必要性の理問	由>	●不要 アレ 〇要
44	あるか?	(理由) □法令等 □提供主 □その他 ●②自治体である (理由) □市が主 ■市が実 サード □市が支	で市が実施する。体が市で進せます。 あ市が推進することは、 は、が保証されている。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ことが定められてい である により実効性が得ら とにより、良質で安	る <その他の れる 定した	の内容>		< 表 市 方 ある。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(定どおりとした) を 様な したからの多様な ①民間企業、 ○	質問への回名 NPO、市民 も となったこと となったこと りないを を を を を を を を を を を を を を を を た の に た に た に を た を た を た を た を た を た を を を を	答、展示の作品団体等では では では で で 市民へ き の目標の実現 た た で 能 が 能 が は で き で も に り き き で も に り き き で も に り た り た ら た ら た ら た ら た ら た ら た ら た ら た	作成、調査研究の 実施できなかった かった 及が一層 出に貢献した	と <市実施 専門知識	施の具体的な内容 識を持つ職員が図	・必要性の理問	由>	●不要 アレ 〇要
44	あるか?	(理由) □法令供主 □法令供主 □法令供主 □とは、日本の他 □をは、日本の他 □は、日本のの他 □は、日本のの他 □は、日本のの他 □は、日本のの他 □は、日本のの他 □は、日本のの他 □は、日本のの他 □は、日本のの他	で市が実施するに体が市しかない。 あ市が推進することはで、進供することに応えが保まされるようなが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	ことが定められていまであるにより実効性が得らとにより、良質で安け政策・施策の目標の内容	る < その他の なこと の	の内容> の内容> エ夫の具体		< 表 市 方 あ る □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	また。 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を	質問への回記 IPO、that Education in the control in the	答、展示の作品団体等ではな等ではなぎでいます。 ではではない ままれ ではない ままれ ではない ままれ ではい ない	作成、調査研究の 実施できなかった かった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	と く市実施専門知識シスを記	施の具体的な内容 施を持つ職員が図割 充実することができ 参加・協	・必要性の理問	由> たることで、リフ	●不要 アレ 〇要
性 (;	あるか?	(理由) □法令等 □ 法令 申 □ 法令 申 □ 法令 申 □ 法令 申 □ 市 が ネ ○ □ 市 市 が 字 □ 中 市 が す 中 市 が す 中 市 が す 中 市 が す 平 の 他 □ ○ ① 事 業 計 画 時 □ ② 事 業 実 施 時 に	で市が実施するい 体が市しか 実施するい ち市が推進めている 時間 でき はいます でき はいます でき はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	ことが定められてい である により実効性が得ら とにより、良質で安 り政策・施策の目標	る れる 定した の 図書資料(の内容>	未館者や市民スタ	<表	また。 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を 記を	質問への回記 IPO、that Education in the control in the	答、展示の作品団体等ではな等ではなぎでいます。 ではではない ままれ ではない ままれ ではない ままれ ではい ない	作成、調査研究の 実施できなかった かった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	を	施の具体的な内容 識を持つ職員が図割 充実することができ 参加・協 都期待した以上 4初期待したとより	・必要性の理は書の収集にあった。	由> たることで、リフ	●不要 アレ 〇要
参加:	あるか? (市実施の必要性) 「市実施の必要性」 「大阪の参加や市民との協働を	(理由) □法条件主他 □法条件主他 □法提供の他 □ ②自治□□市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で	ことが定められてい である により実効性が得らとにより、良質で安 り政策・施策の目標	る れる 定した の 図書資料(の内容> の内容> 工夫の具体 の購入に際しては、オ	未館者や市民スタ	<表	定どおりとしな。 ①民間企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業を担け、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	質問への回記 IPO、that Education in the control in the	答、展示の作品団体等ではな等ではなぎでいます。 ではではない ままれ ではない ままれ ではない ままれ ではい ない	作成、調査研究の 実施できなかった かった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	を マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マー	施の具体的な内容 歳を持つ職員が図書 充実することができ 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	・必要性の理は書の収集にあった。	由> たることで、リフ	●不要 ○要 ●不要
参加:	あるか? (市実施の必要性)	(理由) □法令等主 □法令等主 □法令等主 □法使共主 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で	ことが定められてい である により実効性が得らとにより、良質で安 り政策・施策の目標	る れる 定した の 図書資料(の内容> の内容> 工夫の具体 の購入に際しては、オ	未館者や市民スタ	<表	定どおりとしな。 ①民間企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業を担け、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	質問への回記 IPO、that Education in the control in the	答、展示の作品団体等ではな等ではなぎでいます。 ではではない ままれ ではない ままれ ではない ままれ ではい ない	作成、調査研究の 実施できなかった かった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	を マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マー	施の具体的な内容 識を持つ職員が図割 充実することができ 参加・協 都期待した以上 4初期待したとより	・必要性の理は書の収集にあった。	由> たることで、リフ	●不要 アレ ○要 ●不要
性()参加・協働	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に実しているか?	(理由) □法会共主 □法会共主 □ と □ 法会共主 □ と □ 法 □ 日本 本 が さ ・ □ 本 が ま □ 日本 市 市 が 実 □ □ 市 で 現 が □ 2 事 業 計 画 廊 時 に ○ ② 市 官 理 ら ○ ⑤ 市 民 と 共 同 の ⑤ 市 民 と 共 同 で は い ま い ま で い ま い ま い ま い ま い ま い ま い ま い	で市が東流するい でかける では 進さる いっぱ で は 進め すっこ で は 進め すっこ で は とこ る と に かか かか を 民のの かと に 市 市 民 のの かと に こ 市 市 民 の の かと で 事 ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま す い か か か き と に か な か も に 市 な な ま す い か ま ま な に す な ま す い か ま す い ま す い か ま す い ま ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま ま ま す い ま ま す い ま ま ま す い ま ま ま ま	ことが定められてい である により実効性が得らとにより、良質で安 り政策・施策の目標	る れる 定した の 図書資料(の内容> の内容> 工夫の具体 の購入に際しては、オ	未館者や市民スタ	<表	定どおりとしな。 ①民間企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業を担け、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	質問への回記 IPO、that Education in the control in the	答、展示の作品団体等ではな等ではなぎでいます。 ではではない ままれ ではない ままれ ではない ままれ ではい ない	作成、調査研究の 実施できなかった かった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	を マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マー	施の具体的な内容 歳を持つ職員が図書 充実することができ 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	・必要性の理は書の収集にあった。	由> たることで、リフ	●不要 ○要 ●不要
参加:	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に実しているか?	(理由) □ は	で市が東流するい でかける では 進さる いっぱ で は 進め すっこ で は 進め すっこ で は とこ る と に かか かか を 民のの かと に 市 市 民 のの かと に こ 市 市 民 の の かと で 事 ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま ま を に で す な ま す い か か か き と に か な か も に 市 な な ま す い か ま ま な に す な ま す い か ま す い ま す い か ま す い ま ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま す い ま ま ま す い ま ま す い ま ま ま す い ま ま ま ま	ことが定められてい である により実効性が得らとにより、良質で安 り政策・施策の目標	る れる 定した の 図書資料(の内容> の内容> 工夫の具体 の購入に際しては、オ	未館者や市民スタ	<表	定どおりとしな。 ①民間企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業、ト道の企業を担け、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	質問への回記 IPO、that Education in the control in the	答、展示の作品団体等ではな等ではなぎでいます。 ではではない ままれ ではない ままれ ではない ままれ ではい ない	作成、調査研究の 実施できなかった かった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	を マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マーマ マー	施の具体的な内容 識を持つ職員が図 充実することができ 参加・協 動初期待したとおり 動初期待したとおり 動の期待以下 した以上となったま	・必要性の理は書の収集にあった。 協働の程度・卓 理由/期待以	由> たることで、リフ	●不要 ○要 ●不要
参加:	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に実しているか?	(理由) □法令等主 □法令等主 □法令等主 □法院供主 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	で市が実施するに、	ことが定められていまである。により実効性が得ら、とにより、良質で安け政策・施策の目標の内容	る くその他の れる 定した の 図書資料の 会員等の	の内容> エ夫の具体 が購入に際しては、オ 要望を参考にしている	来館者や市民スタ る。 い内容	< 表	はたから したから したから したがら したがたされている。 したではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	質問への回 IPO、けた をはない をない をない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない では、 はいが考えらい では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	答、展示の作品は、	作成、調査研究の実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) とに、購入する区	を	施の具体的な内容 識を持つ職員が図 充実することができ 参加・協 動初期待したとおり 動初期待以下 した以上となった野	・必要性の理は書の収集にあった。	由> たることで、リフ	●不要 ○要 ●不要
性参加・協働の工夫環	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に実しているか?	(理由) □ □ は	で市が実施すない を持たいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められていまである。により実効性が得ら、とにより、良質で安け政策・施策の目標の内容	る < その他の なた	の内容> エ夫の具体 の購入に際しては、オ 要望を参考にしている	来館者や市民スタ る。 い内容 みを理解するため	< 表	はたから したから したから したがら したがたされている。 したではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	質問への回 IPO、けた をはない をない をない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない では、 はいが考えらい では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	答、展示の作品は、	作成、調査研究の実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) とに、購入する区	さ マ市実施 専門知を オール マール マール マール マール マール マール マール マール マール マ	施の具体的な内容 識を持つ職員が図 充実することができ 参加・協 動初期待したとおり 動初期待したとおり 動の期待以下 した以上となったま	・必要性の理は書かり、	由> たることで、リフ	●不要 ○要 ●不要
性・参加・協働の工夫・環境へ	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に実しているか?	(理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (可由) □□ (可由	で体が市が上進のでは、	ことが定められてい である により実効性が得ら とにより、良質で安 り政策・施策の目標 り内容	る < その他の なた	の内容> エ夫の具体 の購入に際しては、来 要望を参考にしている 取組む	来館者や市民スタ る。 い内容 みを理解するため	< 表	はたから したから したから したがら したがたされている。 したではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	質問への回 IPO、けた をはない をない をない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない では、 はいが考えらい では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	答、展示の作品は、	作成、調査研究の実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) とに、購入する区	書 ○①当当当 本 ・	施の具体的な内容 能を持つ職員ができ を持つ職員ができ 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり した以上となった 環 環定どおり	・必要性の理はあった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ	●不要 ●不要 ●不要 ●不不要 ●不不要
性・参加・協働の工夫・環境へ	あるか? (市実施の必要性)	(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で 体が市 が 主 い は か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	ことが定められてい である により実効性が得ら とにより、良質で安 り政策・施策の目標 り内容	る < その他の なた	の内容> エ夫の具体 の購入に際しては、来 要望を参考にしている 取組む	来館者や市民スタ る。 い内容 みを理解するため	< 表	はたから したから したから したがら したがたされている。 したではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	質問への回 IPO、けた をはない をない をない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない では、 はいが考えらい では、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	答、展示の作品は、	作成、調査研究の実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) とに、購入する区	書 ○①当当当 本 ・	施の具体的な内容 能の具体的な内容 能を持つ職員ができることができる。 参加・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協	・必要性の理はあった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ	●不要 ○要 ●不要
性・参加・協働の工夫・環境へ	あるか? (市実施の必要性)	(理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (理由) □□ (可由) □□ (可由	で 体が市 が 主 い は か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	ことが定められてい である により実効性が得ら とにより、良質で安 り政策・施策の目標 り内容	る < その他の なた	の内容> エ夫の具体 の購入に際しては、来 要望を参考にしている 取組む	来館者や市民スタ る。 い内容 みを理解するため	< 表	はたから したから したから したがら したがたされている。 したではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	質問への回 IPO、けた をはない をない をない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない では、 はいが考えらい では、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	答、展示の作品は、	作成、調査研究の実施できなかった 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) とに、購入する区	書 ○①当当当 本 ・	施の具体的な内容 能の具体的な内容 能を持つ職員ができることができる。 参加・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協	・必要性の理はあった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ	●不要 ●不要 ●不要 ●不不要 ●不不要
性・参加・協働の工夫・環境へ	あるか? (市実施の必要性)	(理由) □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	で 体が市 が 主 い は か に か に か に か に か に か に か に か に か に か	ことが定められてい	る	の内容> エ夫の具体 の購入に際しては、来 要望を参考にしている 取組む	来館者や市民スタ る。 い内容 ひを理解するため きるようにする。	< 表	によりと様	質問への回 IPO、けた をはない をない をない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない をはない では、 はいが考えらい では、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。	答、展示の作品は、	作成、調査研究の実施できなかった 実施できなかった 及が一層 はに貢献した。 た (又は今容) とに、購入する図 の内容)	書 ○①当当当 ・	施の具体的な内容 能の具体的な内容 能を持つ職員ができることができる。 参加・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協	・必要性の理はあった・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ	●不要 ●不要 ●不要 ●不不要 ●不不要
性参加・協働の工夫環境への配慮	あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □□ (型) 事業業里・のと動物・のである。 ○○ (型)	で市が市で、保証のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められてい である にという。 にという。 にという。 にという。 にという。 にという。 にという。 になり。 になり。 になり。 にない。 にという。 にという。 にないる。 「はない。 にないる。 「はない。 にないる。 「はない。 にないる。 「はない。 「はない。 「はない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「ない。 「	る	の内容> エ夫の具体 が表示に際している の関係を考えている の関係を考えている の関係を表示にしている のとする自然の仕組み まし、市民が利用でき	来館者や市民スタ る。 い内容 ひを理解するため きるようにする。		によりと様	質 P O ない かまで P O で P O	答、展示の作品は対象のではなき、現のは、	作成、調査研究の実施できなかった。 実施できなかった及が一層 に貢献した た (又は今後、その内容)とに、購入する区 ●①目標値達達を ●①②目標値を達達を	本 マー・	施の具体的な内容 を持つ職員ができ を持つ職員とができ 参加・協 初期特した以上とおり した以上となった耳 環定どおりでなかった原	・必要性の理(の理)・必要性の理(を)・必要性の理(を)・必要性の理(を)・がの程度・がの程度・が、の配慮を)・なる。	由> たることで、リフ	● 不要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 対し	あるか? (市実施の必要性)	(理由) □□ (型) 事業業里・のと動物・のである。 ○○ (型)	で市が市で、保証のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことが定められてい 「である」 により実効性が得ららとにより、	る	の内容> エ夫の具体 の購入に際してしている 取組む を参考にしている 取組む がとする自然の仕組の まし、市民が利用でき がき値ではない ではない ではない	来館者や市民スタ る。 心内容 みを理解するため きるようにする。		定どおりを様	質問へのの Read of the control of the c	答、展示の作品は対象のではないではないではないではないではないではないできます。 日本 標本 はいまい はい	作成、調査研究の 実施できなかった 実施でた アカッカー アカー アカー アカー アカー アカー アカー アカー アカー アカー ア	本	施の具体的な内容 能の具体的な内容 能を持つ職員ができることができる。 参加・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・協	・必要性の理はきた。	由> たることで、リフ	●不要 ●不要 ●不要 ●不不要 ●不不要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 対し	あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □□ (型ー) (型ー) (型ー) (型ー) (型ー) (型ー) (型ー) (型ー)	で体が市が車準を ・	ことが定められてい である によりり実効性が得らら とによりすり、	る	の内容> エ夫の具体 オラの内容> エ夫の具体 オラの 関係 では、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いるのでは、いない。	来館者や市民スタ る。 心内容 みを理解するため きるようにする。		またい。 (記) とはない。 (記) にはいる。 (記)	質 I P O へ 、 けん	答、展示の作品は対象のではないではないではないではないではないではないできます。 日本 標本 はいまい はい	作成、調査研究の 実施できなかった 実施でた 及が一層 はにた (又は今容) とに、 (その内容) とに、 関係値値を達成した (予定通り図書標値を達成した)	書 ●①②3 特 ・	施の具体的な内容 能の具体的な内容 意を持つ職員とができる。 参加・協 ・協 ・協 ・協 ・協 ・初期特したとおり ・お初の期待したとおり ・した以上となった耳 ・環定どおりでなかった原 とさどおりでなかった原 とさまりでなかった原 とさまりでなかった原 とさまりでなかった原 とさまりでなかった原 となった原因とか	・必要性の理は、おいできた。	由〉 たることで、リフたることで、リフケスを	● 不要要要要要要要要要要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 対し	あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □□ (型市市現の也) □□ (型市市のの値) ○○ (型市市のの値) ○○ (型・1)	で体が市が市地推の大学を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	ことが定められてい 「である」 「である」 「である」 「はよりでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	る	の内容> エ夫の具体 の購入に際考にしている 取組む を参考にしている を参考にしている なとする自然が利用でき はづき設定はない をしている にはない対象例におけ 実施予定の対策 □⑤PF	来館者や市民スタ 5。 2)内容 みを理解するため きるようにする。 ク ナる目標値(と現別 1 等民間資本の)		に と	質 P O	答、展示の作品は、	作成、調査研究の 実施できなかった 実施った 関査研究の 実施った 関応 たた (又は今容) とに、 大とに、 (その内 購入する 区 (その内 関係 できなかった (できなかった (できなかった)))) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった) (できなかった)) (できなかった) (できなかった)) (できなかった)) (できなかった) (できなかった)) (できなかった) (できなかった)) (できなかった) (できなかった) (できなかった) (できなかった) (できなかった) (できなかった) (できなかった) (できなかった)	は、専ンスをできます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	施の具体的な内容 を持つ職員ができ 参加・協 ・ は 初期待ししたとおり ・ は 初期 期待したと下 ・ は 初初の期待したと下 ・ した以上となった ・ は でなかった原 と どおりでなかった原 と となる。ことが を 選成となる。ことが ・ な で なかった原 と がですかった原 と がですかった原 と がですかった原 と がですがった原 ・ で は かった原 ・ と で な かった原 ・ と がで が った原 ・ と が で な かった原 ・ と が で な かった原	・必要性の理はの理集にあった。 「の配慮」 「なっている。 「なっている。	由〉 たることで、リフ たることで、リフ	● 不要要要要要要要要要要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	で体が市が市 推進の保証を はいる で体が はいます はい はいます はい はいます はい はいます はい はいます はいます	ことが定められてい である にといす にといす にといす の内容 「というないかららではによいな のではのでは、 のではのでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	る	の内容> エ夫の具体 の勝入に際者にしている 取組む がとする自然の利用でき は値の妥当性のチェッ を対定している いはない 対象例におけ 実施予定の対策 □⑥・受益	来館者や市民スタ の内容 みを理解するため きるようにする。 ク ク 「等民間資本のの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		定どおりを様か。 ①民間企業等で役という。 ②②のでは、下近とのでは、下近とのでは、下近とのでは、下近とのでは、下近とのでは、下近とのでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、でのでは、	質 P O	答、展示の作品ではな音 現 は 等性	作成、調査研究の 実施できなかった 実施でた アンマット できなかった アンマット できなかった アンマット できなかった アンマット できなかった アンマット できない アンマット アンマット できない アンマット できない アンマット できない アンマット アンマット できない アンマット できない アンマット アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	は、専ンスをできます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	施の具体的な内容 を持つ職員ができることができる。 参加・協 初期特した以上 初初期待したと下 した以上となった耳 見定どおりでなかった原 となることがでなかった原 全域とを進めることがでなかった原 全域となる。 事業の想	・必要性の理が はい が は きき た の 配慮 た 原因 と かい できた の 削減りり で を 費定 ど ど おりり で を 要 の の の で を 要 の の で を 要 の の で を 要 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	由〉 たることで、リフ たることで、リフ	● 不要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率 () 対 () () () () () () () () (あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □□ (型面) □□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□ (□□	で体が市が市地推の大学を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	ことが定められてい 「である」 により実効性が得ららとにより、	る	の内容> エ夫の具体 の勝入に際者にしている 取組む がとする自然の利用でき は値の妥当性のチェッ を対定している いはない 対象例におけ 実施予定の対策 □⑥・受益	来館者や市民スタ の内容 みを理解するため きるようにする。 ク ク 「等民間資本のの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マス	に と	質 P O	答、展示の作品ではな音 現 は 等性	作成、調査研究の 実施できなかった 実施った 関査研究の 実施った 関応 たた (又は今容) とに、 (スの内購入する 区 (その内購入する 区 (本) は値値 定選書 実力 (本) はのの (本) はのの (本) はのの (本) はの (本) はできなかった (本) はできなが、(本) はで	は、専ンスをできます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	施の具体的な内容 を持つ職員ができ 参加・協 ・ は 初期待ししたとおり ・ は 初期 期待したと下 ・ は 初初の期待したと下 ・ した以上となった ・ は でなかった原 と どおりでなかった原 と となる。ことが を 選成となる。ことが ・ な で なかった原 と がですかった原 と がですかった原 と がですかった原 と がですがった原 ・ で は かった原 ・ と で な かった原 ・ と がで が った原 ・ と が で な かった原 ・ と が で な かった原	・必要性の理が はい が は きき た の 配慮 た 原因 と かい できた の 削減りり で を 費定 ど ど おりり で を 要 の の の で を 要 の の で を 要 の の で を 要 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	由〉 たることで、リフ たることで、リフ	● 不要要要要要要要要要要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率 () 対	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に表しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □□	で体が市が市が上では、	ことが定められてい である である である である である であり の内容 「とにとい の内容 「ので の現現 のの のの のの のの のの のの のの のの	る	の内容> エ夫の具体 の勝入に際者にしている 取組む がとする自然の利用でき は値の妥当性のチェッ を対定している いはない 対象例におけ 実施予定の対策 □⑥・受益	来館者や市民スタ の内容 みを理解するため きるようにする。 ク ク 「等民間資本のの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マス	定どおりを様	質 P O な	答、展 等 (作成、調査研究の 実施できなかった 実施った 関査研究の 実施った 関応 たた (又は今容) とに、 (スの内購入する 区 (その内購入する 区 (本) は値値 定選書 実力 (本) はのの (本) はのの (本) はのの (本) はの (本) はできなかった (本) はできなが、(本) はで	で 専ン マー・	施の具体的な内容 を持つ職員ができることができる。 参加・協 初期特した以上 初初期待したと下 した以上となった耳 見定どおりでなかった原 となることがでなかった原 全域とを進めることがでなかった原 全域となる。 事業の想	・必要性の理が はい が は きき た の 配慮 た 原因 と かい できた の 削減りり で を 費定 ど ど おりり で を 要 の の の で を 要 の の で を 要 の の で を 要 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	由〉 たることで、リフ たることで、リフ	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 率 () 対	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に表しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □□	で体が市が上進のでは、	ことが定められてい である である である である である ではたい いた である の内容 の内容 の内容 の内容 のの のの のの のの のの	る	の内容> エ夫の具体 の勝入に際者にしている 取組む がとする自然の利用でき は値の妥当性のチェッ を対定している いはない 対象例におけ 実施予定の対策 □⑥・受益	来館者や市民スタ の内容 みを理解するため きるようにする。 ク ク 「等民間資本のの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マス	定どおりを様	質 P O な	答、展 等 (作成、調査研究の つが	で 専ン マー・	施の具体的な内容 を持つ職員ができることができる。 参加・協 初期特した以上 初初期待したと下 した以上となった耳 見定どおりでなかった原 となることがでなかった原 全域とを進めることがでなかった原 全域となる。 事業の想	・必要性の理が はい が は きき た の 配慮 た 原因 と かい できた の 削減りり で を 費定 ど ど おりり で を 要 の の の で を 要 の の で を 要 の の で を 要 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	由〉 たることで、リフ たることで、リフ	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 間 で で 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を に表しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて いるか?	(理由) □□ (型ー) (で体が市が市が東京では、「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	ことが定められています。	る	の内容> エ夫の具体 の購入に際考にしている 取組むのとする自然が利用できる は値の妥当性のチェッ をいいはない対象例におけ 実施予定の対策 「⑥ P F 益のにはない対象 「⑥ P F 益のにはない対象	来館者や市民スタ の内容 みを理解するため。 ク かきるようにする。 1 等民間資本のの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	マス	また。 記とおりを様 、	質 P O	答、展等性は、	作成、調査研究の つが	本	施の具体的な内容 を持つ職員ができることができる。 参加・協 初期特した以上 初初期待したと下 した以上となった耳 見定どおりでなかった原 となることがでなかった原 全域とを進めることがでなかった原 全域となる。 事業の想	・必の収。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ たることで、リフ をについて なかった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 間 で で 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を で大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか?	(理由) □□ (型ー) (で体が市が市が東京 では、	ことが定められてい 「である」 「でよりする」 「でよりする」 「でよりする」 「でよりする」 「でよりまする」 「でよりまする」 「でよりまする」 「ではりまする。 「ではりまする。 「ではりまする。 「ではりまする。 「ではりまする。 「ではいる」 「ではいるいる」 「ではいる」 「ではいるいる」 「ではいる」 「ではいる」 「ではいる」 「ではいる」 「ではいる」 「ではいる」 「ではいる」 「ではいる」 「ではいる」	る れた くその他の なわた の 図会員等の 3	の内容> エ夫の具体 の購入に際考にしている の関連を参考にしている 取組むのとする自然が利用できる をいるとではない をいいない 実施予定の対策 「日本の対策 「日本の対	来館者や市民スタ さの容 なを理解するため。 ク かを選挙をようにする。 ク たる目標値(と現ぶ 「1等負担 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	マラス マ	また。 記とおりを様 、	質 P O な	答、展等的の介ではな音 現 れ	作成、調査 なかった (実施でた 層 なかった 層 なかった 層 たった (又の内 講査 で と で で で で で で で で で で で で で で で で で	本	施の具体的な具体のできる。 参加上 が は が が が が が が が が が が が が が が が が が	・必の収。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ たることで、リフ をについて なかった原因>	● 不 要 要 要 要 要 要 要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 間 で で 「 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に夫しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか?	(理由) □□ ★	で体が市が市が東京 では、	ことが定められています。	る れた くその他の なわた の 図会員等の 3	の内容> エ夫の具体 オスの 具体 オスの のの の の の の の の の の の の の の の の の の	来館者や市民スタ さの容 なを理解するため。 ク かを選挙をようにする。 ク たる目標値(と現ぶ 「1等負担 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	マラス マ	またい。 (まから) (まから) (まから) (まから) (まから) (まから) (まから) (ます) と様 (まから) (ます) と様 (ます) と様 (ます) と様 (ます) とから (まず) とがら (まず) とが) とがら	質 P の	答、展等的の介ではな音 現 れ (字)	作成、調査 なかった (実) でた 層 にた (文の内 購入 する 区 区 で	本	施の具体的な具体のできる。 参加上 が は が が が が が が が が が が が が が が が が が	・必の収。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ たることで、リフ をについて なかった原因>	● 不要 要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3.	あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか? 3)目標値を実現する為に 投じる事業力は適正か? (目標対費用)	(理由) □□ ★	で体が市が市が車を では で は で は で は で は で は で は で は で は で は	ことが定められてい 「である」 「である」 「である」 「でありまり 下であります。 「であります。 「であります。」 「であります。 「であります。」 「であります。 「であります。」 「であります。 「であります。」 「でありまする。」 「できままする。」 「できままする。」 「できままする。」 「できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	る	の内容> エ夫の具体 の購入に際考にしている 取組む、 を考えてはいる の要望を参考にしている のとする自然が利用でき を設定しない では、な比較対象例におけ 実施予定 □○⑦その 計算方法 を指標:目標値 をで にはな様に、 には、 を使 の子もの にはながする。 には、	来館者や市民スタ おもこの容 みを選解するもため みをるようにする。 ク なる目標値(と現び 「者負担 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	マラス マ	定どの	質 P の	答、展等的の介ではな音 現 れ (字)	作成、調査 なかった (実) でた 層 にた (文の内 購入 する 区 区 で	本	施の具体的な具体のできる。 参加上 が は が が が が が が が が が が が が が が が が が	・必の収。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ たることで、リフ をについて なかった原因>	● 不要 要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3.	あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に夫しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか? 3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)	(理由) □□ ★	で体が市が市が東京 では、	ことが定められてい 「である」 「である」 「である」 「である」 「である」 「である」 「いる」 「であり」 「いる」 「であり」 「いる」 「であり」 「いる」 「であり」 「でありまする」 「でありまする。「でありまする。「でありまする。「でありまする。「でありまする。「でありまする。「でありまする。「でありまする。「でありまする。「でありま	る れた くその他の なわた の 図会員等の 3	の内容> エ夫の具体 の購入に際考にしている 取組む、 を考えてはいる の要望を参考にしている のとする自然が利用でき を設定しない では、な比較対象例におけ 実施予定 □○⑦その 計算方法 を指標:目標値 をで にはな様に、 には、 を使 の子もの にはながする。 には、	来館者や市民スタ さの容 なを理解するため。 ク かを選挙をようにする。 ク たる目標値(と現ぶ 「1等負担 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	マラス マ	定どの	質 P の	答、展等的の介ではな音 現 れ (字)	作成、調査 ない かが	本	施の具体の職とができる。 参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・必の収。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ たることで、リフ をについて なかった原因>	● 不要 要 要
性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 3 ● 3 ● 3 ● 3 ● 3 ● 3 ● 3 ● 3 ● 3 ● 3	あるか? (市実施の必要性) 「市民の参加や市民との協働を に大しているか? 体制づくり) 環境に配慮して事業を進めて 1)目標設定は適切か? 2)事業費削減の工夫をして いるか? 3)目標値を実現する為に 投じる事業力は適正か? (目標対費用)	(理由) □□ ★	で体が市が市体ところは、	ことが定められてい 「である」 「でよりすいを 「としている」 「でよりますが、 施策の目標に にといる。 「でよりますが、 施策の目標に にといる。 「では、 できないできますが、 施策の目標に 「では、 できないできますが、 一つでは、 できないできますが、 一つでは、 できないできますが、 一つでは、 できないできますが、 できないできないできますが、 できないでは、 できないでは、 できないできないでは、 できないできないできないできないできないできないできないできないできない。 「できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	る	の内容> エ夫の具体 の購入に際考にしている 取組む、 を考えてはいる の要望を参考にしている のとする自然が利用でき を設定しない では、な比較対象例におけ 実施予定 □○⑦その 計算方法 を指標:目標値 をで にはな様に、 には、 を使 の子もの にはながする。 には、	来館者や市民スタ おもこの容 みを選解するもため みをるようにする。 ク なる目標値(と現び 「者負担 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	マラス マ	定どの	質 P の	答、展等的の介ではな音 現 れ (字)	作成、調査 ない かが	本	施の具体的では、	・必の収。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	由> たることで、リフ たることで、リフ をについて なかった原因>	● 不要 要 要

	- F	1886			課コード		1604		会計種別	一般会	<u></u> 송計			予算(の種類	□政策 □]経常 I	■なし	
4									→ H17至7	7X 2				1 34-0					
1. 事業	関ロ 		基本事業							±*-	十画への								
		①事業名		常設展示リ	ニューアル						置づけ	〇有	0 無		②部課名	生涯学習部・	鳥の博物館		
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	○その他		30年度 ~ 令和 4年度				④対象地区⑥担当職員数		□我孫子	口天王台	□湖北 3 人	□新木 (換算人数	□布佐 0			
(1)事業概要	要	⑦事業費	総事業費			68,070 千円				当該(開始)年度				528 千円			528 千円)		
		(人件費含む)	施策				番占プロジェクト			基本計画地区別		(変更後)			(うち人件費 千円) 部門別計画への (も) エタン サルボールの おば				
		⑧施策の位置づけ	コード		51103		への位置づけ 単点なし			計画への	計画への位置づけ		○有 ●無 位置づけ (計画名) 生涯学省施設						
(2)目的		施策目的・ 展開方向 展開方向 を当まします。また、湖北地区図書館、鳥の博物館、白樺文学館などの施設の充実や、学習 施設の整備を計画的に進めるとともに、学校施設など既存施設の有効活用を推進し、身近な場所で学 きるようにします。また、湖北地区図書館の整備については、湖北台地区に立地し、老朽化への対応								『がで 事業目的 るようにする。						情報を提供でき			
			さるようにします。また、納北地区図書館の登順については、納北市地区に立地し、ぞかれへの対応が 手質沼の鳥コーナー、鳥の起源と進化、鳥の飛翔のコーナーなど、科学の進歩や調査の進展により、内 陳腐化した展示をリニューアルし、魅力的で、質の高い情報を提供できるようにする。また、これまで した標本をより多く展示し公開できるようなスペースを確保し、展示の魅力を高める。							容が		展示リニューア	ルのための資料	等の調査					
										当記	亥年度 亍計画								
(3)事業内容	容	内 容														1000			
										当該年度 活動結果指標		文献等資料数				単位	想定値 点 実績値	90	
(4)達成目標	漂(期待する成果)	達成目標(期待する成果) 展示リニューアルするにあたって、有効な資料を収集する。 展示計画を作成するにあたって、有効な資料を収集する。									指標種類		指標				単位 (5) 現況値 (6) 目標		
当該年度											間接	文献等資料数				点	86	90	
令和 2年		展示リニューアル								間接		文献等資料数点				点点		100	
令和 3年		独自の財源確保の	検討が必要。							間接								100	
(7)事業実施	施上の課題と対応									代替	案検討	Oŧ							
		政	平成30年 内 容	丰度	金額(千円)	政	内 容	平成31年度	予算額(千円) 決	算額(千円) j	政	令和 内容	2年度	金額(千円)) 政		5年度	金額(千円)	
		策 資料調査	· ·			策 0 資料調査	, 1		0	0	策 資料調 基本計[査			0 資料調査	実施設計(長寿1	命計画による	(
											基本訂	当作 成			□ : 基本設計・	美施設計(長寿)	叩計画による		
(8) 施行事項	実施内容																		
(の)旭川寺ろ	* 費用 																		
	予算(決算)額 国庫支出金	· 合	計	0 %		0 補助率	合 計	0 %	0	0	補助率	合 計	0 %		0 補助率	合 計	0 %	C	
	県支出金	補助率		0 %	(0 補助率 0 充当率		0 %	0	0	補助率		0 %		0 補助率 0 充当率		0 %	C	
(9) 財源内部	一般財源		* = * ^ = :		(0			0	0		^ C=+ C+^			0	724 044		C	
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	益 □基金 □・	その他	0.06	6	□受益 □基金 □	」その他	0.06	0.06	□符会	会 口受益 口基金	口その他	0. (06	□受益 □基金 [」その他	0. 06	
(10) 人件費	等 正職員人件費 嘱託職員報酬額				528 (528 0	528 0					0			528 0	
事業費(予算(□ 臨時職員賃金額 (決算)額+正職員人件費)				528				0 528	0 528					0 28			0 528	
(11)単位費 (事業費] 費/活動結果指標)		6.6千円/	/点			5.87 千 F	円/点		6. 14									
2. 事業	と に に に に に に に に に に に に に)																	
	評価項目				重 :							事 後 評	価(評価結果に	応じ、改善第					
l I						前評価									を検討(拡充も含む	3))		改善検討	
(1) 車型		開館後28年以上経 が困難であり、こ			内容的にも、展	表示手法的にも陳		い情報を魅力的	に提供すること	●①事前確記 ○②事前確認					€検討(拡充も含む	3))			
	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性)				内容的にも、展	表示手法的にも陳		い情報を魅力的		○②事前確記 <想定どおり	忍での想定 とした理由	どおり どおりでなかった 3/想定どおりでな	なかった原因>					〇要 ●不要	
	業が今必要である理由・	が困難であり、こ	れを解消する	には展示を	内容的にも、展: リニューアルす	最示手法的にも陳 ⁻ることが最も効	果的である。	い情報を魅力的	-	○②事前確記 <想定どおり 開館後29年を から、展示の	忍での想定 とした理由 経た展示は リニューア	どおり どおりでなかった a/想定どおりでな t内容・展示手法的 アルが必要と考えら	なかった原因> りに古いものとな られるため。		情報を効果的に伝	えることが困難		〇要 ●不要	
	業が今必要である理由・	が困難であり、こ: 〇①民間企業、N (理由) 口法令等	れを解消する NPO、市民団で市が実施す	には展示を 団体等では ることが定	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない	表示手法的にも陳	果的である。	い情報を魅力的	-	○②事前確語 <想定どおり 閉館後29年を から、展示の □①民間企動 □②市が主義	忍での想定とした理由 経た展示は リニューア 業、NPO、 算で進めなり	どおりでなかったとおりでなかった。 1/想定どおりでなけない。 は内容・展示と考えられ、 市民団体等ではければ実効性がない。	なかった原因> りに古いものとな られるため。 実施できなかっ かった	た <市実施		えることが困難・必要性の理由>	>	○要 ●不要	
背景	業が今必要である理由・	が困難であり、こ: 〇①民間企業、N (理由) 口法令等	れを解消する IPO、市民団 で市が実施する 体が市しかな	には展示を 団体等では ることが定	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない	最示手法的にも陳 ⁻ることが最も効	果的である。	い情報を魅力的	-	○②事前確語 <想定どおり 開館後29年を から、展示の □①民間企業 □②市が主義 □③市が先続 促進され	忍での想定とした理由には、リニューア、NPO、 というないできなった。 でとなった。 ではなった。 ではなった。	どおり どおりでなかった ヨ/想定どおりでな は内容・展示手法 でルが必要と考えら 、市民団体等では ければ実効性がな たことで市民へ普	なかった原因> 付に古いものとだられるため。 実施できなかっ かった 及が一層	た <市実施	情報を効果的に伝 近の具体的な内容・	えることが困難・必要性の理由>	>	○要 ●不要	
必 要 性 (2)市か	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性)	が困難であり、こ の①民間企業、N (理由) 口法令等 口提供主	れを解消する IPO、市民団で市が実施する 体が市しかなり	には展示を 団体等では3 ることが定 い	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない	最示手法的にも陳 ⁻ることが最も効	果的である。	い情報を魅力的	-	○②事前確語 <想定どおり 開館後29年を から、展示の □①民間企業 □②市が主義 □③市が先続 促進され	忍での想定 とした理は ととたエューマ と終ニューア ・ で き う り た で き り た で と た っ 、 で き り た っ 、 で も な っ っ い る っ い る っ い る っ 、 ら く っ 、 ら 、 ら 、 ら 、 ら 、 ら 、 ら 、 ら 、 ら 、 ら 、	どおり どおりでなかった コ/想定どおりでなかった は内容・展示手法を プルが必要と考えで 、市民団体対性がな ければまで市民へ 施策の目標の実現	なかった原因> 付に古いものとだられるため。 実施できなかっ かった 及が一層	た <市実施	情報を効果的に伝 近の具体的な内容・	えることが困難・必要性の理由>	>	O要 ●不要 した	
背景 必 要 性 (2)市か	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性)	が困難であり、こ: ○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主付 □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主:	NPO、市民団で体が市はない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	には展示を 団体等では3 ることが定 い さであり とにより	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の対性が得られる	表示手法的にも陳 でることが最も効 くその他のロ くその他のロ の の の の の の の の の の の の の	果的である。	5計画の策定に	当たって、検討さ	○②事前確 ②字前確 対り 対別を29年を から ○②の ○○②の ○○②の ○○②の ○○③の ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○ ○	忍での想定 と経た リ ル た ル ル に ル に ル と た い き り た い る な な っ い る な っ い る っ い る っ い る っ い る っ 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	どおり どおりでなかった コ/想定どおりでなかった は内容・展示手法を プルが必要と考えで 、市民団体対性がな ければまで市民へ 施策の目標の実現	はかった原因> 対に古いものとかられるため。 実施できなかっかった 及が一層	た <市実施	情報を効果的に伝 近の具体的な内容・	えることが困難・必要性の理由>	>	○要 ●不要	
背景 必 要 性 (2)市か	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	が困難であり、こ: ○①民間企業、 N (理由) □法(等) □提供生: □その他 ●②自治体である (理由) ■市が主: □市が主:	れを解消する IP O、東施 市が市 にする の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	には展示を 団体等では写 でおりま でありよ とこと る 実り	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の対性が得られる	表示手法的にも陳 でることが最も効 くその他の内 の の の の の の の の の の の の の	果的である。 内容> 内容> 対動の第10期実施 があり、市の博物館	a計画の策定に ながすすめるこ	当たって、検討さ	②②事前確 ②②事前確 ※別額後29年示の ※別額後29年示の ②①②目前が主義 ● ②(現市が任進支ご、 ②(単一)(②)(②)(②)(③))()(③))()(③))()()()()()()()	忍 と と した 理由 は アリー	どおりでなかった a / 想定どおりでなかった a / 想定どおりでなかった c / 根定とどおりでないで、 た内容・展示手法的を / ルが必要と考えだ。 ければ実った。 作ればまですが民へ を策の目標の実現 保された	はかった原因> 対に古いものとかられるため。 実施できなかっかった 及が一層	た <市実施	情報を効果的に伝 近の具体的な内容・	えることが困難・必要性の理由>	>	O要 ●不要 した	
背景 必 要 性 (2)市か	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	が困難であり、こ: ○①民間企業、	れを解消する IPO 、	には展示を 団体等では写 でおりま でありよ とこと る 実り	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳 こることが最も効 くその他のア にた。 にた。 にた。 にた。 にた。 にた。 にた。 にた。	果的である。 内容> 内容> 対動の第10期実施 があり、市の博物館	a計画の策定に ながすすめるこ	当たって、検討さ とで、生態系サー	○②事前確 ・	忍での想定 由 は は は は と 終 り と 終 り と 終 り と 終 り と 終 り 来 の 進 と し 下 後 と し 下 後 と し 下 後 と し 下 後 な で う か 準 安 定 が 供 げ に か ま な で う と	どおりでなかった とおりでなかった は内容・要と考えらい、市民団体性性がな ければ実効性へで ければ実効時へ が必必で市 はまないな がない がない がない にない にない にない にない にない にない にない にない にない に	なかった原因>」 りに古いものとが ちれるため。 実施できなかっ かった 及が一層 に貢献した	た <市実施	情報を効果的に伝 近の具体的な内容・	えることが困難・必要性の理由>	>	O要 ●不要 した	
背景 必 要 性 (2)市か	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	が困難であり、こ: ○①民間企業、	れを解消する IPO、実施・ないで体が市した。 で体が市で進失ないで、 高導施・提供証さと、 が現ることに、 後回のでは、 がは、 のでは	には展示をはない。 一はない、これにはにはない。 これにはいるない。これにはいるなりまり。 これにはいるなりまり。 これにはいるなりまり。 これにはいるなりない。 これにはいるなりない。 これにはいるない。これにはない。これにはいるない。これにはいははいるない。これにはいるない。これにはいるない。これにはいるない。これにはいは、これにはいるない。これにはいるない。これにはいはない。これにはいるない。これにはいるない。これにはいるない。これにはいるない。これにはいるない。これにはいはないはない。これにはいるないはない。これにはいるないはないはないはない。これにはないはないはないはない。これにはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないは	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳 でることが最も効 くその他のが くその他のの くをの他のの できる。 ができる。	果的である。 内容> 内容> 計画の第10期実施 あり、市の博物習 しながら、手賀沼 エ夫の具	計画の策定に 記がすすめるこ さいう環境資 という環境資	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること	○②事前 おります おります という はな はいます のできる という はいます という はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	忍で と経リエート と経リエート と経リエート N 進 と 理は アーク いって 選挙 学 単 に 大 変 本 策 で 強 と 策 が 産 供 が 保 供 が 表 ス ス の 容 〉 ・ 協働 が 考 ぎ	どおりでなかった コノ想定とおりでなかった コノ想定とおりでなかった は内容・展示手法を アルが必要と考えらい。 市氏は実効性民へ 東の世界の大力でが確保の実現 になる。 をなる場合には、 動の具体的な内容 えられる場合には、	なかった原因> 付に古いものとか られるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実施 我孫子市	情報を効果的に伝 医の具体的な内容・ 5の文化拠点整備計 参加・協	えることが困難・必要性の理由>	不事業を推進	O要 ●不要 した	
参 必 要 性 (2)市かる (市:	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	が困難であり、こ: ○①民間企業、N (理由) □法令等主 □その主 (理由) ■市が主 □市がま □市がま □市がま □市がま □市ま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れを解消すする。 I P 市が市 推め供証こる ・ ・ 参参 で は	には 関係 ない さきにと 政 ない さきにと 政 ない さきにと 政 な 容 のりりり	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からことが最もも効 くその他のが く その他のが らったた と く その と こと	果的である。 内容 内容 内容 内容 内容 内容 の第10期実施館 あり、がら、手質 おり、がら、エ夫の具 さられる表で組織する さられた表で組織する なるで組織する なるで組織する	語計画の策定に記がする場合によるようでは、 ではいう環境では、 では、 なの会、、 をなの会、 をなる常設展示り、	当たって、検討さ とで、生態系サー と原を活用すること なること スタッフの意見、 ニューアル検討委	○② まない は は な な な な な な な な な な な な な な な な な	忍で と経リエート と経リエート と経リエート N 進 と 理は アーク いって 選挙 学 単 に 大 変 本 策 で 強 と 策 が 産 供 が 保 供 が 表 ス ス の 容 〉 ・ 協働 が 考 ぎ	どおりでなかった a / 想定とおりでなかった a / 想定とおいてないでは 内容・要と考えらいけた。 市はままれるとは 一は大きが、 一は	なかった原因> 付に古いものとか られるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実統 我孫子市 。	情報を効果的に伝 配の具体的な内容・ の文化拠点整備計 参加・協 初期待した以上 初期待したとより	えることが困難 必要性の理由> +画の一部として	不事業を推進	O要 ●不要 した	
参加・ を を を を を を を がある。 で を の で の の の の の の の の の の の の の	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? (実施の必要性)	が困難であり、こ: ○①民間企業、「等には法の他 ②自治量市がごまでは、「できる。」 「日本の性」のである。 「理由」のである。 「理由」のできる。 「理由」のである。 「理由」のでは、 「理由」の	れを解消すする。 Pで体 では	には 団ない くところよ めの 与有有 がくところよ り 内容 は定 の 変容 はな 策 を また かん かんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょう	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からことが最もも効 くその他のが く その他のが らったた と く その と こと	果的である。 内容> 内容> 内容の第10期実施館のまたがら、手質沼 エ夫の具 せられる来館者、	語計画の策定に記がする場合によるようでは、 ではいう環境では、 では、 なの会、、 をなの会、 をなる常設展示り、	当たって、検討さ とで、生態系サー と原を活用すること なること スタッフの意見、 ニューアル検討委	○② まない は は な な な な な な な な な な な な な な な な な	忍で と経リエート と経リエート と経リエート N 進 と 理は アーク いって 選挙 学 単 に 大 変 本 策 で 強 と 策 が 産 供 が 保 供 が 表 ス ス の 容 〉 ・ 協働 が 考 ぎ	どおりでなかった コノ想定とおりでなかった コノ想定とおりでなかった は内容・展示手法を アルが必要と考えらい。 市氏は実効性民へ 東の世界の大力でが確保の実現 になる。 をなる場合には、 動の具体的な内容 えられる場合には、	なかった原因> 付に古いものとか られるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実旅 我孫子市。 記述 ②当 ○ ②当	情報を効果的に伝 をの具体的な内容・ のの文化拠点整備計 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待したとおり 初の期待したとおり	えることが困難 ・必要性の理由> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不事業を推進	○要 ● 不要 した ○ 要 ● 不不要	
***	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 「実施の必要性)	が困難であり、こ: ①①民間企業、	れを解消すする。 Pで体 では	には 団ない くところよ めの 与有有 がくところよ り 内容 は定 の 変容 はな 策 を また かん かんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょう	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からことが最もも効 くその他のが く その他のが らったた と く その と こと	果的である。 内容 内容 内容 内容 内容 内容 の第10期実施館 あり、がら、手質 おり、がら、エ夫の具 さられる表で組織する さられた表で組織する なるで組織する なるで組織する	語計画の策定に記がする場合によるようでは、 ではいう環境では、 では、 なの会、、 をなの会、 をなる常設展示り、	当たって、検討さ とで、生態系サー と原を活用すること なること スタッフの意見、 ニューアル検討委	○② まない は は な な な な な な な な な な な な な な な な な	忍で と経リエート と経リエート と経リエート N 進 と 理は アーク いって 選挙 学 単 に 大 変 本 策 で 強 と 策 が 産 供 が 保 供 が 表 ス ス の 容 〉 ・ 協働 が 考 ぎ	どおりでなかった コノ想定とおりでなかった コノ想定とおりでなかった は内容・展示手法を アルが必要と考えらい。 市氏は実効性民へ 東の世界の大力でが確保の実現 になる。 をなる場合には、 動の具体的な内容 えられる場合には、	なかった原因> 付に古いものとか られるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実旅 我孫子市。 記述 ②当 ○ ②当	情報を効果的に伝 配の具体的な内容・ の文化拠点整備計 参加・協 初期待した以上 初期待したとより	えることが困難 ・必要性の理由> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不事業を推進	○要 ● 不要 した ○ 要 ● 不不要	
***	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 「実施の必要性)	が困難であり、こ: ○①民間企業、、	れを解消すする。 Pで体 では	には 団ない くところよ めの 与有有 がくところよ り 内容 は定 の 変容 はな 策 を また かん かんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょう	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からことが最もも効 くその他のが く その他のが らったた と く その と こと	果的である。 内容 内容 内容 内容 内容 内容 の第10期実施館 あり、がら、手質 おり、がら、エ夫の具 さられる表で組織する さられた表で組織する なるで組織する なるで組織する	語計画の策定に記がする場合によるようでは、 ではいう環境では、 では、 なの会、、 をなの会、 をなる常設展示り、	当たって、検討さ とで、生態系サー と原を活用すること なること スタッフの意見、 ニューアル検討委	○② まない は は な な な な な な な な な な な な な な な な な	忍で と経リエート と経リエート と経リエート N 進 と 理は アーク いって 選挙 学 単 に 大 変 本 策 で 強 と 策 が 産 供 が 保 供 が 表 ス ス の 容 〉 ・ 協働 が 考 ぎ	どおりでなかった コノ想定とおりでなかった コノ想定とおりでなかった は内容・展示手法を アルが必要と考えらい。 市氏は実効性民へ 東の世界の大力でが確保の実現 になる。 をなる場合には、 動の具体的な内容 えられる場合には、	なかった原因> 付に古いものとか られるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実旅 我孫子市。 記述 ②当 ○ ②当	情報を効果的に伝 をの具体的な内容・ のの文化拠点整備計 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待したとおり 初の期待したとおり	えることが困難 ・必要性の理由> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不事業を推進	○要 ● 不要 した ○ 要 ● 不不要	
ックリック では、	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 「実施の必要性)	が困難であり、こ: ○①民間企業へ等には、	れを解消すする。 Pで体 では	には 団ない くところよ めの 与有有 がくところよ り 内容 は定 の 変容 はな 策 を また かん かんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう はんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう しょうしょう しょう	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からことが最もも効 くその他のが く その他のが らったた と く その と こと	果的である。 内容 内容 内容 内容 内容 内容 の第10期実施館 あり、がら、手質 おり、がら、エ夫の具 さられる表で組織する さられた表で組織する なるで組織する なるで組織する	語計画の策定に記がする場合によるようでは、 ではいう環境では、 では、 なの会、、 をなの会、 をなる常設展示り、	当たって、検討さ とで、生態系サー と原を活用すること なること スタッフの意見、 ニューアル検討委	○② まない は は な な な な な な な な な な な な な な な な な	忍で と経リエート と経リエート と経リエート N 進 と 理は アーク いって 選挙 学 単 に 大 変 本 策 で 強 と 策 が 産 供 が 保 供 が 表 ス ス の 容 〉 ・ 協働 が 考 ぎ	どおりでなかった コノ想定とおりでなかった コノ想定とおりでなかった は内容・展示手法を アルが必要と考えらい。 市氏は実効性民へ 東の世界の大力でが確保の実現 になる。 をなる場合には、 動の具体的な内容 えられる場合には、	なかった原因> 付に古いものとか られるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容)	た <市実旅 我孫子市。 記述 ②当 ○ ②当	情報を効果的に伝 をの具体的な内容・ のの文化拠点整備計 参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待したとおり 初の期待したとおり	えることが困難 ・必要性の理由> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不事業を推進	○要 ● 不要 した ○ 要 ● 不不要	
***	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 「実施の必要性)	が困難であり、こ: ○①民間企業令主他 ○②自治 ■ 市 市 中 市 市 中 市 市 中 市 末 現 が 国 本 ま 実 に 支 宗 要 で あ ま 主 声 を 変 で ま ま で の の 内 容 〉	れを解消すする。 P で体 で 提めすさと は 協 画画画連施 が 事に で 提 の で 事 本 で の で す に の で で は い の で す に の で す に の で す に の で す に の で す に の で に の で す に の で で は い の で に の で す に の で に の に の	には 財産 できない くさにと 政 内容 は定 る 実り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳 でることが最も効 くその他のが くその他のの でも、た ができる。 日常び歳 している。 日本では、 のである。 日本では、	果的である。 内容 内容の第10期実施館 がら、 10期実施館 がら、 エ 実施 3 表で 4 また 4 また 4 また 5 また 5 また 7 また 7 また 7 また 7 また 7 また 7	計画の策定にこうでは、 がすすする環境を さいう環境を 体的な内容、 大の会と、 表の常設計画 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること スタッフの意見、 スタッフの検討委 くりを行なう。	○② まない は は は な は な は な は な な な な な な な な な な	忍 と経リ、	どおりでなかった A / 想定ではおりでなかった A / 想定とおいてた 内容・要と考えらい。 は内容・要と考えらい。 は内ない要と考えらい。 は内ないでは な内をはない。 ないます。 ないまする ないます。 ないまする ないます。 ないます。 ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする ないまする な	なかった原因>ケ 切に古いものとか ちれるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 内容に関する意動	た <市実旅 表孫子市 ・	情報を効果的に伝 画の具体的な内容・ 方の文化拠点整備計 初期待したとより 初期待したとおり 初の期待したとおり かの期待以た下 た以上となった理	えることが困難 ・必要性の理由> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	不事業を推進	○要 ● 不要 した ○ 要 ● 不不要	
必 要 性	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 「実施の必要性)	が困難であり、こ: ○①民間企業令主他 □②自治■市ががに □でをがま。 □□では提供ののある。 「理由的・□ではではががい □では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	れを解消する。 Pで体がでは、することに、 ので体がでは、することに、 ので体がでは、することに、 のでは、することに、 のでは、することに、 のでは、することに、 のでは、することに、 のでは、することに、 のでは、することに、 のでは、	には 財産 できない くさにと 政 内容 は定 る 実り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からた。	果的である。 内容のの、前の10期博手 のの、前のの、がら、 エ 大 館組を反応 館の れる表で見る での意見を ない は 手質 かかけ に なめ 取 担 質 変 かかけ を での解を 深め かけ を での解を 深め かけ で の解を 深め かかけ で の解を 深め かけ で の かけ で かけ で	を計画の策定にこれでは、 はかすすのでは、 はいう環境を な内容市民リーのでは、 なの会と、展展計画のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること のを活用すること のを記用すること ので、生態なこと ので、生態なこと ので、生態ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○② 想能後、民間が生活を持ち、 「想能後、民間が生活を持ち、 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	忍 と経り、	どおりでなかった。 コノ想定とは示する。 は内容・とないでは、 に内容・と等でがなき、要して、 に内容・と等でがなきでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのにないない。 にのにないない。 にのにないない。 にのには、 にのにないない。 にのには、 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいる。 にいい	なかった原因>ケ 切に古いものとか ちれるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 内容に関する意動	た く市実施 表表 ・	情報を効果的に伝 画の具体的な内容・ 方の文化拠点整備計 初期待したとより 初期待したとおり が別待したとおり	えることが困難 ・必要性の理由> ・計画の一部として ・動の程度・内容 ・関係を ・内容 ・対象を ・対象を ・対象を ・対象を ・対象を ・対象を ・対象を ・対象を	不事業を推進	○要 ● 不要 した ○ 要 ● 不不要	
必要性 参加・協働の工夫 環境へ 環境へ	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: ○① 日間 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	れ	には 現るい さとこるより のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からた。	果的である。 内容のの、前の10期博覧 内容のの、前の第10期博覧 大変のの、前ののである。 「本変ののである。」 「本変ののである。」 「本変ののである。」 「本変ののである。」 「本変ののである。」 「本変ののである。」 「本変のである。」 「本変のである。 「本変のである。」 「本変のである。」 「本変のである。 「本変のである。」 「本変のである。」	を計画の策定にこれでは、 はかすすのでは、 はいう環境を な内容市民リーのでは、 なの会と、展展計画のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること のを活用すること のを記用すること ので、生態なこと ので、生態なこと ので、生態ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○② 想能後、民間が生活を持ち、 「想能後、民間が生活を持ち、 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	忍 と経り、	どおりでなかった。 コノ想定とは示する。 は内容・とないでは、 に内容・と等でがなき、要して、 に内容・と等でがなきでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのにないない。 にのにないない。 にのにないない。 にのには、 にのにないない。 にのには、 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいる。 にいい	なかった原因>ケ 切に古いものとか ちれるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 内容に関する意動	た <市実旅子	情報を効果的に伝 をの具体的な内容・ まの文化拠点整備計 参加・協 初期期待したとより 初初期待したとより 初初期待したとなった理 でとなった理	えることが困難 必要性の理由> 計画の一部として	不事業を推進	○ 要 要 要 Uた ○ ● 不不 要 要 要 ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ● ▼ ●	
必要性 参加・協働の工夫 環境へ でして ここ でして でして でして でして でして ここ かんて は 環境 できる かんし でして ここ できる かんし できる かんしん こうしん かんしん こうしん かんしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん ひんしん こうしん ひんしん アンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: (理由) □日	れ	には 現るい さとこるより のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からた。	果的である。 内容のの、前の10期博手 のの、前のの、がら、 エ 大 館組を反応 館の れる表で見る での意見を ない は 手質 かかけ に なめ 取 担 質 変 かかけ を での解を 深め かけ を での解を 深め かけ で の解を 深め かかけ で の解を 深め かけ で の かけ で かけ で	を計画の策定にこれでは、 はかすすのでは、 はいう環境を な内容市民リーのでは、 なの会と、展展計画のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること のを活用すること のを記用すること ので、生態なこと ので、生態なこと ので、生態ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○② 想能後、民間が生活を持ち、 「想能後、民間が生活を持ち、 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	忍 と経り、	どおりでなかった。 コノ想定とは示する。 は内容・とないでは、 に内容・と等でがなき、要して、 に内容・と等でがなきでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのにないない。 にのにないない。 にのにないない。 にのには、 にのにないない。 にのには、 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいる。 にいい	なかった原因>ケ 切に古いものとか ちれるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 内容に関する意動	た <市実旅子	情報を効果的に伝 画の具体的な内容・ 高の文化拠点整備計 初期待したとおり 初期待したとおり でとより た以上となった理 定どおりでなかっ	えることが困難 必要性の理由> 計画の一部として	不事業を推進	○ 要 要 を	
必要性 参加・協働の工夫 環境へ のしつ に	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: ○① 日間 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	れ	には 現るい さとこるより のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない とめられている の性が得られる 、良質で安定し	表示手法的にも陳からた。	果的である。 内容のの、前の10期博手 のの、前のの、がら、 エ 大 館組を反応 館の れる表で見る での意見を ない は 手質 かかけ に なめ 取 担 質 変 かかけ を での解を 深め かけ を での解を 深め かけ で の解を 深め かかけ で の解を 深め かけ で の かけ で かけ で	を計画の策定にこれでは、 はかすすのでは、 はいう環境を な内容市民リーのでは、 なの会と、展展計画のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること のを活用すること のを記用すること ので、生態なこと ので、生態なこと ので、生態ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○② 想能後、民間が生活を持ち、 「想能後、民間が生活を持ち、 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	忍 と経り、	どおりでなかった。 コノ想定とは示する。 は内容・とないでは、 に内容・と等でがなき、要して、 に内容・と等でがなきでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのでは、 にのにないない。 にのにないない。 にのにないない。 にのには、 にのにないない。 にのには、 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいがいる。 にいいる。 にいい	なかった原因>ケ 切に古いものとか ちれるため。 実施できなかった 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 内容に関する意動	た <市実旅子	情報を効果的に伝 画の具体的な内容・ 高の文化拠点整備計 初期待したとおり 初期待したとおり でとより た以上となった理 定どおりでなかっ	えることが困難 必要性の理由> 計画の一部として	不事業を推進	●	
必要性 参加・協働の工夫 環境へ のしつ に	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: (理由) □日	れ	には はない さとこるよ めの 自有有男 でん ない さとこるよ めの りりり いいき こく ひょく から ない	内容的にも、展 実施できない きめられている を効性が得らなし 施策の目標の	表示手法とが最もも効 と	果的である。 内容のの、前のの、第10期博手質 内容のの、がら、手質の表表である。 「本語を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	を計画の策定にこのでは、 を対するでは、 ないのでは	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること のを活用すること のを記用すること ので、生態なこと ので、生態なこと ので、生態ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○② 想能後、民間が生活を持ち、 「想能後、民間が生活を持ち、 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	② と経り、	どおりでなかった。 コノ想きないでは、	はかった原因>とかられるため。 実施できなかった 実施できなかった 実施できなかった 及が、 で貢献した た (マウタので関する意見) ・アル後も引き組	た <	情報を効果的に伝 画の具体的な内容・ 高の文化拠点整備計 初期待したとおり 初期待したとおり でとより た以上となった理 定どおりでなかっ	えることが困難 必要性の理由> 計画の一部として	不事業を推進	●	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: ○① 民間 ① 日本 ② 日本 ② 1 日本 ② 1 日本 ② 2 日本 ② 2 日本 ② 2 日本 ② 3 日本 ② 2 日本 ② 3 日本 ② 4 日本 ② 4 日本 ② 4 日本 ② 5 日本 ② 5 日本 ② 5 日本 ② 6 日本 3 日本	れ	には はない さとこるより 内 りりり しん なりより 策を と おりまり	内容的にも、展 ・リニューアルす 実施できない。 のはいる。 一できない。 のはいる。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	表示手法とが最もも効 と	果的である。	を計画の策定にここのでは、またいではでは、またいではでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは、またいでは	当たって、検討さ とで、生態系サー 原を活用すること のを活用すること のを記用すること ので、生態なこと ので、生態なこと ので、生態ない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○② 想能後、民間が生活を持ち、 「想能後、民間が生活を持ち、 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	忍 と経リ、	どおりでなかった。 コノ想定とは示する。 は内容・とないでは、 に内容・とないでは、 に内容・とないでは、 に内容・とないでは、 にのでは、 にのでは	はかった原因>とかられるため。 実施できなかった。 実施できなかった。 実施できなかった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 「関する意!」	た <	情報を効果的に伝 をの具体的な内容 まの文化拠点整備計 をかいた拠点を 参加・協 初期期待した以上 初初初期特別によりり たと下 たとと下 たりりでなかった原 で定どおりでなかった原	えることが困難・必要性の理由> ・ 必要性の理由> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	不事業を推進	O	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: ○①田田 ○①田田 ○②田田 ○②田田 ○○田田 ○○田田 ○○田田 ○○田田	A P で体 いきにない くころれに しゅうかい はんめい とうでん から でん が は 提い ない かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱ	には	内容ュートリー また かい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	表示る 表示る 表示る 表示る 表示る 表示の に最も も陳効 のののでは に表して く く第ればができる。 に者仮 のののでは できるスでで 常び会 に者仮 ののできまして のできまりに のでを のでを のでを のでを のでを のでを ので のでを のでを	果的である。 内容容ののまりである。 内容ののよがらいである。 本では、大きなには、大きなには、大きなには、大きなには、大きなには、大きなには、大きなには、大きなには、大きなのでは、大きなには、大きなのでは、大きなには、大きなが、大きなが、は、ないのでは、大きなが、は、ないのでは、大きなが、は、ないのでは、大きなが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	計画の 策定にこ 資 策 が す う す う う な 会 、 内 な の 表 展 計 画 の で お り な の で る で る き き さ く て る き さ と せ と し る さ と し と し と し と し と し と し と し と し と し と	当たって、検討さって、態なサー」 とで、生ますることと をで、まますることと で、ままする。 では、ままない。 では、ままない。 ででは、 とっない。 と。 とっな。 とっない。 とっな。 とっない。 とっない。 とっな。 とっない。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな	○② まな	忍 と経リ、	どおりでなかった。 1. 付きないでは、	はかった原因>とかられるため。 実施できなかった。 実施できなかった。 実施できなかった。 及が一層 に貢献した た (又は今後、 その内容) 「関する意!」	た 大 大 大 大 大 大 大 大 大	情報を効果的に伝 の具体的な内容・ のの具体的な内容・ のの具体的な内容・ 参加・協 初期期待した以上 初期の期待した以上 初初のの以上と下 た以上 なった西 定だおりりでなかった原 定だおりでなかった原 は成となっった原	えることが困難・必要性の理由> ・ 必要性の理由> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	不事業を推進	○ ● 不 要 要 要	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 でいた	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: ○① 民間 ① 日本 ② 日本 ② 1 日本 ② 1 日本 ② 2 日本 ② 2 日本 ② 2 日本 ② 3 日本 ② 2 日本 ② 3 日本 ② 4 日本 ② 4 日本 ② 4 日本 ② 5 日本 ② 5 日本 ② 5 日本 ② 6 日本 3 日本	れ	には 団なるい さとことより 内の 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	内容的にも、版字のにも、版字のにも、版字のにも、版字のにもできない。 ②効性が質で 標の 目標の 回②現現況値との は できない るし し で 表 で に の こ で に の こ で に い る に し い る に し い る に し い る こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	 表示手こと く く (第ればが (第なみ事にある) (本) (果的である。 Appen	計画の 策定にこ 資 策 が す う す う う な 会 、 内 な の 表 展 計 画 の で お り な の で る で る き き さ く て る き さ と せ と し る さ と し と し と し と し と し と し と し と し と し と	当たって、検討さって、態なサー」 とで、生ますることと をで、まますることと で、ままする。 では、ままない。 では、ままない。 ででは、 とっない。 と。 とっな。 とっない。 とっな。 とっない。 とっない。 とっな。 とっない。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな。 とっな	○② まな年元のでは、まれた。 ◇ 想館後、展開が生たさをできまれた。 ◇ 想館後、展開が生たさをできまれた。 ◇ ののできまれた。 ◇ ののできまれた。 ◇ ののできまれた。 ◇ ののでする。 ◇ ののでする。 ※ はんでいる。 ・ はんでいる。 ・ はんでいるでいる。 ・ はんでいる。	忍 と経リ、	どおりでなかった a / 想を / では / では / でなかった a / 想を / でなかった / でないが必要 / でないが必要 / でないが必要 / でないが必要 / でないでは / でないでは / でないでは / でないでは / でないでは / でないでは / でない / で	なりに古いた原因>と かった原因>と をりた古いもめ。 実施でた。 実施でた 層 にすった 層 にすった 層 にすった 層 にすった	た	情報を効果的に伝 画の具体的な内容 一部の文化拠点整備計 を加りの文化拠点を 参加・協 初期特待したととおり でしたととおりでなった理 でとどおりでなかった原 とどおりでなかった原 は、となった原因〉	えることが困難・必要性の理由> ・ 必要性の理由> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	☆本事業を推進	O ● A A B B B B B B B B B B B B B B B B B	
必 要 性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1)目 様 (1)目 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: ○① R	れ P で体 お で で は か で で な か で な か に が す に か で な か に の で な か に の で な か に の で な か に の で な か に の で な か に の で な か に の で な か に の で な か に の で ま で な い い か が 進 提 保 る れ に ・ 参 参 参 忠 実 を 配 に い い は 値 で で な で こ る れ に ・ 参 参 参 忠 実 を 配 に い い な は 値 す 費 費 費 費 す に か に の る で は 値 す で る す 準 費 費 す に で な で こ る れ に ・ ・ で ま で に で な で な に し い い は 値 す で な で こ る れ に ・ で ま で は は に す で な で は は に す で な で は は に す で な で は は に す で な で は は に す で な で な で な で な で な か に し は に す で な で な で な で な で な で な で な で な で な で	に 団ない くところよ かの 写写写り 視点 る (点 或 額額 (d) に 対 ない くところよ かの 写写写り し 点 るりより 策 容 (の) の	内容コープ できている からない いる にもアル いる にもアル いる おり にもアル いる おり できない いる に できない から に できない から値 と い を できない できない から に できない できない できない できない できない こう に できない	 表示を 表示を 本のののののでは、 本ののののののでは、 本のののののでは、 本ののののののでは、 本ののののののでは、 本のののののでは、 本のののののでは、 本のののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本のののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本のののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本ののののでは、 本のののでは、 本のののでは、 本のののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本のでは、 本のでは、 本のでは、 を持るのでは、 を持るのでは、 をとちつきないでは、 をともののでは、 をとちつきないでは、 をともののでは、 をとものでは、 をとものでは、 をとものでは、 をとものでは、 をとものでは、 をとものでは、 をとものでは、 をとものでは、 をとものでは、	果的である。 「本語」を表示している。 「本語」を表	計画の策定にこうでは、 にこうでは、 体のなのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 なのでは、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない	当たって、検討さして、 を表することと で、生ますることと で、生ますることに で、生ますることに で、生まする。 では、まます。 では、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、まま	○② まな年元のでは、まれた。 ◇ 想館後、展開が生たさをできまれた。 ◇ 想館後、展開が生たさをできまれた。 ◇ ののできまれた。 ◇ ののできまれた。 ◇ ののできまれた。 ◇ ののでする。 ◇ ののでする。 ※ はんでいる。 ・ はんでいる。 ・ はんでいるでいる。 ・ はんでいる。	② と経り、 業 章 尊 化	どおりでなかった。 コノ想定を保護を持ちいてた。 コノ想を必要にある。 コノを変していた。 コノを変していた。 コノを変した。 コノを変した。 コノを変した。 コンをできる。 コンをできる。 ことのできる。 ことの	は かった 原	た 大 大 大 大 大 大 大 大 大	情報を効果的に伝 の具体的な内容備言 のの具体的な点整備言 参加 上 したとしたとしたとした。 定とどおりでなかった原 は成となった原因>	えることが困難 必要性の理由> ・	であった原因>	O ● A A B B B B B B B B B B B B B B B B B	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効 が要性 参加・協働の工夫 環い (1)目 (1)目 (1)日	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) の参加や市民との協働を でいるか? づくり)	が困難であり、こ: 「理由」 □ 中	A P で体	には はない さとこるより 内の 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	内容コープ (国現 銀 持 特 で 世 の を で) は で で で と の かな と と か 水 で で と と か 水 で で と と か 水 で で と と か 水 で で と と か 水 で で と と か 水 で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で と と か 水 で で で こ ② (国)	 である ではいる できな である ではいる ではい	果的である。 「本語」を表示している。 「本語」を表	計画のすうのでは、 はなのではなのではなのでは、 はなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなので	当たって、検討さして、 を表することと で、生ますることと で、生ますることに で、生ますることに で、生まする。 では、まます。 では、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、まま	○② 東線 を	② と経り、 業 章 尊 化	どおりでなかった a / 想を かった a / 想を かった a / 想を がった a / 想を がった a / 想を を がった a / 想を を おった c / ルが必要は	はいった原因>と はいたいもめ。 実施のたた 実施のたた を (Q内内に関する意) 「世帯では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 でででは、 でででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででででででできる。 でででででできる。 ででででででででででででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	た 大 大 大 大 大 大 大 大 大	情報を効果的に伝 を効果的に伝 を加りな点整備計 を加りな点を を加りない。 を加ります。 をといった理 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まますます。 では、ままする。	えることが困難 必要性の理由> ・	不事業を推進	○ ● 不 要 要 要	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 が要性 参加・協働の工夫 環い (1)目 およう はより はなり はなり おより は、かり は、かり は、かり は、かり なり おより は、かり なり は、かり なり なり は、かり は、かり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり <t< th=""><td>業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)</td><td>が困難であり、こ: ○①民間企業令主他 ②②は提供の を注提代の を (理由) □ 中 で で で で で で で で で で で で で で で で で で</td><td>れ P で体 お 準</td><td>に 団ない くとこるよ</td><td>内容コース できている できている できている できている できている できている できている できている で見現現 適同 でのできない のでは という にん できない のでは という できない のでは という できない ので でした できない できない できない できない できない できない できない できない</td><td> である ではいる できな である ではいる ではい</td><td>果的である。 Aph po po</td><td>計画のすうのでは、 はなのではなのではなのでは、 はなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなので</td><td>当たって、検討さして、 を表がして、 を表がして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では</td><td>○</td><td>忍 と経り、</td><td>どおりでなかった。 3. / 想をいかった。 3. / 想をいかった。 4. / 想をいかった。 4. / 別を必要にある。 4. / 別をのは、</td><td>はいった原因>と はいたいもめ。 実施のたた 実施のたた を (Q内内に関する意) 「世帯では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 でででは、 でででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででででででできる。 でででででできる。 ででででででででででででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで</td><td>た 大 大 大 大 大 大 大 大 大 </td><td>情報を効果的に伝 を効果的に伝 を加りな点整備計 を加りな点を を加りない。 を加ります。 をといった理 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まますます。 では、ままする。</td><td>えることが困難 必要性の理由> ・</td><td>不事業を推進</td><td>○ ● 不</td></t<>	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? づくり)	が困難であり、こ: ○①民間企業令主他 ②②は提供の を注提代の を (理由) □ 中 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	れ P で体 お 準	に 団ない くとこるよ	内容コース できている できている できている できている できている できている できている できている で見現現 適同 でのできない のでは という にん できない のでは という できない のでは という できない ので でした できない できない できない できない できない できない できない できない	 である ではいる できな である ではいる ではい	果的である。 Aph po	計画のすうのでは、 はなのではなのではなのでは、 はなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなので	当たって、検討さして、 を表がして、 を表がして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	○	忍 と経り、	どおりでなかった。 3. / 想をいかった。 3. / 想をいかった。 4. / 想をいかった。 4. / 別を必要にある。 4. / 別をのは、	はいった原因>と はいたいもめ。 実施のたた 実施のたた を (Q内内に関する意) 「世帯では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 でででは、 でででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででででででできる。 でででででできる。 ででででででででででででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	た 大 大 大 大 大 大 大 大 大	情報を効果的に伝 を効果的に伝 を加りな点整備計 を加りな点を を加りない。 を加ります。 をといった理 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まますます。 では、ままする。	えることが困難 必要性の理由> ・	不事業を推進	○ ● 不	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 が要性 参加・協働の工夫 環い (1)目 およう はより はなり はなり おより は、かり は、かり は、かり は、かり なり おより は、かり なり は、かり なり なり は、かり は、かり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり なり <t< th=""><td>業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) 参加や市か。 ででであるか? ででであるが? ででであるが。 でではない。 でではないない。 でではないないないないないないないないないないないないないないないないないないな</td><td>が困難であり、こ: ○① R</td><td>れ</td><td>に 団ない くとこるよ</td><td>内容ニュース (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)</td><td> である ではいる できな である ではいる ではい</td><td>果的である。 Aph po po</td><td>計画のすうのでは、 はなのではなのではなのでは、 はなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなので</td><td>当たって、検討さして、 を表がして、 を表がして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では</td><td>○ ② は</td><td>忍 と経り、</td><td>どおりでなかった。 3. / 想をいかった。 3. / 想をいかった。 4. / 想をいかった。 4. / 別を必要にある。 4. / 別をのは、</td><td>はいった原因>と はいたいもめ。 実施のたた 実施のたた を (Q内内に関する意) 「世帯では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 でででは、 でででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででででででできる。 でででででできる。 ででででででででででででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで</td><td>た 大 大 大 大 大 大 大 大 大 </td><td>情報を効果的に伝 を効果的に伝 を加りな点整備計 を加りな点を を加りない。 を加ります。 をといった理 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まますます。 では、ままする。</td><td>えることが困難 必要性の理由> ・</td><td>不事業を推進</td><td>O ● T</td></t<>	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) 参加や市か。 ででであるか? ででであるが? ででであるが。 でではない。 でではないない。 でではないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	が困難であり、こ: ○① R	れ	に 団ない くとこるよ	内容ニュース (本)	 である ではいる できな である ではいる ではい	果的である。 Aph po	計画のすうのでは、 はなのではなのではなのでは、 はなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなのではなので	当たって、検討さして、 を表がして、 を表がして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	○ ② は	忍 と経り、	どおりでなかった。 3. / 想をいかった。 3. / 想をいかった。 4. / 想をいかった。 4. / 別を必要にある。 4. / 別をのは、	はいった原因>と はいたいもめ。 実施のたた 実施のたた を (Q内内に関する意) 「世帯では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 ででは、 での内に関する。 でででは、 でででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 でででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででできる。 ででででできる。 でででででででできる。 でででででできる。 ででででででででででででででででできる。 でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	た 大 大 大 大 大 大 大 大 大	情報を効果的に伝 を効果的に伝 を加りな点整備計 を加りな点を を加りない。 を加ります。 をといった理 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まますます。 では、ままする。	えることが困難 必要性の理由> ・	不事業を推進	O ● T	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 が要性 参加・協働の工夫 環い (1) (2) 市工体 環い (1) 事べる (2) 事べる (3) 事べる (4) 事べる (5) 事べる (6) 日本 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (10) 日本 (11) 日本 (12) 日本 (13) 日本 (14) 事べる (15) 日本 (16) 日本 (17) 日本 (18) 日本 (19) 日本 (10) 日本 (11) 日本 (12) 日本 (13) 日本 (14) 日本 (15) 日本 (16) 日本 (17) 日本 (18) 日本 (18) 日本 (19) 日本 (10) 日本 (11) 日本 (12) 日本 (13) 日本 (14) 日本 (15) 日本 (16) 日本 <td>業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) 参加や市か。 ででであるか? ででであるが? ででであるが。 でではない。 でではないない。 でではないないないないないないないないないないないないないないないないないないな</td> <td>が困難であり、こ: ○① 日</td> <td>れ P で体</td> <td>に 団ない くとこるよ めの 写写写像 視点 ふ (点 或 額) また は定 るまよに 政 容 いくとこるより 内りりり に 点 るりまり 策 容 し</td> <td>内容ニュース (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)</td> <td> である ではいる できな である ではいる ではい</td> <td>果的である。</td> <td>a 計画のすう 第本 は な な な な な な な な な な な な な</td> <td>当たって、検討さして、 を表がして、 を表がして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では</td> <td>○ ② は</td> <td>忍 と経り、 ・</td> <td>どおりでなかった。 3. / 想示が必要があった。 4. / 想示が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要はある。 4. / 表示を事性民ののでは、 4. / ののでは、 4. / ののでは、 5. / ののでは、 6. / ののでは、 6. / ののでは、 7. /</td> <td>なりに古いた原因>)と なりに古いため。 実施された 層 においたのでた 層 にないたが一 献 した をないた 一 で は は 今後 、</td> <td>た</td> <td>情報を効果的に伝統の具体化拠点を動いた。 参加以と下の力を情報をありいた。 参加以と下の力をはした以と下の力をはある。 では、おりいでなっった原面を対した。 ・ では、おりいでなっった原面を対した。 ・ では、おりいでなっった原面を対した。 ・ では、おりいでは、おりいでは、なった原面を対した。 ・ では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この</td> <td>えることが困難 と と が困難 と と が困難 と と が 困難 と と が 理由 と し で が 理由 と し で で で で の 配慮 た に 国 と と で き な かった で き な かった で き な かった かった で き な かった かった かった かった かった かった かった かった かった かった</td> <td>で本事業を推進</td> <td>C ≥ Lt. O ● A T → B O ●</td>	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? で実施の必要性) 参加や市か。 ででであるか? ででであるが? ででであるが。 でではない。 でではないない。 でではないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	が困難であり、こ: ○① 日	れ P で体	に 団ない くとこるよ めの 写写写像 視点 ふ (点 或 額) また は定 るまよに 政 容 いくとこるより 内りりり に 点 るりまり 策 容 し	内容ニュース (本)	 である ではいる できな である ではいる ではい	果的である。	a 計画のすう 第本 は な な な な な な な な な な な な な	当たって、検討さして、 を表がして、 を表がして、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	○ ② は	忍 と経り、 ・	どおりでなかった。 3. / 想示が必要があった。 4. / 想示が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要はある。 4. / 表示を事性民ののでは、 4. / ののでは、 4. / ののでは、 5. / ののでは、 6. / ののでは、 6. / ののでは、 7. /	なりに古いた原因>)と なりに古いため。 実施された 層 においたのでた 層 にないたが一 献 した をないた 一 で は は 今後 、	た	情報を効果的に伝統の具体化拠点を動いた。 参加以と下の力を情報をありいた。 参加以と下の力をはした以と下の力をはある。 では、おりいでなっった原面を対した。 ・ では、おりいでなっった原面を対した。 ・ では、おりいでなっった原面を対した。 ・ では、おりいでは、おりいでは、なった原面を対した。 ・ では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	えることが困難 と と が困難 と と が困難 と と が 困難 と と が 理由 と し で が 理由 と し で で で で の 配慮 た に 国 と と で き な かった で き な かった で き な かった かった で き な かった	で本事業を推進	C ≥ Lt. O ● A T → B O ●	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 が表示 のしれった はののしれった (1) (2) はののしれった (3) はののしれった (4) はののしれった (3) はののしれった (4) はののしれった (4) はいのとれった (4) はいのとれいった (4) はいいった (4) はいのとれいった (4) はいいった (4) はいいった (4) はいいった<	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を でいるか? づくり) ・記慮して事業を進めて でっ。 ・課題では適切か? ・課題では適切か?	が困難であり、こ: ○① 日	れ	に 団ない さところよ か 写写写像	内容 は	 できた。 できる。 できる。	果的である。	計計がという はいのでは、	当たって、 は は を で を で を で で に を で で に に に に に に に に に に に に に	○	忍 と経り、	どおりでなかった a / 想をいった a / 想をいった a / 想をいった a / 想をいった a / 想を必要は ないった ないった ないった ないった はいった ないった ないった ないった ないった ないった はいった ないった はいった ないった はいった ないった	はいったいたので、 原のという。 ないたいたので、 原ので、 でいたのでいで、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたのでで、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので、 でいたので	た	情報を効果的に伝 を効果的に伝 を加りな点整備計 を加りな点を を加りない。 を加ります。 をといった理 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、ままする。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まます。 では、まますます。 では、ままする。	えることが困難 と 必要性の部として 必要性の部として ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 原因 ・ 大原因 ・ 大原田 ・	で本事業を推進	● 不要要 要要 要要 要要 要要	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 がまる市工(体 環い (1)目標の (2) 市工(体 環い (1)目標の (3) 投機 (3) 投機 (4) 関連の (3) 投機 (4) 関連の (4) 関連の (5) 対象 (4) 対象 (6) 対象 (4) 対象 (7) 対象 (4) 対象 (8) 対象 (4) 対象 (9) 対象 (4) 対象 (1) 対象 (2) 対象 (2) 対象 (3) 対象 (4) 対象 (4) 対象 (5) 対象 (4) 対象 (6) 対象 (4) 対象 (7) 対象 (4) 対象 (8) 対象 (4) 対象 (7) 対象 (4) 対象 (8) 対象 (4) 対象 (9) 対象 (4) 対象 (1) 対象 (2) 対象 (2) 対象 (3) 対象 (3) 対象 (4) 対象 (4) 対象 (4) 対象 (5) 対象 (4) 対象 (6) 対象 (4) 対象 (7) 対象 (4) 対象 (8) 対象 (4) 対象 (8) 対象 (4) 対象 (7) 対象 (4) 対象 (7) 対象 (4) 対象 </th <td>業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を づくり) 一配慮して事業を進めて、 では適切か?</td> <td>が困難であり、こ: ○① 日</td> <td>N P で体 が が が 進 提 い な い か きゅう か E い い い が は 提 い な い か きゅう か ま で い い い が は 提 い な い か きゅう か ま で い い い い が は 提 い な ら ず な か に の の の む と</td> <td>に 団ない くところよ</td> <td>内容ニューマンス (1) では、 (1)</td> <td>では、</td> <td>果的である。</td> <td></td> <td>当たって、検討さ て、態系サーと とで、活用 フルルで、 意見、 スニュリを マッーを行 の習ら。 は は域域でする。 現況に値のを はのがでする。</td> <td>○</td> <td>忍 と経り業 章 尊れ</td> <td>どおりでなかった a / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 /</td> <td>は かったい を</td> <td>た</td> <td>情報を効果的に伝 を効果のは伝 を動力な点整備 を動力を がありまする。 をおりまする。 でなかった原 をどどよりのでなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 です事をとななな。 ・ べきをとなる。</td> <td>えることが困難 と 必要性の部として 必要性の部として ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 原因 ・ 大原因 ・ 大原田 ・</td> <td>で本事業を推進</td> <td>●</td>	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を づくり) 一配慮して事業を進めて、 では適切か?	が困難であり、こ: ○① 日	N P で体 が が が 進 提 い な い か きゅう か E い い い が は 提 い な い か きゅう か ま で い い い が は 提 い な い か きゅう か ま で い い い い が は 提 い な ら ず な か に の の の む と	に 団ない くところよ	内容ニューマンス (1) では、 (1)	では、	果的である。		当たって、検討さ て、態系サーと とで、活用 フルルで、 意見、 スニュリを マッーを行 の習ら。 は は域域でする。 現況に値のを はのがでする。	○	忍 と経り業 章 尊れ	どおりでなかった a / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 /	は かったい を	た	情報を効果的に伝 を効果のは伝 を動力な点整備 を動力を がありまする。 をおりまする。 でなかった原 をどどよりのでなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 です事をとななな。 ・ べきをとなる。	えることが困難 と 必要性の部として 必要性の部として ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 原因 ・ 大原因 ・ 大原田 ・	で本事業を推進	●	
必要性 参加・協働のH表 環境への配慮 効率性 必要性 参加・協働のH表 環心 (1) (2) 事い 目投目 事なる 様と目 (3) 日投目 (4) 事なる (4) 事なる (4) 日投目 (5) 日投目 (6) 日投目 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (1) (2) (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (5) 日本 (6) 日本 (7) 日本 (8) 日本 (9) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (1) 日本 (2) 日本 (3) 日本 (4) 日本 (5) 日本	業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は おったの必要性) 参加やおか? である。 である。 では適切か? では適切か? ではである。 ではである。 ではできまではできませい。 素値を実現する為にできます。 ではできまます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできますできます。 ではできます。 ではできますできます。 ではできますできます。 ではできますできます。 ではできますできますできます。 ではできますできますできます。 ではできますできますできますできますでできます。 ではできますできますできますできますできますできますできますできますできますできます	が困難であり、こ: ○① 日間 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	N P で体 が が が 進 提 い な い か きゅう か E い い い が は 提 い な い か きゅう か ま で い い い が は 提 い な い か きゅう か ま で い い い い が は 提 い な ら ず な か に の の の む と	に 団ない さところよ かり 与 与 与 も	内容 は	では、	果的である。 「本語」の は は に で の で で で で で で で で で で で で で で で で で		当たって、検討さ て、態系サーと とで、活用 フルルで、 意見、 スニュリを マッーを行 の習ら。 は は域域でする。 現況に値のを はのがでする。	○	忍 と経り業 章 尊れ	どおりでなかった a/和表示ではいった。 a/内が必要にある。 a/内がのをはまる。	はいったいたので、 原の	た	情報を効果的に伝 を効果のは伝 を動力な点整備 を動力を がありまする。 をおりまする。 でなかった原 をどどよりのでなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 です事をとななな。 ・ べきをとなる。	えることが困難 と 必要性の部として 必要性の部として ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 原因 ・ 大原因 ・ 大原田 ・	で本事業を推進	O ● A T B B B B B B B B B B B B B B B B B B	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1)目標 場で (3)日投目 場で (4)日 場で (3)日投目 場で (3)日投目 場で (3)日投目 場で (4)日 場で (3)日投目 場で (4)日 場で (4)日 場で (5)日本 場で (6)日本 場で (7)日本 場で (8)日本 場で (9)日本 場で (1)日本 場で (2)日本 場で (3)日本 場で (3)日本 場で (4)日本 場で (5)日本 場で (6)日本 場で (7)日本 場で (8)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (8)日本 場で (7)日本 場で (8)日本	業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は かった。 で変性の必要性) 参加ややかった でがくりり ・配慮して事業を進めて ででする。 でででする。 ででする。 でででする。 ででできる。 ででする。 ででする。 でででする。 でできる。 ででする。 でできる。 ででする。 でできる。 ででする。 ででする。 でできる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 ででする。 でできる。 ででする。 でできる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 ででする。 ででする。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 できる。	が困難であり、こ: ○① 民間 ① 日本 ○ 日本	N P で体 る で で で で で で で で で で で で で で で で で	に 団ない くとこるよ	内容ニューを (できない) を (でき	表示	果的である。 「おおおい」 () 「) 「 () 「) 「 () 「) 「 () 「) 「	は	当たっ、 は な 大 で を を で を に を で で に を で で に を で で で に で で で で で で で で で で で で で	○	忍 と経り業 章 尊れ	どおりでなかった a / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 /	はいったいたので、 原の	た	情報を効果的に伝 を効果のは伝 を動力な点整備 を動力を がありまする。 をおりまする。 でなかった原 をどどよりのでなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 でなかった原 です事をとななな。 ・ べきをとなる。	えることが困難 と 必要性の部として 必要性の部として ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 原因 ・ 大原因 ・ 大原田 ・	で本事業を推進	O ● A T B B B B B B B B B B B B B B B B B B	
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1)目標 場で (3)日投目 場で (4)日 場で (3)日投目 場で (3)日投目 場で (3)日投目 場で (4)日 場で (3)日投目 場で (4)日 場で (4)日 場で (5)日本 場で (6)日本 場で (7)日本 場で (8)日本 場で (9)日本 場で (1)日本 場で (2)日本 場で (3)日本 場で (3)日本 場で (4)日本 場で (5)日本 場で (6)日本 場で (7)日本 場で (8)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (7)日本 場で (8)日本 場で (7)日本 場で (8)日本	業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は おったの必要性) 参加やおか? である。 である。 では適切か? では適切か? ではである。 ではである。 ではできまではできませい。 素値を実現する為にできます。 ではできまます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできます。 ではできまます。 ではできますできます。 ではできます。 ではできますできます。 ではできますできます。 ではできますできます。 ではできますできますできます。 ではできますできますできます。 ではできますできますできますできますでできます。 ではできますできますできますできますできますできますできますできますできますできます	が困難であり、こ: ○① 民間 ① 日本 ○ 日本	N P で体 る で で で で で で で で で で で で で で で で で	に 団ない くところよ	内容ニュース (本)	では、	果的である。 「おおおい」 () 「) 「 () 「) 「 () 「) 「 () 「) 「		当たっ、 は な 大 で を を で を に を で で に を で で に を で で で に で で で で で で で で で で で で で	○	忍 と経り業 章 尊れ	どおりでなかった a / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 / 和 /	はいったいたので、 原の	た	情報を効果的に伝 を効果のは伝 を動りな点整備計 参加以と下 したとりなないった原 を定どがいなないった原 でないった原 画面ののりいた。	えることが困難 と 必要性の部として 必要性の部として ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 内容 ・ 原因 ・ 大原因 ・ 大原田 ・	で本事業を推進	O ● A T B B B B B B B B B B B B B B B B B B	